福岡大学附属図書館
郷土資料室

(財)米子市教育文化事業団
文化財発掘調査報告書 29

NAGA SUNA DAI 3

長砂第3遺跡

1999. 3
財団法人　米子市教育文化事業団

.2
1

序

当事業団ではこの度都市計画公園東山公園整備事業に伴い、平成10年度は長砂第３遺跡の発掘調査を行ってまいりました。調査の結果、長砂第３遺跡では米子市内では数少ない古墳時代前期から中期にかけての集落跡を確認されました。その他土器等多量の遺物も出土し、古墳時代の生活の一端を知るうえで貴重な資料を提供するものと考えられます。

本発掘調査の成果が、今後の調査研究および教育のために広く活用され、一般の方々に埋蔵文化財に対する理解、関心を高めていただくうえでの一助となれば幸いに存じます。　最後になりましたが、調査に際し多大なご理解とご協力をいただきました地元の方々をはじめ、ご指導、ご支援を賜りました方々、関係各位に対し、心から感謝申し上げます。

平成11年３月

財団法人　米子市教育文化事業団

理事長　**森　田　隆　朝**

例　　言

1．本書は財団法人米子市教育文化事業団が平成10年度に実施した鳥取県米子市長砂第３遺跡にかかる埋蔵文化財発掘調査報告書である。
2．出土遺物は米子市教育委員会で保管している。
3．本書の編集及び執筆、図面の浄書等は米子市教育文化事業団がこれを行った。
4．調査の組織は下記のとおりである。

調査委託　米子市公園街路課
調査主体　財団法人米子市教育文化事業団
調査担当　平木裕子・佐伯純也（財団法人米子市教育文化事業団調査員）
調査補助員　森田静香・森井あずさ・福嶋昌子
（財団法人米子市教育文化事業団臨時職員）
調査指導･協力　米子市教育委員会

5．調査において多くの方々から御指導、御協力をいただいた。記して感謝の意を表したい。（敬称略）

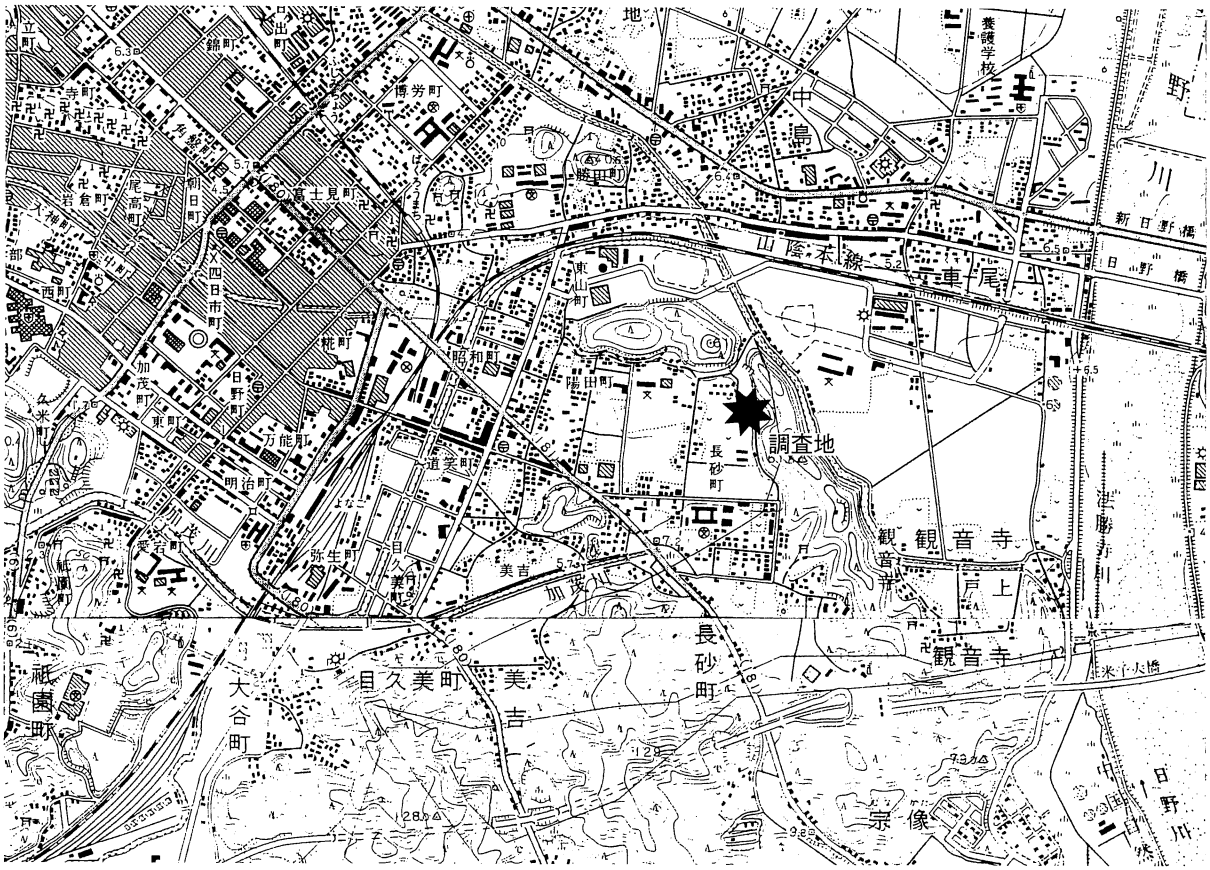
足立　克己　W・エドワーズ　置田　雅昭　金原　正明　桑原　久男　高妻　洋成
中川　寧　菱田　哲郎　深田　浩　村上　隆　山内　紀嗣　山田　邦和

作業関係者

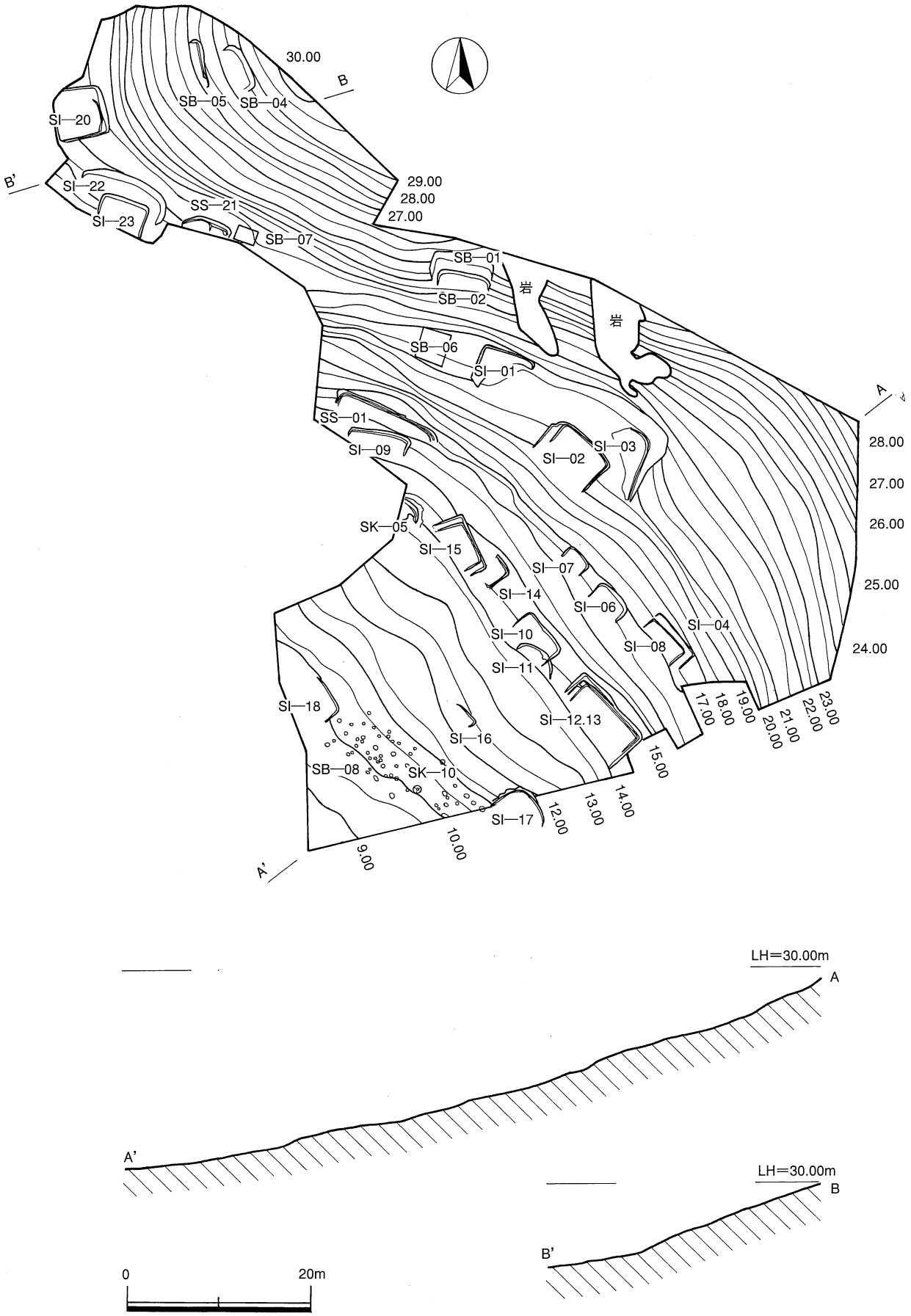
岩指　澄　梅林　明子　浦上　朱美　浦木　勲　遠崎　礼子　大下　醇子
大塚　充子　加川　都　加藤カホル　加藤　晴己　金山勢津子　木京　千尋
倉敷みさ子　近藤　智子　近藤由美子　西古江美子　桜田　孝具　桜田美智子
塩貝　泰洋　仙田　雄二　竹中　光世　高塚　敬子　田中　恵子　虎尾　一明
内藤　祐介　中山　彪　西　淳夫　野津　正連　原　満留　平野　昭子
福田　淳　船越　典子　細田　恵美　前田　光江　湊伸　一郎　宮野　裕介
本吉　洋子　森安　堯　矢野　早苗　山根　久代　渡部　安子　青戸　千秋
伊田　美紀　入沢美智子　大江由美子　加藤　正子　柴田英理奈　島本美奈子
下高満智子　高橋真由美　仲田いづみ　長尾かおり　濱田　博美　福留　悦子
宮田　紀子　安江満つ美　矢野　有里

目　　次

序
例言
目次
Ⅰ　調査の概要 …… 2
Ⅱ　遺構について …… 2
　1　竪穴住居跡 …… 2
　2　テラス状遺構 ……19
　3　掘立柱建物跡 ……19
　4　陥し穴 ……23
Ⅲ　遺物について ……23
　1　縄文晩期から弥生前期の土器 ……23
　2　弥生中期から後期の土器 ……23
　3　土師器 ……24
　4　須恵器 ……24
　5　石製品 ……25
　6　鉄・銅製品 ……26
Ⅳ　小結 ……25



第１図　長砂第３遺跡調査位置図（1／2,500）



第２図　調査全体図および断面図（Ｓ＝1／60）

Ⅰ　調査の概要

長砂第３遺跡は米子市長砂町20番地他に位置する。今回の調査は昨年度調査した長砂第３遺跡の継続調査である。調査は都市計画公園東山公園整備事業に伴う調査で、現地調査は平成10年４月20日から始まり、平成10年10月14日まで行い、調査面積は約5,000㎡であった。

調査地は米子駅の東約1.5㎞の米子市長砂町に位置し、標高50ｍの丘陵の西斜面に立地する。斜面上部では表土も含めて約20～30㎝の堆積しかなかったが、裾部に向かって堆積は厚くなり約2.4ｍであった。調査は南側斜面から順次北側斜面に移り、斜面上部から裾部に向かって掘り下げていった。

調査の結果、遺構としては竪穴住居跡・掘立柱建物跡・総柱建物跡・テラス状遺構・陥穴を検出し、遺物は弥生土器・土師器・須恵器・石鏃・石斧・砥石・小玉・管玉・勾玉・銅鏡・銅銭等が出土した。

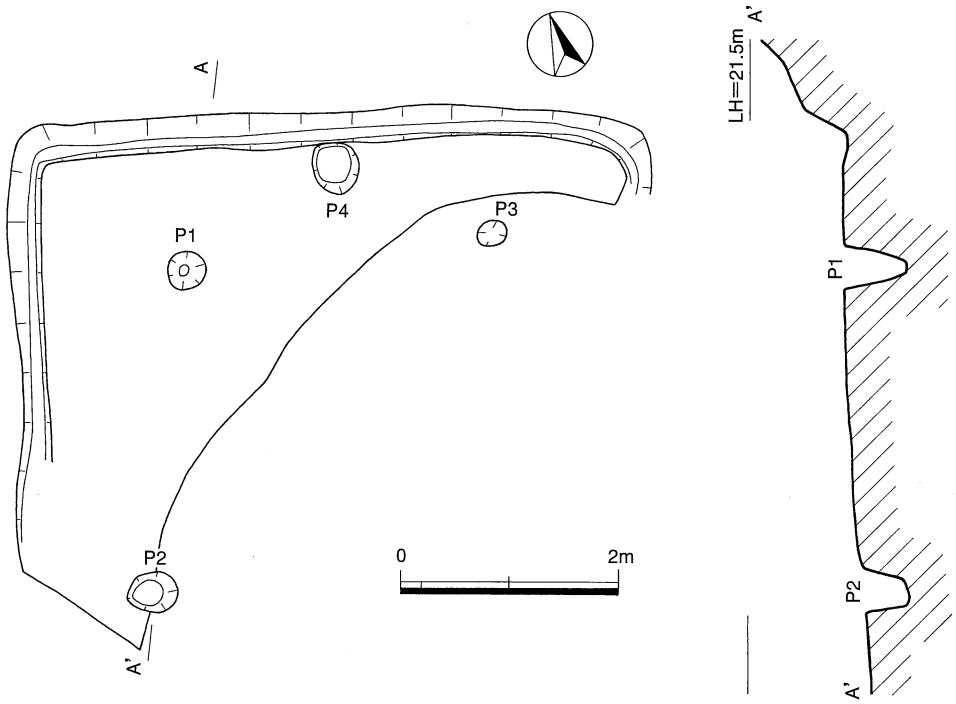
Ⅱ　遺構について

１．竪穴住居跡

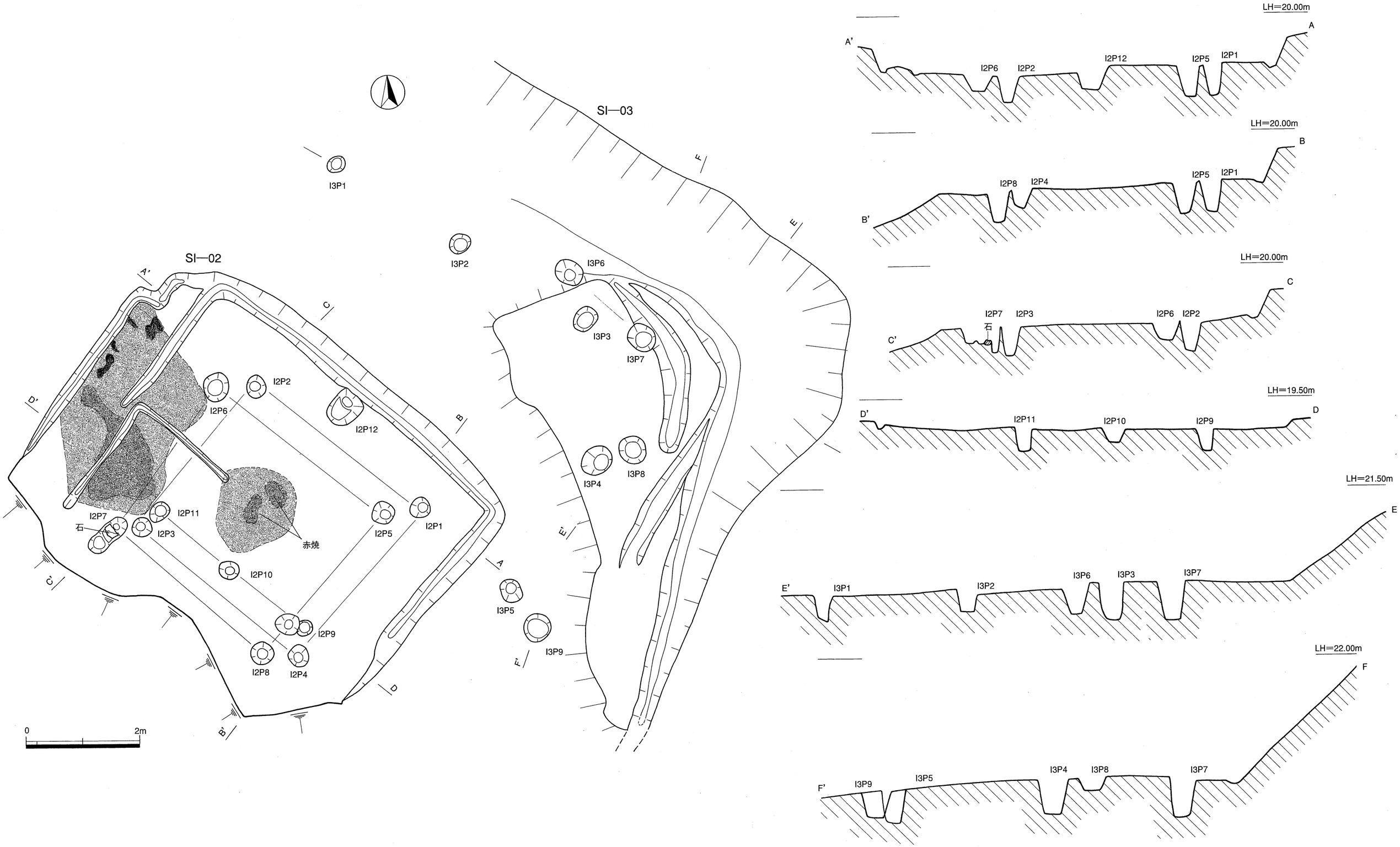
全部で21棟を検出したが、斜面立地ということで住居は全て谷側が流失しており、完全な形で検出されたものはなかった。またSI－10を除く20棟については、住居に伴う遺物が少なく詳細な時期決定を行うことができないが、その形態からほぼ同時期と思われ、古墳時代中期を中心として古墳時代前期まで溯るものと考えられる。

SI－01（第３図）　残存床幅5.4ｍ・残存奥行3.8ｍ・最大壁高0.38ｍ・床面標高20.6ｍ・残存床面積11.4㎡で、Ｓ18°Ｗ方向を向く。柱穴は３穴でＰ１（34㎝×38㎝－39㎝）、Ｐ２（48㎝×36㎝－56㎝）、Ｐ３（30㎝×23㎝－φ47㎝）、柱間はＰ１－Ｐ２（3.0ｍ）、Ｐ１－Ｐ３（2.8ｍ）である。奥壁中央部に48㎝×42㎝－27㎝の土壙Ｐ４を検出した。床面には壁に沿って幅約16㎝、深さ８㎝の溝を巡らす。

遺物は床面から土師器甕（第29図№156）、土師器坏（第41図№410）、須恵器坏蓋（第46図№533）が出土した。



第３図　S1－01平面図および断面図



第４図　SI—02・03　平面図および断面図（S＝1／60）

SI－02（第４図）　床幅6.0ｍ・残存奥行4.2ｍ・最大壁高0.52ｍ・床面標高19.1ｍ・残存床面積32.4㎡で、Ｓ43°Ｗ方向を向く。本住居は北側に幅0.8ｍ奥行3.5ｍの拡張の跡が見られる。柱穴はいくつか検出したが、本住居に伴うものはＰ１（36cm×32cm－70cm）、Ｐ２（39cm×34cm－46cm）、Ｐ３（34cm×34cm－50cm）、Ｐ４（40cm×34cm－34cm）及び、Ｐ５（40cm×37cm－66cm）、Ｐ６（51cm×44cm－30cm）、Ｐ７（81cm×32cm－47cm）、Ｐ８（40cm×38cm－55cm）の２棟分と思われる。この他Ｐ９（30cm×27cm－36cm）、Ｐ10（37cm×32cm－23cm）、Ｐ11（39cm×28cm－38cm）等の柱穴列も検出しているが、おそらくは本住居以外の住居のものと考えられる。柱間はＰ１－Ｐ２（3.65ｍ）、Ｐ２－Ｐ３（3.2ｍ）、Ｐ３－Ｐ４（3.65ｍ）、Ｐ４－Ｐ１（3.45ｍ）、Ｐ５－Ｐ６（3.75ｍ）、Ｐ６－Ｐ７（3.05ｍ）、Ｐ７－Ｐ８（3.4ｍ）、Ｐ８－Ｐ５（3.3ｍ）、Ｐ９－Ｐ10（1.65ｍ）、Ｐ10－Ｐ11（1.6ｍ）である。床面には壁に沿って幅約20cm、深さ８cmの側溝を巡らす。奥壁際床面中央に62cm×52cm、深さ40cmの土壙Ｐ12を検出した。その他SI－03及び周辺において柱穴痕を多数検出しているが、建物を復元することはできなかった。しかし遺物からみて中世の遺構があった可能性は考えられる。遺物は破片であるが、土師器甕（第31・33・36・37・39図№191・232・279・286・287・305・333）、須恵器坏蓋（第46図№534・535）、須恵器高坏（第49図№644）、須恵器甑（第50図№675）、砥石（第57図№768）が出土している。古墳時代中期から後期のものと考えられる。その他上層で土師器鉢（第39図№339）、土師質皿（第44図№466～473）、土師質坏（第45図№509～511）が出土している。

SI－03（第４図）　北東側角部が残っているだけであるが、柱穴等から床幅８ｍ・残存奥行７ｍ・最大壁高1.6ｍ以上を測る大型住居の可能性が考えられる。床面標高19.9ｍ・残存床面積18.3㎡で、Ｓ33°Ｗ方向を向く。床には壁に沿って幅30～40cm、深さ７cmの側溝が残る。溝は一部で二重に検出しており建替が行われたと思われる。これに伴ってＰ１（34cm×27cm－45cm）・Ｐ２（38cm×34cm－37cm）・Ｐ３（46cm×37cm－64cm）・Ｐ４（58cm×48cm－60cm）・Ｐ５（44cm×35cm－53cm）及び、Ｐ６（52cm×41cm－52cm）、Ｐ７（52cm×43cm－67cm）、Ｐ８（50cm×46cm－24cm）、Ｐ９（50cm×48cm－48cm）の２列の柱穴列が考えられる。柱穴間はＰ１－Ｐ２（2.6ｍ）・Ｐ２－Ｐ３（2.6ｍ）・Ｐ３－Ｐ４（2.5ｍ）・Ｐ４－Ｐ５（2.7ｍ）・Ｐ６－Ｐ７（1.7ｍ）・Ｐ７－Ｐ８（2.0ｍ）・Ｐ８－Ｐ９（3.6ｍ）である。

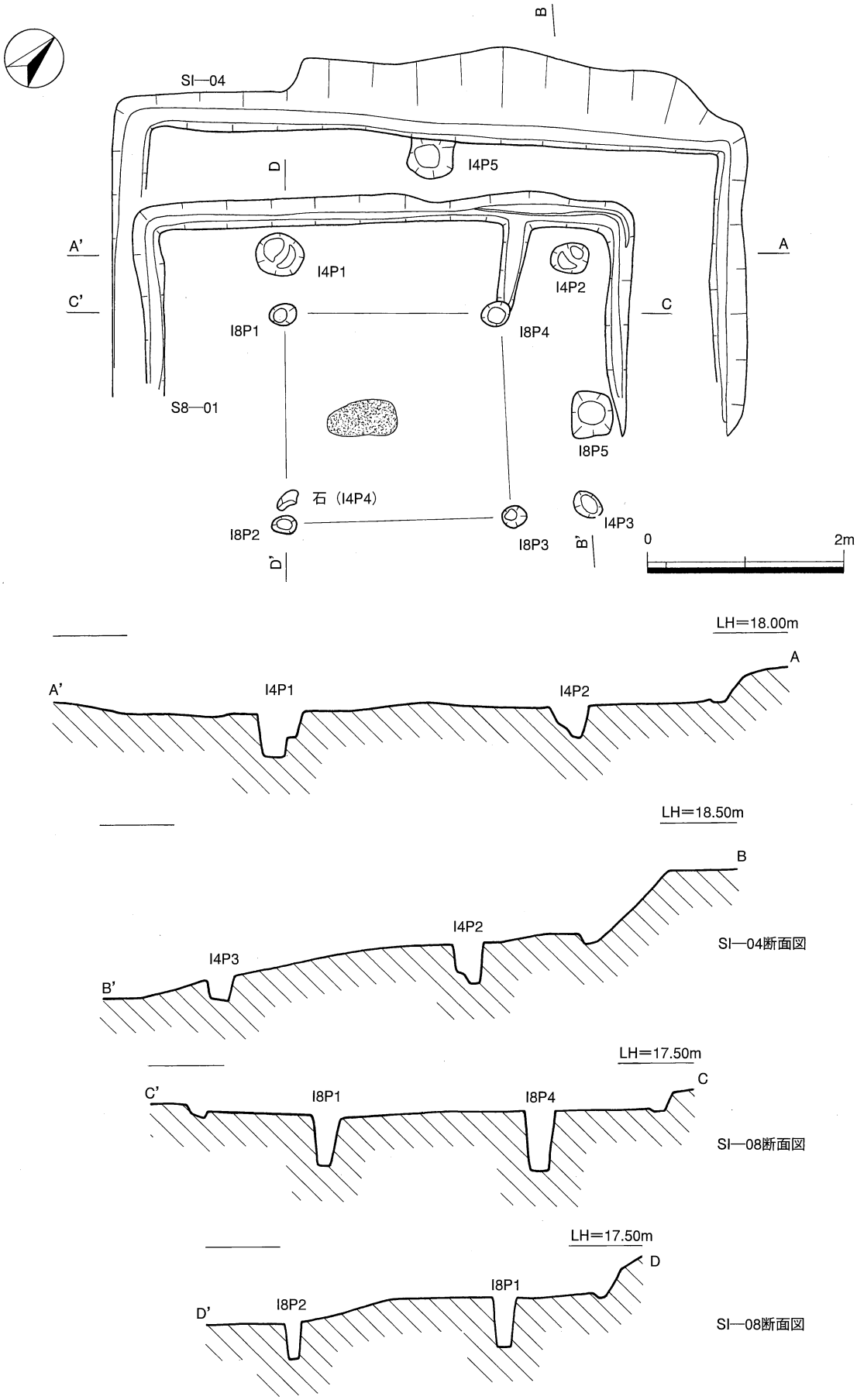
出土遺物は須恵器蓋坏（第47図№564）、須恵器坏身（第47図№581）、須恵器高坏（第50図№670）、須恵器大甕（第51図№696）、土師質皿（第44図№474～476）、土師質坏（第45図№512～514）、柱状高台付坏（第45図№531）が出土している。時期的に幅があり、本住居に伴うものを断定し得なかったため、正確な時期は不明であるが、古墳時代のものと考えられる。

SI－04（第５図）　床幅5.8ｍ・残存奥行2.8ｍ・最大壁高0.74ｍ・床面標高17.3ｍ・残存床面積18.4㎡で、Ｗ41°Ｓ方向を向く。床面には壁に沿って幅22cm、深さ６cmの側溝を巡らす。柱穴はＰ１（48cm×45cm－43cm）、Ｐ２（36cm×30cm－42cm）、Ｐ３（32cm×22cm－25cm）の３穴検出した。柱穴は確認できなかったが、Ｐ４にあたる位置に礎石ではないかと考えられる24cm×14cm大の石が残っていた。柱穴間はＰ１－Ｐ２（３ｍ）・Ｐ２－Ｐ３（2.6ｍ）・Ｐ３－*Ｐ４（３ｍ）・*Ｐ４－Ｐ１（2.6ｍ）である。奥壁中央床面に47cm×40cm、深さ34cmの土壙Ｐ５を検出した。

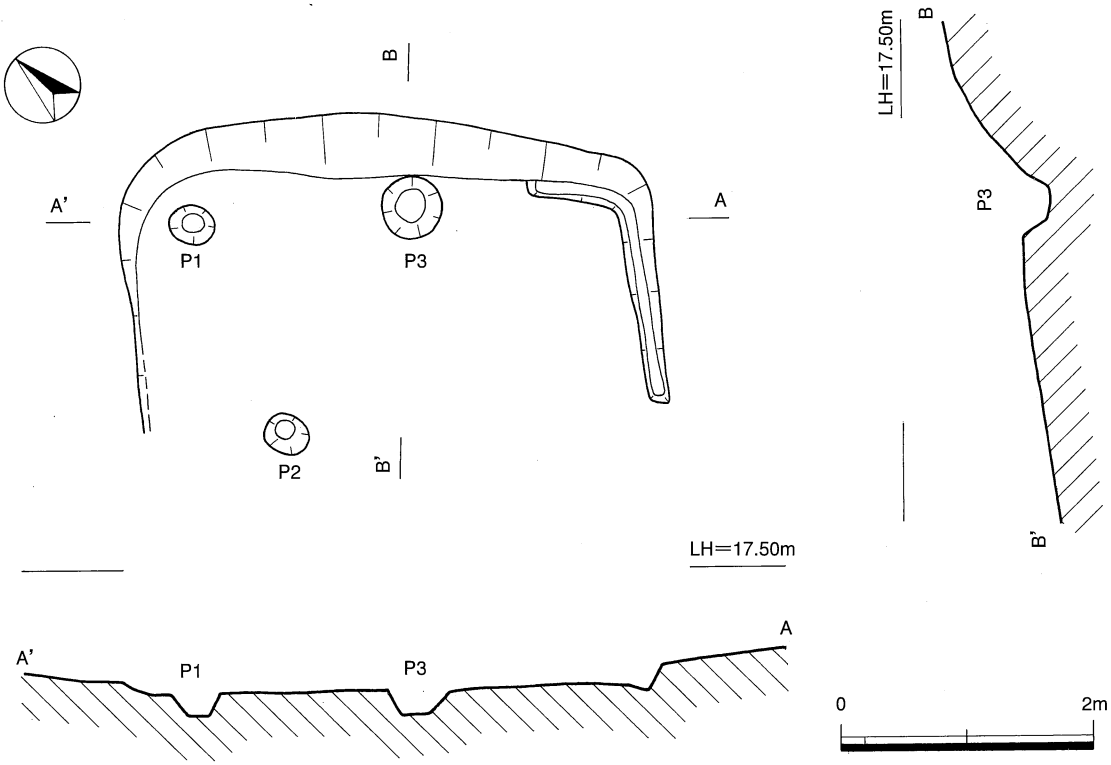
出土遺物は土師器甕（第38図№314・318）、土師器低脚坏（第41図№370）須恵器坏身（第48図№605）、須恵器高坏（第49図№636・637）が出土し、時期は古墳時代中期である。

SI－08（第５図）　SI－04を掘り下げたところで検出した住居跡である。床幅4.4ｍ・残存奥行2.2ｍ・最大壁高約0.27ｍ・床面標高17ｍ・残存床面積9.95㎡で、Ｓ45°Ｗ方向を向く。柱穴はＰ１（28cm×22cm－50cm）、Ｐ２（26cm×16cm－38cm）、Ｐ３（24cm×22cm－45cm）、Ｐ４（28cm×24cm－60cm）、柱穴間はＰ１－Ｐ２（2.15ｍ）、Ｐ２－Ｐ３（2.3ｍ）、Ｐ３－Ｐ４（2.05ｍ）、Ｐ４－Ｐ１（2.2ｍ）である。床面には壁に沿って幅14cm、深さ５cmの側溝を巡らす。また東壁側に幅46cm×40cm・深さ35cmの土壙Ｐ５を検出しているが、他の住居で奥壁に見られた土壙と同じ性格のものかは不明である。

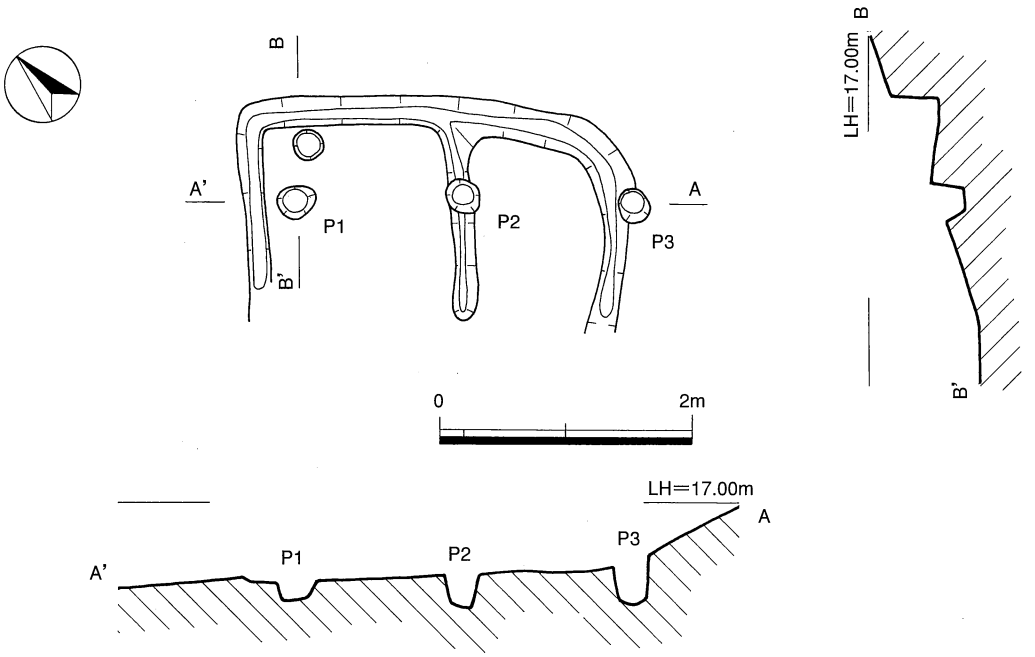
出土遺物はなく、時期は不明である。



第５図　SI－04・08　平面図および断面図（S＝1／60）



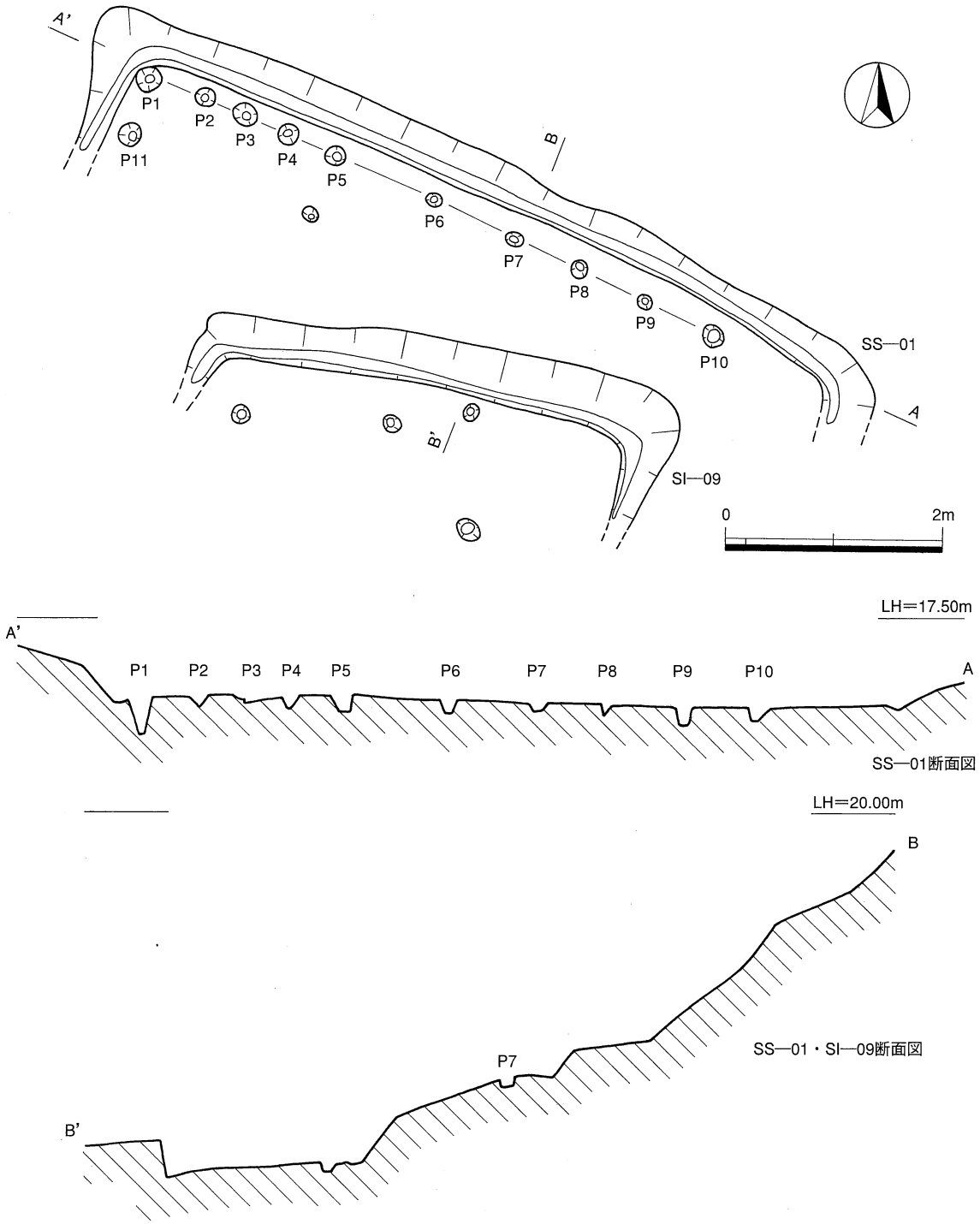
第６図　SI－06平面図および断面図（Ｓ＝1／60）



第７図　SI－07　平面図および断面図（Ｓ＝1／60）

SI－06（第６図）　小型のもので床幅3.85ｍ・残存奥行2.0ｍ・最大壁高0.41ｍ・床面標高16.5ｍ・残存床面積7.7㎡で、W44°Ｓ方向を向く。柱穴はＰ１（36㎝×30㎝－20㎝）、Ｐ２（34㎝×30㎝－27㎝）を検出しているが、本住居に伴うものとは考えられない。本住居に伴うものとしては床面奥壁中央に50㎝×46㎝・深さ20㎝の楕円形の土壙Ｐ３が考えられる。床面には東側壁に沿って幅18㎝、深さ５㎝の側溝が僅かに残る。

遺物は床面より土師器甕（第33図№234）、須恵器坏蓋（第46図№536・537・552）、須恵器坏身（第47図№582）、須恵器高坏（第50図№660）、須恵器小壷（第50図№691）が出土しており、時期は古墳時代中期である。その他土師質皿（第44図№484）、土師質坏（第45図№522）が上層から出土している。



第８図　SS－01・SI－09　平面図および断面図（S＝1／60）

SI－07（第７図）　SI－06同様小型のものである。床幅2.6ｍ・残存奥行1.5ｍ・最大壁高0.36ｍ・床面標高16.4ｍ・残存床面積4.8㎡・Ｓ45°Ｗ方向を向く。柱穴は本住居に伴うものかは不明であるが３穴並んで検出した。Ｐ１（31㎝×26㎝－17㎝）、Ｐ２（30㎝×26㎝－24㎝）、Ｐ３（26㎝×24㎝－30㎝）、柱穴間はＰ１－Ｐ２（1.3ｍ）、Ｐ２－Ｐ３（1.3ｍ）である。床面には壁に沿って幅18㎝、深さ５㎝の側溝を巡らし、また床面中央を区切るように溝を施す。

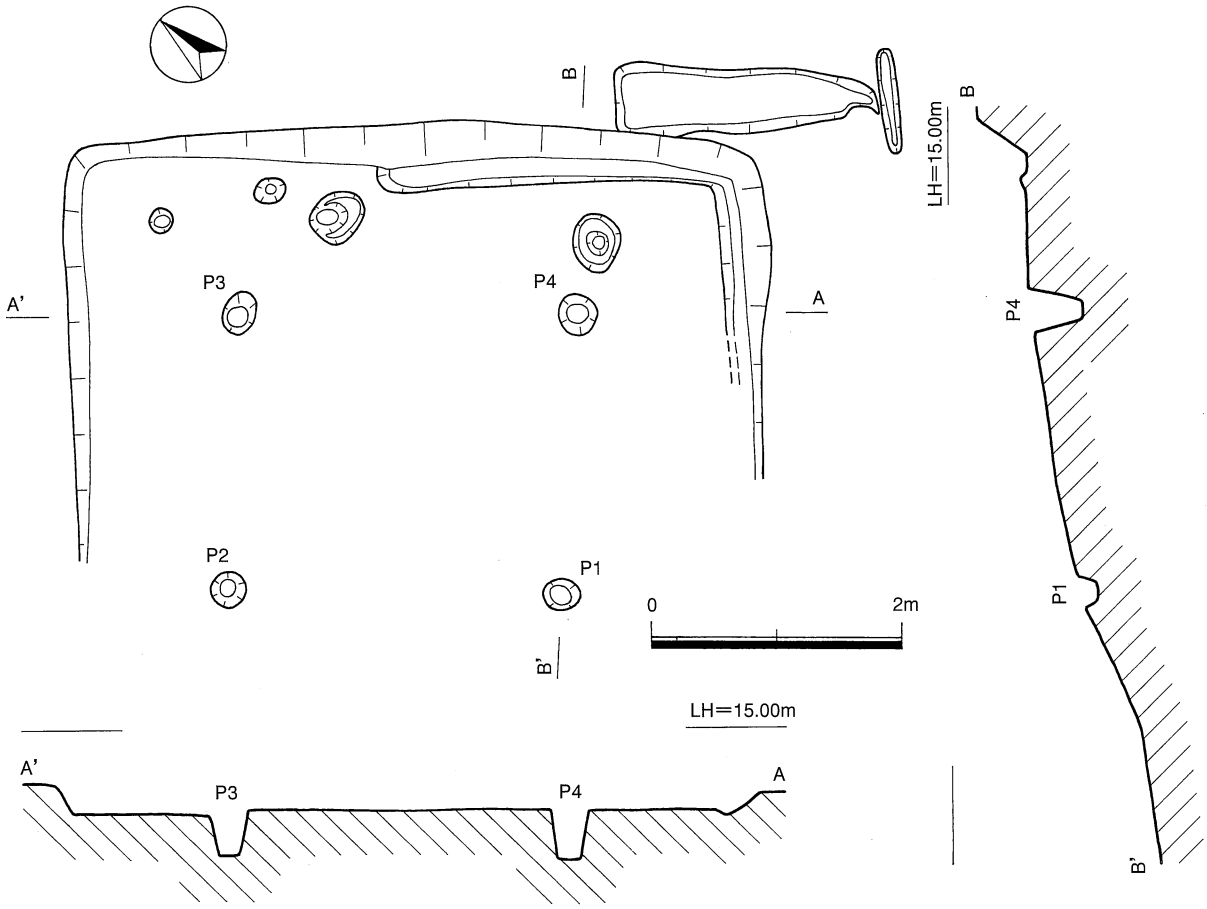
遺物は弥生土器甕（第24図No.29）が出土。

SI－09（第８図）　境界際の検出のため、奥壁のみ確認した。床幅5.8ｍ・残存奥行1.2ｍ・最大壁高約0.63ｍ・床面標高15.1ｍ・残存床面積6.7㎡で、Ｓ10°Ｗ方向を向く。柱穴は検出できなかったが、床面には壁に沿って幅24㎝、深さ２～３㎝の側溝が巡り、規模からみて他の竪穴住居と同程度のものと考えられる。

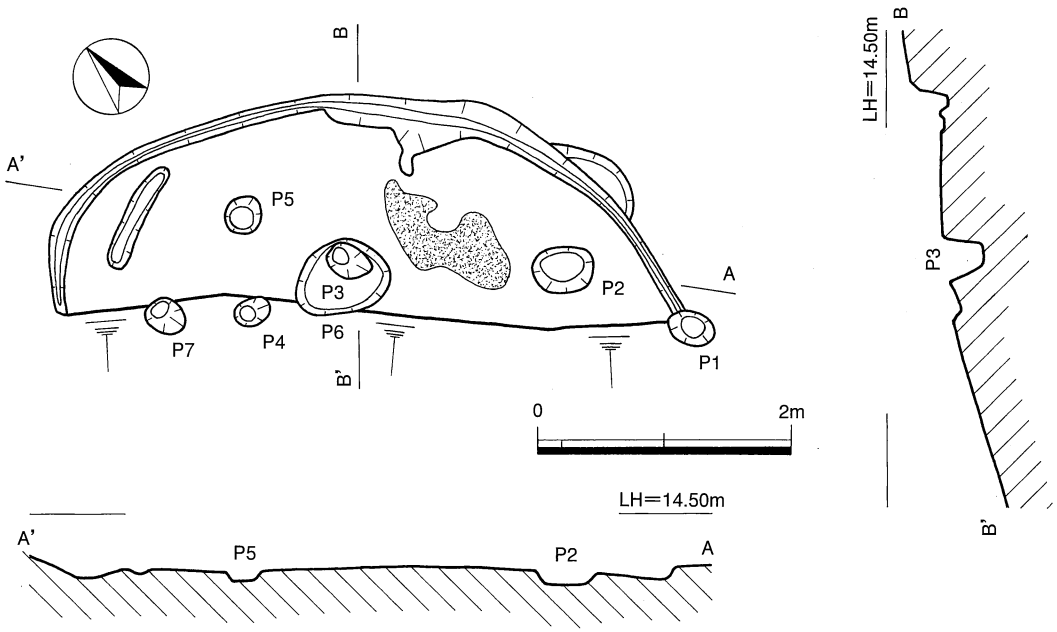
遺物は弥生土器甕（第24図No.47）、土師器甕（第30・33・38図No.170・233・315）、須恵器坏身（第47・48図No.583・584・598）、須恵器高坏（第49図No.645）、須恵器甑（第50図No.680）が出土。

SI－10（第９図）　床幅5.06ｍ・残存奥行3.2ｍ・最大壁高約0.31ｍ・床面標高14.4ｍ・残存床面積15.0㎡で、W40°Ｓ方向を向く。柱穴はＰ１（28㎝×24㎝－18㎝）、Ｐ２（29㎝－31㎝）、Ｐ３（34㎝×27㎝－36㎝）、Ｐ４（32㎝×30㎝－39㎝）で、柱穴間はＰ１－Ｐ２（2.6ｍ）、Ｐ２－Ｐ３（2.15ｍ）、Ｐ３－Ｐ４（2.65ｍ）、Ｐ４－Ｐ１（2.25ｍ）である。床面には東壁面角に沿って幅22㎝、深さ４㎝の側溝が僅かに残る。

遺物は土師器甕（第30・33図No.171・235）、須恵器坏身（第48図No.607）、須恵器高坏（第49図No.647）が出土。



第９図　SI－10　平面図および断面図（Ｓ＝1／60）



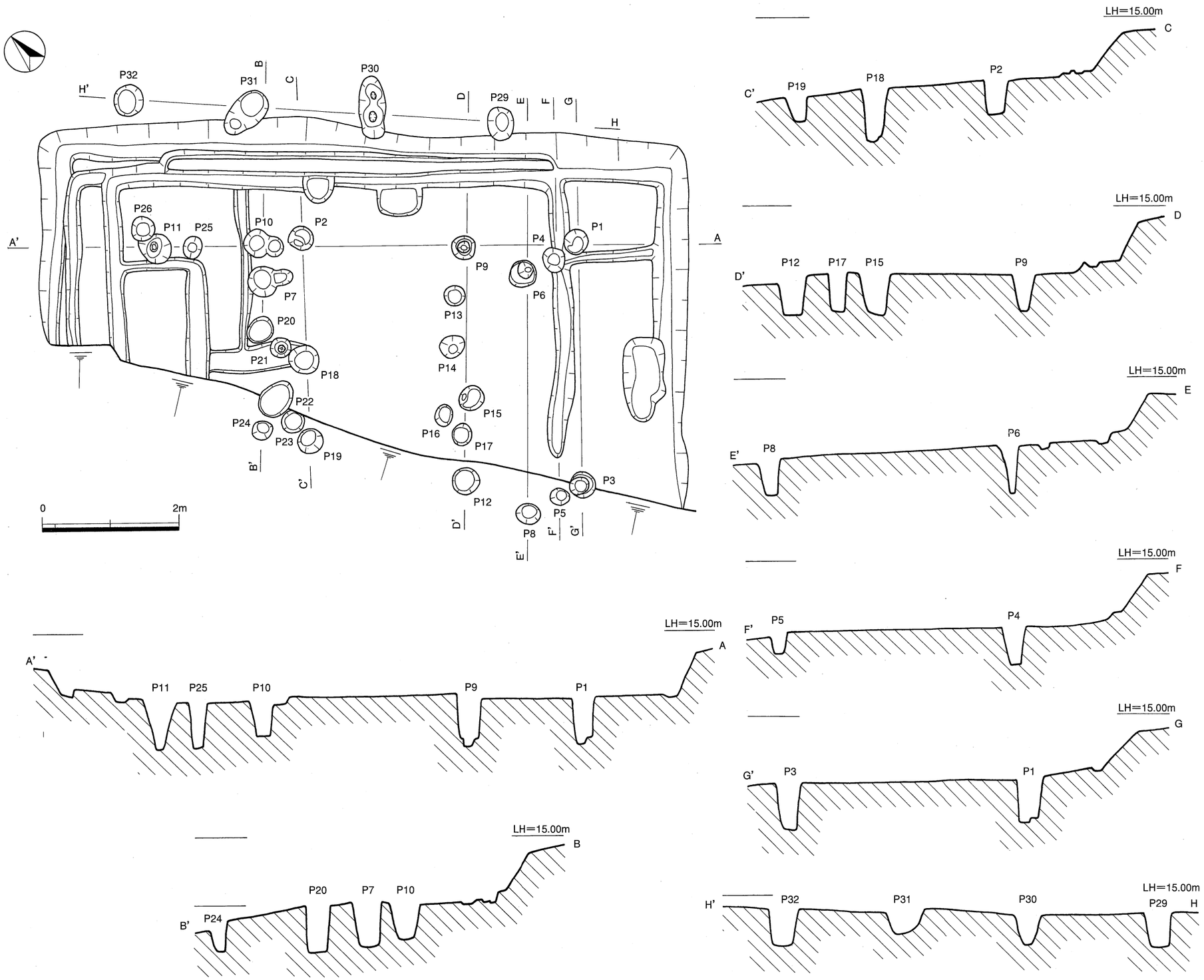
第10図　SI－11　平面図および断面図（S＝1／60）

SI－11（第10図）　今回の調査で唯一円形を呈する住居である。床径4.7m・最大壁高約0.33m・床面標高0.14m・残存床面積6.58m²で、S41°W方向を向く。柱穴はP1（37cm×28cm－19cm）、P2（46cm×36cm－10cm）、P3（32cm×26cm－32cm）、P4（28cm×21cm－10cm）、P5（32cm×28cm－8cm）、P6（76cm×56cm－8cm）、P7（32cm×27cm－44cm）の7穴検出しているが、どの柱穴が本住居に伴うものかは不明である。床面には壁に沿って幅15cm、深さ7cmの側溝を巡らす。

本住居からは緑色凝灰岩のチップが多量に出土し、また管玉の未製品（第59図№806～811）も出土していることから、玉作りの工房跡の可能性が考えられる。また出土遺物としては、弥生土器甕（第23・27図№17・109・110）、弥生土器高坏（第26図№97）、石鏃（第58図№795）が出土しているが、流れ込みの可能性も強く時期を確定し得ないが、本住居が他の住居とは異なった形態の円形を呈していること、またSI－10よりは古いと考えられることから、この住居は弥生時代後期の住居と考えたい。

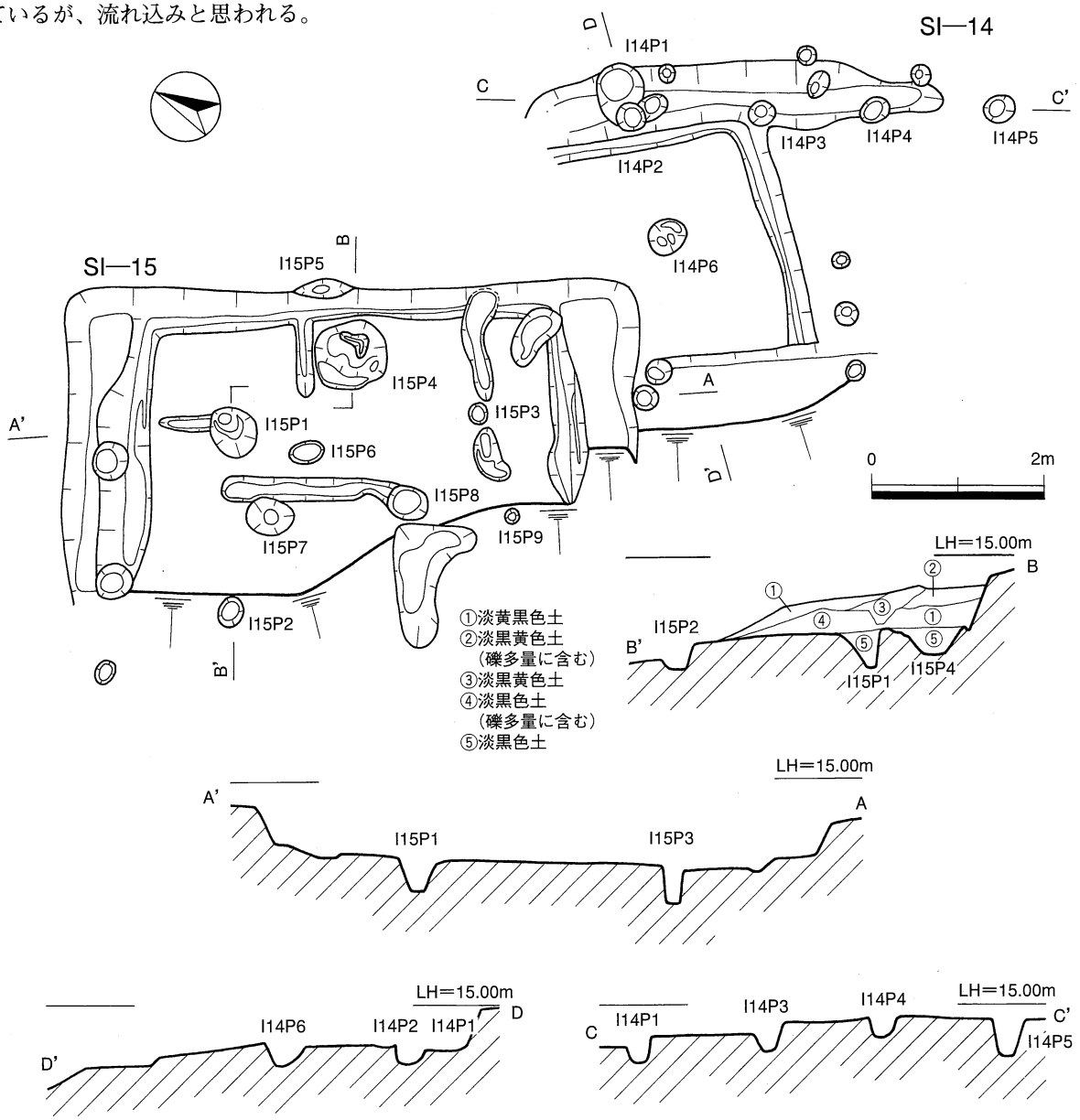
SI－12・13（第11図）　最終掘上げ床幅9.2m・残存奥行4.8m・最大壁高約0.65m・床面標高14.1m・残存床面積37.09m²で、W44°S方向を向く。本住居は何度か建て替えが行われたようで、床面には多数の柱穴痕と建替えに伴なって施されたと思われる幅20～30cm、深さ10cm前後の溝が数本検出できた。少なくとも2回以上の建て替えが行われていたようである。谷側が流れてしまっていること、溝も入り組んでいて、断面観察等においても前後関係を把握できなかったことから、正確な回数を把握することはできなかったが、いくつかの建物を想定することができた。柱穴P1（38cm×34cm－65cm）・P2（35cm×35cm－48cm）・P25（34cm×28cm－67cm）・P3（38cm×38cm－68cm）、柱穴間P1－P2（4.1m）・P1－P25（5.6m）・P1－P3（3.6m）で、奥壁土壙P27（68cm×48cm－15cm）はこれらに伴うと思われる。またP9（36cm×34cm－71cm）・P10（42cm×38cm－59cm）・P11（50cm×43cm－69cm）・P17（32cm×28cm－52cm）・P12（40cm×38cm－45cm）、柱穴間はP9－P10（3.0m）・P9－P11（4.6m）・P9－P17（2.7m）・P9－P12（3.4m）、P4（34cm×33cm－53cm）・P5（30cm×24cm－24cm）、柱穴間はP4－P5（3.45m）、P6（40cm×36cm－64cm）・P7（46cm×φ38cm－64cm）・P8（36cm×31cm－48cm）、柱穴間はP6－P7（3.9m）・P6－P8（3.6m）である。

奥壁外にP29（50cm×38cm－50cm）・P30（92cm×38cm－36cm）・P31（78cm×45cm－53cm）・P32（45cm×43cm－52cm）、柱穴間P29－P30（1.9m）・P30－P31（1.8m）・P31－P32（1.9m）の柱穴痕列を検出したが、本住居の柱穴列とは若干方向が異なるため独立した建物の可能性が考えられる。



第11図　SI—12・13　平面図および断面図（S=1／60）

遺物は土師器甕（第29・30・32・34・36・38図No.157・172～174・216・236・289～291・293・328）、製塩土器（第39図No.340）、ミニチュア土器（第42図No.444）、土師器高坏（第40図No.360・361・366）、土師器坏（第41図No.390・391・403）、土師器甑（第43図No.456）、須恵器坏蓋（第46・47図No.538～544・580）、須恵器坏身（第47図No.585～591）、須恵器高坏（第49・50図No.638・648・650・651・663・664）、須恵器壺（第50図No.676・677・683）、小玉（第59図No.816・814・815）、勾玉（第59図No.796）、臼玉（第59図No.825・826）が出土しており、古墳時代中期～後期と思われる。その他弥生土器甕（第23・25図No.15・20・21・69）、弥生土器底部（第27図No.112・113）、石鏃（第58図No.781・790）、石斧（第54・55図No.743・749）、砥石（第57図No.773）が出土しているが、流れ込みと思われる。



第12図　SI—14・15　平面図および断面図（S＝1／80）

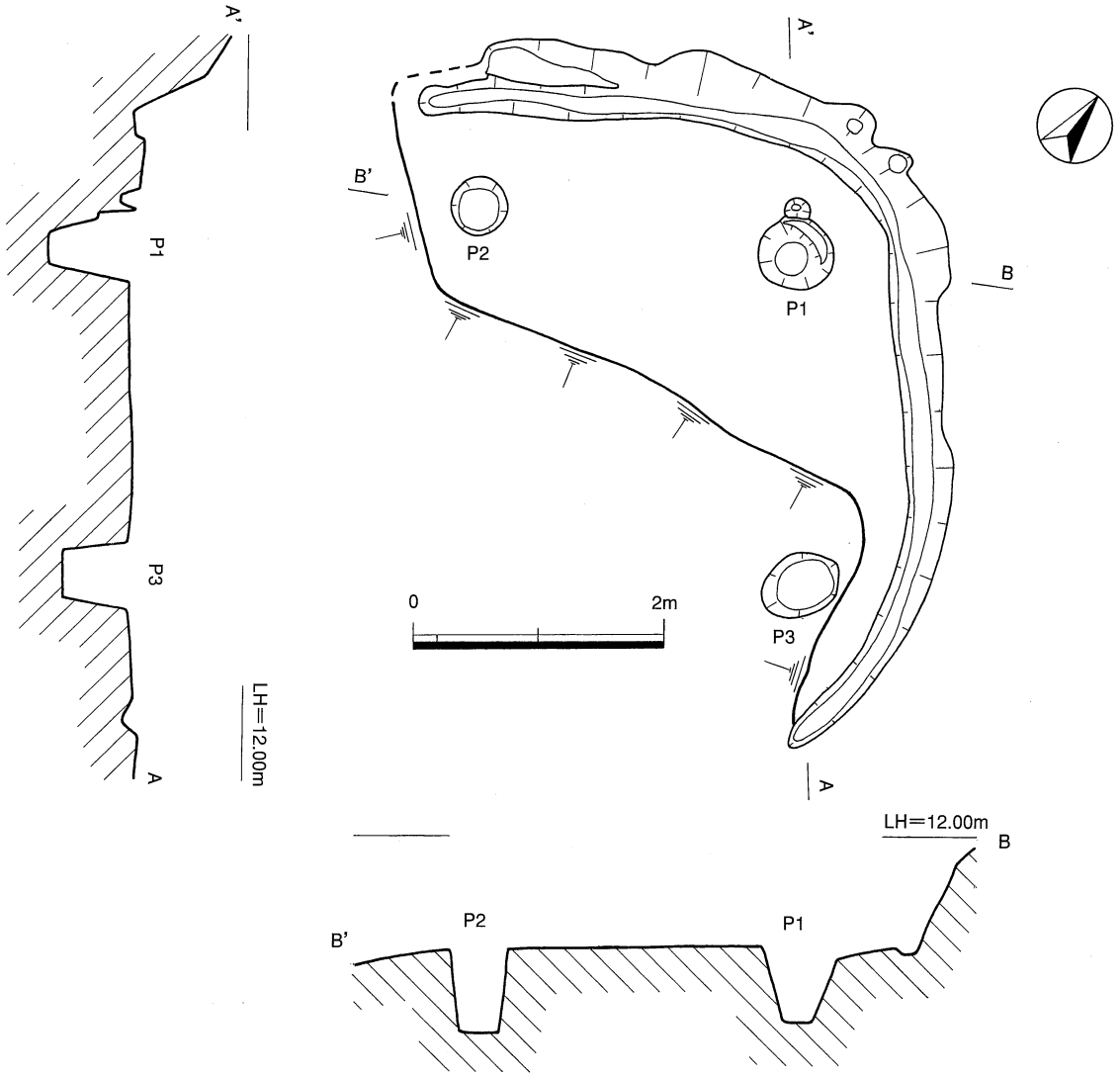
SI—14（第12図）　SI—15によって半分以上切られているため、床幅2.2m・残存奥行2.5m・最大壁高約0.14mが残る。床面標高14.5m・残存床面積5.0m²で、W37°S方向を向く。柱穴はP1（46cm×40cm—30cm）のみである。床面には壁に沿って幅22cm、深さ10cmの側溝を巡らす。本住居の山側には幅80cm、深さ20cmの溝が走り、この溝に沿って4つの柱穴が並ぶ。柱穴は北西側からP2（34cm×32cm—16cm）、P3（31cm×30cm—27cm）、P4（36cm×28cm—21cm）、P5（35cm×32cm—43cm）であるが、その性格は不明である。柱穴間は、P2—P3（1.5m）、P3—P4（1.3m）、P4—P5（1.4m）である。

遺物は土師器甕（第32図No.217・218）、土師器坏（第41図No.392）、須恵器坏蓋（第46図No.545）、須恵器小型壺（第50図No.688）が出土し、古墳時代中期である。弥生土器甕（第25図No.66）は流れ込みと思われる。

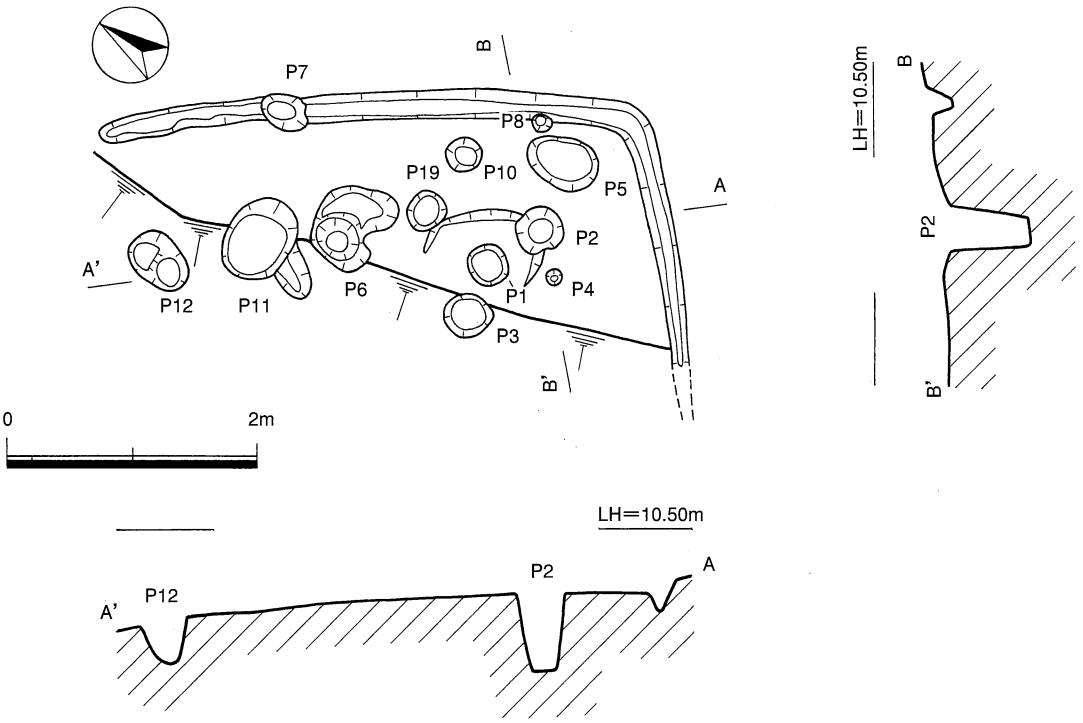
SI－15（第12図）　床幅4.6ｍ・残存奥行3.0ｍ・最大壁高約0.58ｍ・床面標高14.1ｍ・残存床面積14.2㎡で、W27°Ｓ方向を向く。両サイドの壁際には幅50～60㎝、高さ約15㎝の段を有する。柱穴はＰ１（60㎝×53㎝－44㎝）、Ｐ２（36㎝×29㎝－14㎝）、Ｐ３（25㎝×20㎝－32㎝）で、柱穴間はＰ１－Ｐ２（2.2ｍ）、Ｐ３－Ｐ１（3.0ｍ）である。床面には壁に沿って幅20㎝、深さ10㎝の側溝を巡らす。奥壁側中央床面には84㎝×80㎝深さ30㎝の土壙Ｐ４がある。

遺物は土師器壷（第28図№133・139・142）、土師器小型丸底壷（第29図№148）、土師器小型壷（第29図№152）、土師器甕（第30・32・34・36・37図№175～179・182・219・238・294・308）、土師器高坏（第40図№359）、土師器低脚坏（第41図№381）、須恵器坏蓋（第46図№546～549）が出土している。時期は古墳時代中期～後期である。その他弥生土器甕（第24・25図№51・70）、弥生土器底部（第27図№108）、弥生土器高坏（第27図№98）、石鏃（第58図№786）が出土しているが流れ込みと思われる。

SI－16　SI－17の北西約１ｍ・標高12.2ｍ付近に幅15㎝・深さ約0.11ｍ・W44°Ｓ方向を向く溝を「Ｌ字」状に検出した。柱穴等は検出できなかったが、住居の可能性が考えられる。



第13図　SI－17　平面図および断面図（Ｓ＝1／60）



第14図　SI－18　平面図および断面図（S＝1／60）

SI－17（第13図）　若干角の丸くなった隅丸方形を呈する住居で、床幅4.9m・残存奥行3.7m・最大壁高約0.66m・床面標高11.1m・残存床面積10.3m²で、W33°S方向を向く。柱穴はP1（60cm×60cm－64cm）、P2（48cm×42cm－66cm）、P3（66cm×50cm－50cm）で、柱穴間はP1－P2（2.55m）、P2－P3（2.6m）である。また床面には壁に沿って幅17cm、深さ7cmの側溝を巡らす。

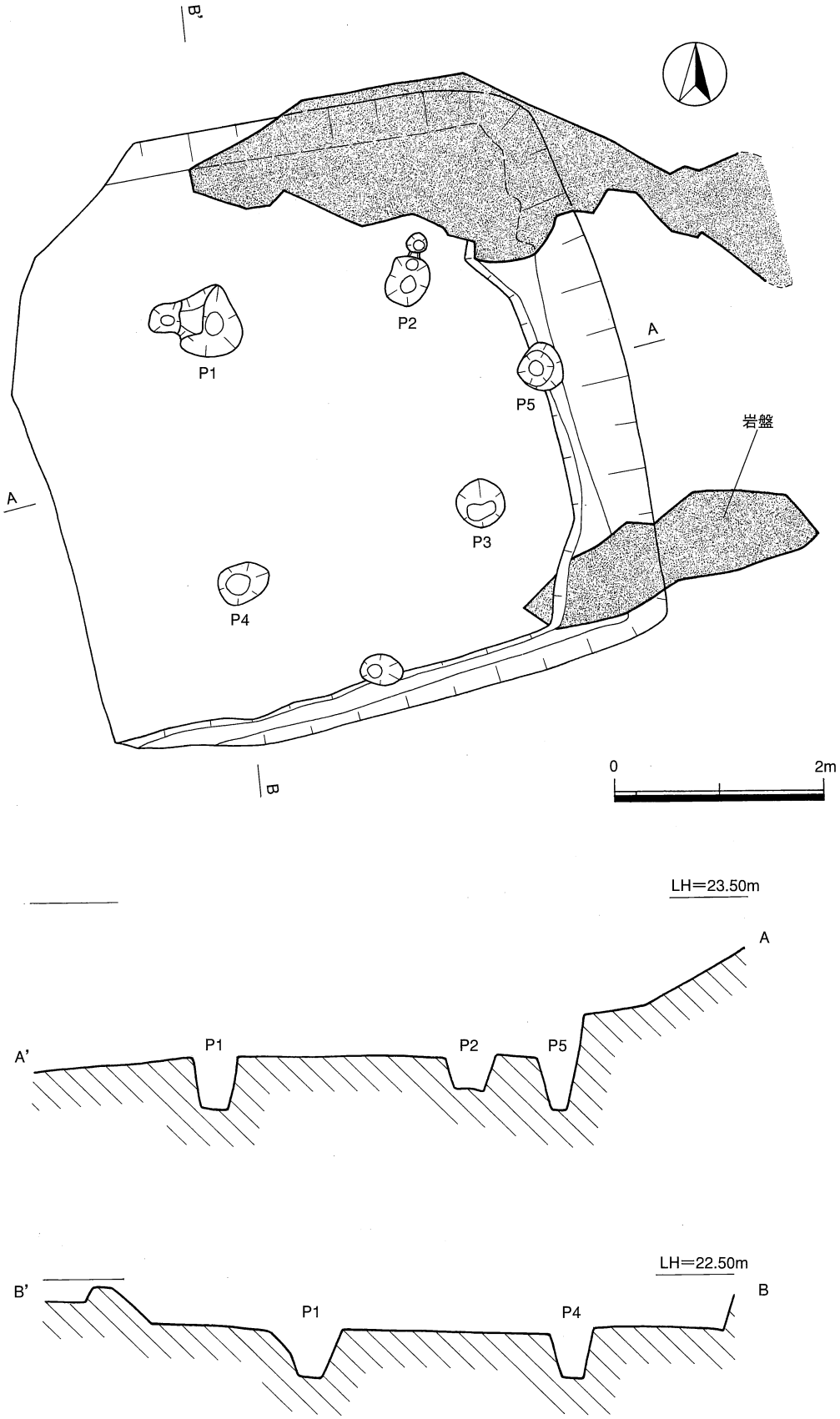
遺物は土師器高坏（第41図No.372）、土師器高坏（第40図No.341・342）、土師器壷（第28図No.136）、土師器低脚坏（第41図No.382）、土師器坏（第41図No.404）、てづくね（第42図No.443）、須恵器坏身（第47図No.593）、須恵器高坏蓋（第49図No.631）、須恵器坏蓋（第46図No.550）が出土し、古墳時代中期である。弥生土器甕（第25図No.55）住居床下から出土、弥生土器甕（第25図No.55・73・74・77）、弥生土器器台（第26図No.95）、弥生土器底部（第27図No.107）は流れ込みと思われる。

SI－18（第14図）　上部は削平され床面のみが残った状態で検出された。床面もそのほとんどが流れた状態で、床幅4.3m・残存奥行2.2mが残るのみであった。床面標高10.0m・残存床面積5.76m²で、W36°S方向を向く。床面には壁に沿って幅22cm、深さ10cmの側溝が残る。柱穴はP1（32cm×30cm－39cm）、P2（38cm×34cm－54cm）、P3（36cm×34cm－41cm）、P6（36cm×31cm－37cm）、P9（32cm×28cm－23cm）、P10（28cm×26cm－22cm）、P12（50cm×32cm－38cm）等いくつか検出された。この中で本住居に伴うと思われる柱穴はP2－P12（柱穴間3.1m）と考えられるが明確ではない。

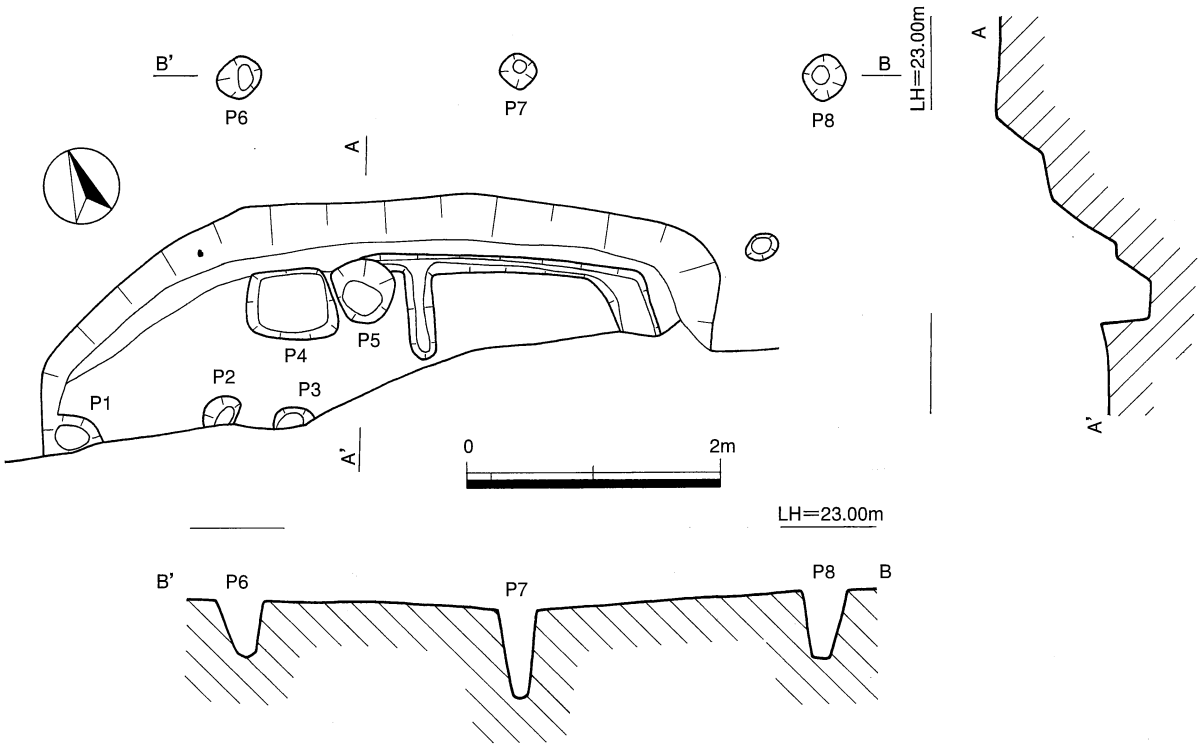
遺物は土師器器台（第42図No.423～425）、土師器壷（第28図No.124・125）、土師器甕（第29図No.158）、土師器甑（第43図No.455）、須恵器坏身（第47図No.595）、弥生土器底部（第27図No.115）、須恵器高坏（第50図No.668）が出土しているが、削平が著しいため住居に伴うものを断定し得ない。

SI－20（第15図）　床幅5.1m・残存奥行4.8m・最大壁高約0.4m・床面標高22.2m・残存床面積25.6m²で、W15°S方向を向く。竪穴住居としては昨年度調査したSI－02と並んで本遺跡で最も高い所に位置する住居である。柱穴はP1（φ65cm×60cm－47cm）、P2（φ50cm×38cm－43cm）、P3（46cm×46cm－30cm）、P4（50cm×36cm－48cm）、柱穴間はP1－P2（1.9m）、P2－P3（2.25m）、P3－P4（2.4m）、P4－P5（2.5m）である。床面には壁に沿って幅15cm、深さ5cmの側溝を巡らす。奥壁中央床面に径46cm×42cm、深さ50cmの土壙P5を検出した。

遺物は土師器甕（第34図No.237・239）、土師器高坏（第41図No.378）、土師器壷（第28図No.131）、須恵器坏蓋（第46図No.551）が出土している。



第15図　SI－20　平面図および断面図（S＝1／60）



第16図　SI－21　平面図および断面図（S＝1／60）

SI－21（第16図）　本住居のほとんどの部分は調査区外にかかるためほんの一部分の調査になった。床幅4.45m・残存奥行1.2mが検出され、最大壁高約0.44m・床面標高21.6m・残存床面積5.35m²で、S21°W方向を向く。柱穴はP1（φ50cm×φ35cm－8cm）、P2（φ38cm×27cm－30cm）、P3（φ30cm×30cm－11cm）の3穴を検出したが、本住居に伴うものか否かは不明である。床面には壁から約10cm離れた部分に幅14～30cm、深さ3～8cmの側溝を巡らす。奥壁中央床面には方形P4と円形P5の二種類の土壙を検出した。P4は長軸66cm・短軸56cm・深さ24cm、P5は径50cm・深さ38cmで両者はつながって検出されたが、性格は不明である。その他住居の北側には別の住居と思われるP6（34cm×28cm－46cm）、P7（26cm×26cm－68cm）、P8（32cm×31cm－54cm）、柱穴間P6－P7（2.15m）P7－P8（2.4m）の一列に並ぶ柱穴列を検出している。

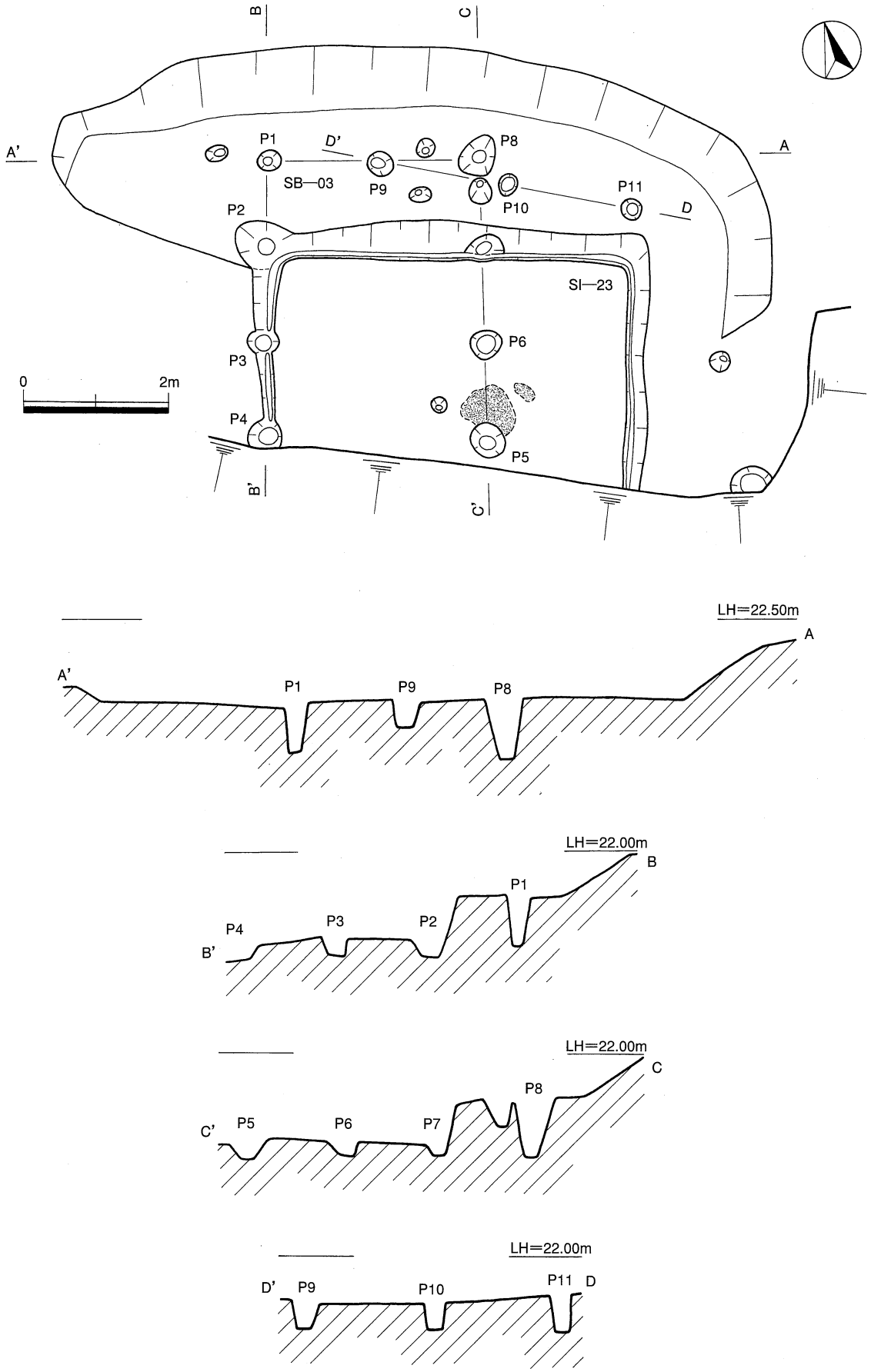
遺物は土師器甕小片が出土している。

SI－22（第17図）　SI－23によって切られているため全容は明らかではないが、床幅φ9.0m・残存奥行2.0m・最大壁高約0.6m・床面標高21.5m・残存床面積16.7m²で、S21°W方向を向く斜面をL字状にカットされたテラス状の平坦面を検出した。いくつかの柱穴痕を検出したが、建物として復元できたものは後述する掘立柱建物跡SB－03のP1・P2・P3・P4・P5・P6・P7・P8で、その他P9（34cm×32cm－37cm）、P10（30cm×26cm－36cm）、P11（28cm－50cm）、柱穴間はP9－P10（1.8m）、P10－P11（1.75m）が考えられるが、これについては一列のみで対応する柱穴は確認できなかったが、谷側の部分がSI－23によって切られていることら建物の可能性は考えられる。しかしテラスの規模からみてこれらの建物の以外の物があったと考えられるが不明である。

遺物は土師器甕（第36・37・38図No.292・307・316）、土師器低脚坏（第41図No.385）、土師器坏（第41図No.393）、須恵器甕（第51図No.692）が出土している。弥生土器甕（第26図No.89）は流れ込みである。

SI－23（第17図）　床幅4.8m・残存奥行3.0m・最大壁高約0.54m・床面標高20.8m・残存床面積13.0m²で、S18°W方向を向く。柱穴の検出はなく、床面には壁に沿って幅18cm、深さ10cmの側溝が巡り、明らかに他の住居に見られる溝とは異なり、板状の壁があったと考えられる。

遺物は土師器甕（第29図No.159）、土師器器台（第42図No.426～430）が出土し時期は古墳時代前期である。その他土師器蓋（第42図No.439）、弥生土器甕（第26図No.81）、須恵器坏身（第47図No.592）は流れ込みである。



第17図　SI—23・SB—03　平面図および断面図（S＝1／80）

2．テラス状遺構

SS－01（第８図）　本住居はいわゆる竪穴住居とは異なった構造をしているため、竪穴住居跡というよりはテラス状遺構とした。SI－09によって切られているため、全容は明らかではないが、床幅10.5ｍ・残存奥行1.95ｍ・最大壁高0.4ｍ・床面標高16.4ｍ・残存床面積15.6㎡で、Ｓ25°Ｗ方向を向く。柱穴は全部で10穴をほぼ一列に並んだ状態で検出した。Ｐ１（34cm×32cm－50cm）、Ｐ２（30cm×26cm－14cm）、Ｐ３（34cm×30cm－５cm）、Ｐ４（29cm×26cm－15cm）、Ｐ５（30cm×27cm－21cm）、Ｐ６（24cm×18cm－18cm）、Ｐ７（25cm×20cm－12cm）、Ｐ８（25cm×23cm－18cm）、Ｐ９（22cm×19cm－21cm）、Ｐ10（32cm×28cm－17cm）、Ｐ11（23cm×20cm－54cm）、柱穴間はＰ１－Ｐ２（0.8ｍ）、Ｐ２－Ｐ３（0.6ｍ）、Ｐ３－Ｐ４（0.6ｍ）、Ｐ４－Ｐ５（0.75ｍ）、Ｐ５－Ｐ６（1.45ｍ）、Ｐ６－Ｐ７（1.25ｍ）、Ｐ７－Ｐ８（１ｍ）、Ｐ８－Ｐ９（1.05ｍ）、Ｐ９－Ｐ10（1.05ｍ）、Ｐ10－Ｐ11（0.8ｍ）である。床面には壁に沿って幅20cm、深さ７cmの側溝を巡らす。　遺物は土師器甕（第36図№288）、土師質皿（第44図№477～481・483）・須恵器甕（第52図№706）が出土している。

3．掘立柱建物跡

今回の調査で、ほぼ完全な掘立柱建物跡として確認されたものは、６棟であったが、SB－07、08のように掘立柱建物跡の可能性が考えられるものもあった。また建物跡として復元は出来なかったが、多数の柱穴痕を検出していることから、これら以外にも建物があった可能性は考えられる。

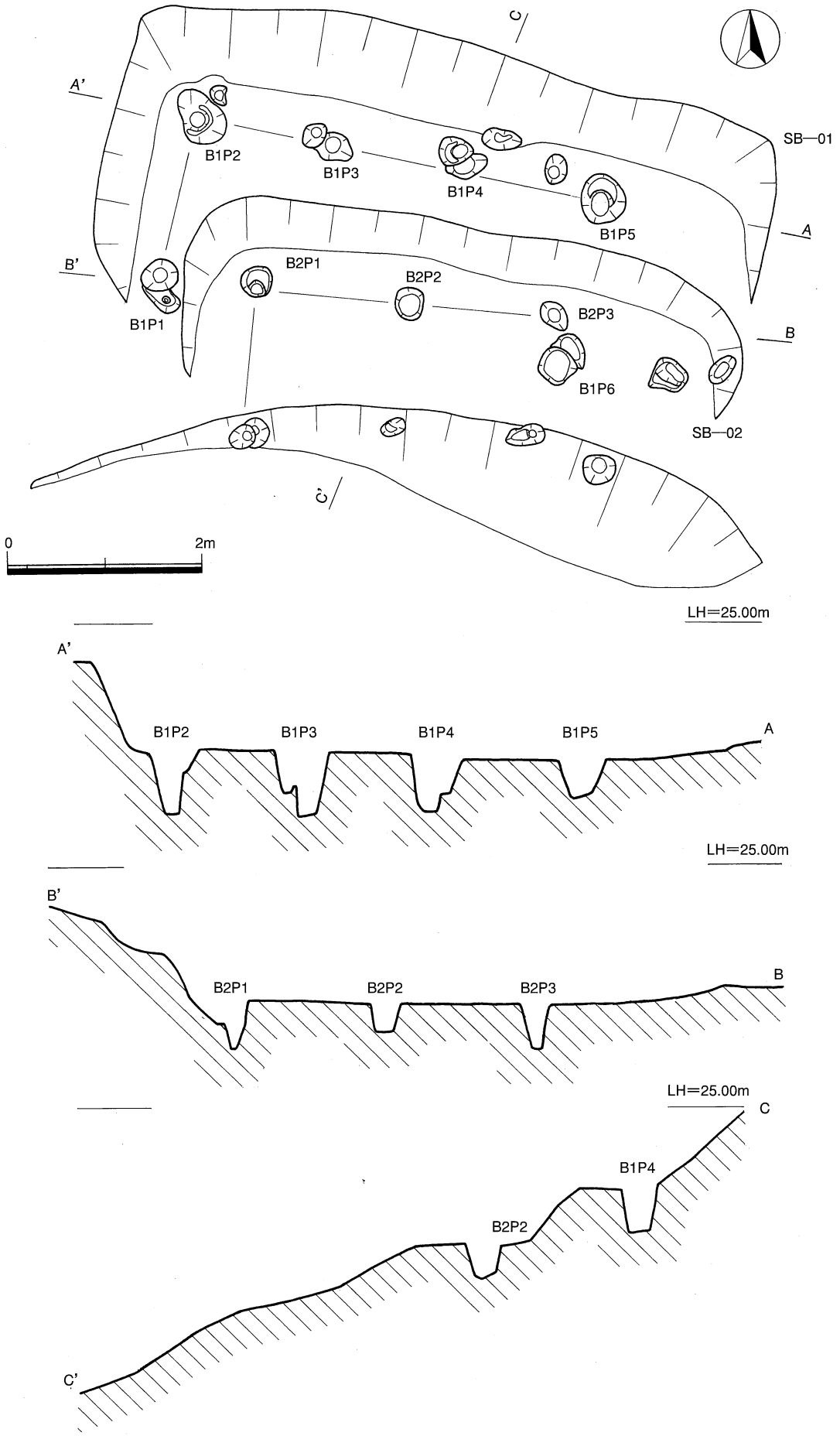
SB－01（第18図）　標高24.2ｍの斜面をＬ字にカットしたテラス状の平坦面に建てられる。柱穴痕は６本確認した。各柱の規模はＰ１（37cm×31cm－39cm）・Ｐ２（60cm×42cm－60cm）・Ｐ３（φ34cm×26cm－62cm）・Ｐ４（43cm×22cm－32cm）・Ｐ５（50cm×43cm－33cm）・Ｐ６（34cm×34cm－12cm）で、柱間はＰ１－Ｐ２（1.7ｍ）・Ｐ２－Ｐ３（1.4ｍ）・Ｐ３－Ｐ４（1.4ｍ）・Ｐ４－Ｐ５（1.4ｍ）・Ｐ５－Ｐ６（1.7ｍ）である。

SB－02（第18図）　標高23.6ｍにSB－01を切ったような状態でＬ字にカットしたテラス状の平坦面に建てられる。柱穴痕は３穴のみ確認した。各柱の規模はＰ１（32cm×31cm－48cm）・Ｐ２（32cm×28cm－32cm）・Ｐ３（34cm×24cm－49cm）で、柱間はＰ１－Ｐ２（1.55ｍ）・Ｐ２－Ｐ３（1.5ｍ）である。

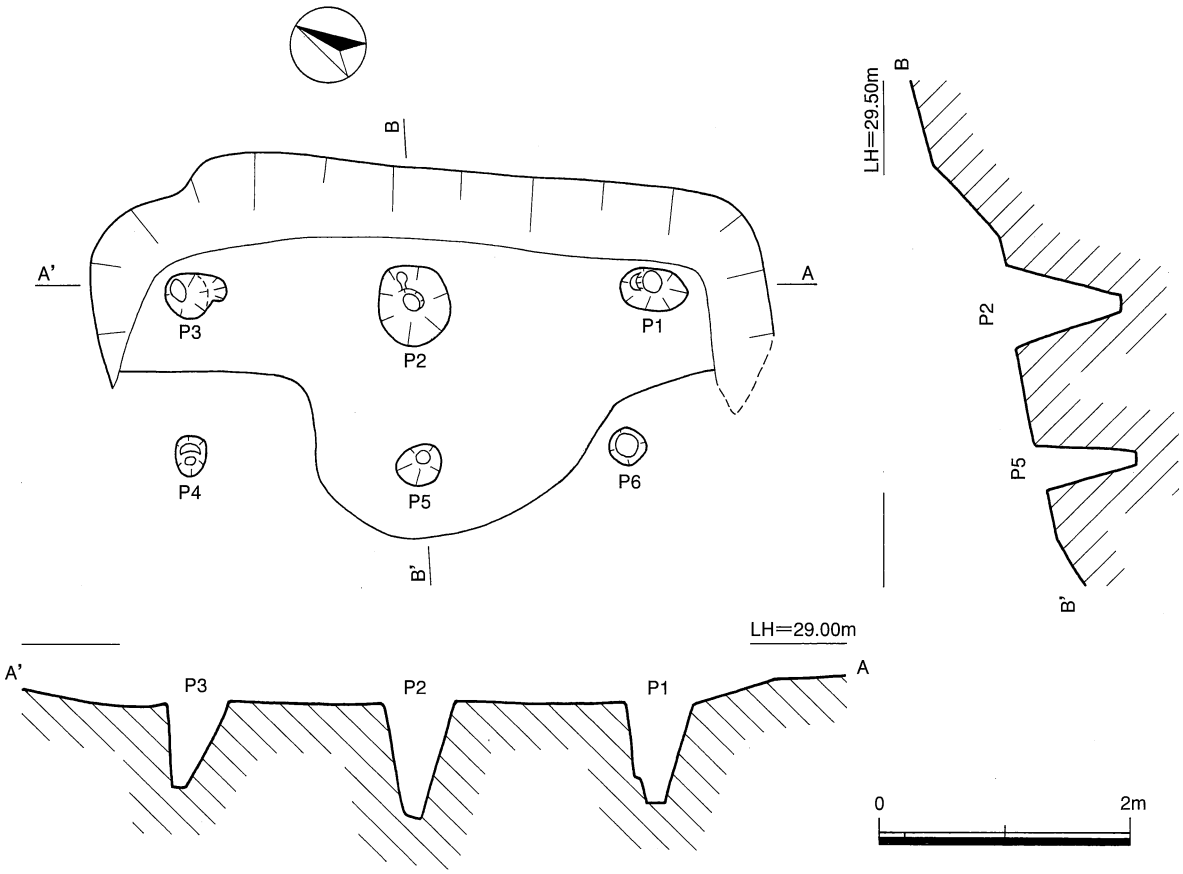
SB－03（第17図）　SI－22と重なる梁間１×桁間３の柱数８本の建物である。各柱規模はＰ１　427（58cm×46cm－84cm）・Ｐ２　403（径52cm－68cm）・Ｐ３　402（51cm×48cm－21cm）・Ｐ４　401（50cm×46cm－27cm）、Ｐ５（45cm×φ50cm－17cm）・Ｐ６（42cm×φ30cm－25cm）・Ｐ７（径66cm－84cm）、Ｐ８（径32cm－68cm）柱穴間はＰ１－Ｐ２（1.2ｍ）・Ｐ２－Ｐ３（1.3ｍ）・Ｐ３－Ｐ４（1.3ｍ）・Ｐ４－Ｐ５・（3.0ｍ）・Ｐ５－Ｐ６（1.3ｍ）・Ｐ６－Ｐ７（1.3ｍ）・Ｐ７－Ｐ８（1.15ｍ）・Ｐ８－Ｐ１（2.9ｍ）・Ｐ２－Ｐ７（2.9ｍ）・Ｐ３－Ｐ６（3.0ｍ）である。

SB－04（第19図）　標高28.6ｍの斜面をＬ字にカットして建物を建てたもので、本遺跡の最も高い所に位置する。幅4.6ｍ、奥行2.4ｍのテラス状の平坦面が残る。柱穴６本が残るものである。各柱穴の規模はＰ１（53cm×32cm－78cm）・Ｐ２（63cm×56cm－90cm）・Ｐ３（38cm×32cm－66cm）・Ｐ４（31cm×22cm－24cm）・Ｐ５（36cm×32cm－80cm）・Ｐ６（30cm×29cm－43cm）、柱穴間はＰ１－Ｐ２（1.9ｍ）・Ｐ２－Ｐ３（1.85ｍ）・Ｐ３－Ｐ４（1.35ｍ）・Ｐ４－Ｐ５（1.85ｍ）・Ｐ５－Ｐ６（1.6ｍ）・Ｐ６－Ｐ１（1.3ｍ）・Ｐ２－Ｐ５（1.25ｍ）である。遺物の出土は無く時期は不明である。

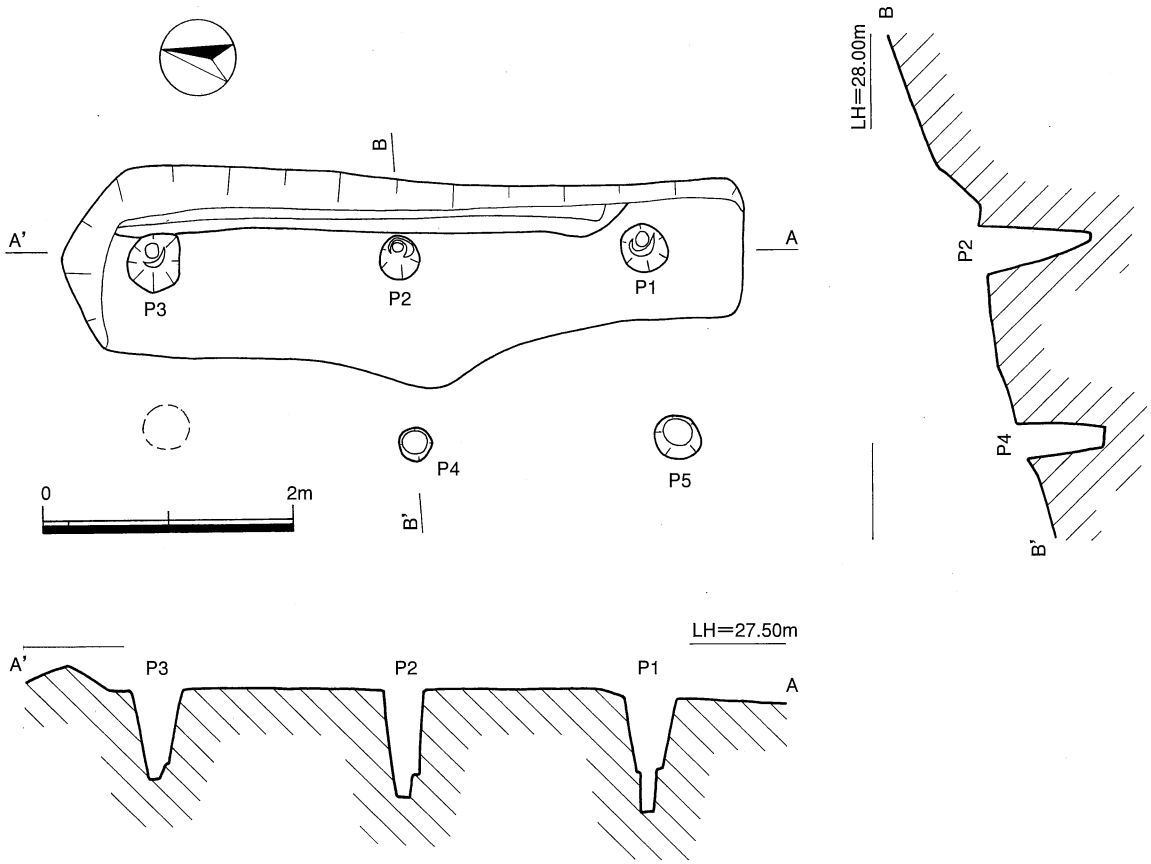
SB－05（第20図）　SB－04のすぐ下方標高27.1ｍにあり、SB－04と同じく斜面をＬ字にカットして建物を建てたもので、幅5.1ｍ、奥行1.4ｍのテラス状の平坦面が残る。柱穴は５本が残り、各柱穴の規模はＰ１（39cm×35cm－90cm）・Ｐ２（35cm×29cm－86cm）・Ｐ３（46cm×40cm－70cm）・Ｐ４（26cm－69cm）・Ｐ５（37cm×34cm－44cm）、柱穴間はＰ１－Ｐ２（1.95ｍ）・Ｐ２－Ｐ３（1.95ｍ）・Ｐ４－Ｐ５（2.1ｍ）・Ｐ５－Ｐ１（1.55ｍ）・Ｐ２－Ｐ４（1.55ｍ）である。SB－04と異なり、Ｌ字にカットすることによってできた壁面に沿って幅18cm・深さ２cmの溝が施されている。遺物の出土は無く時期は不明である。



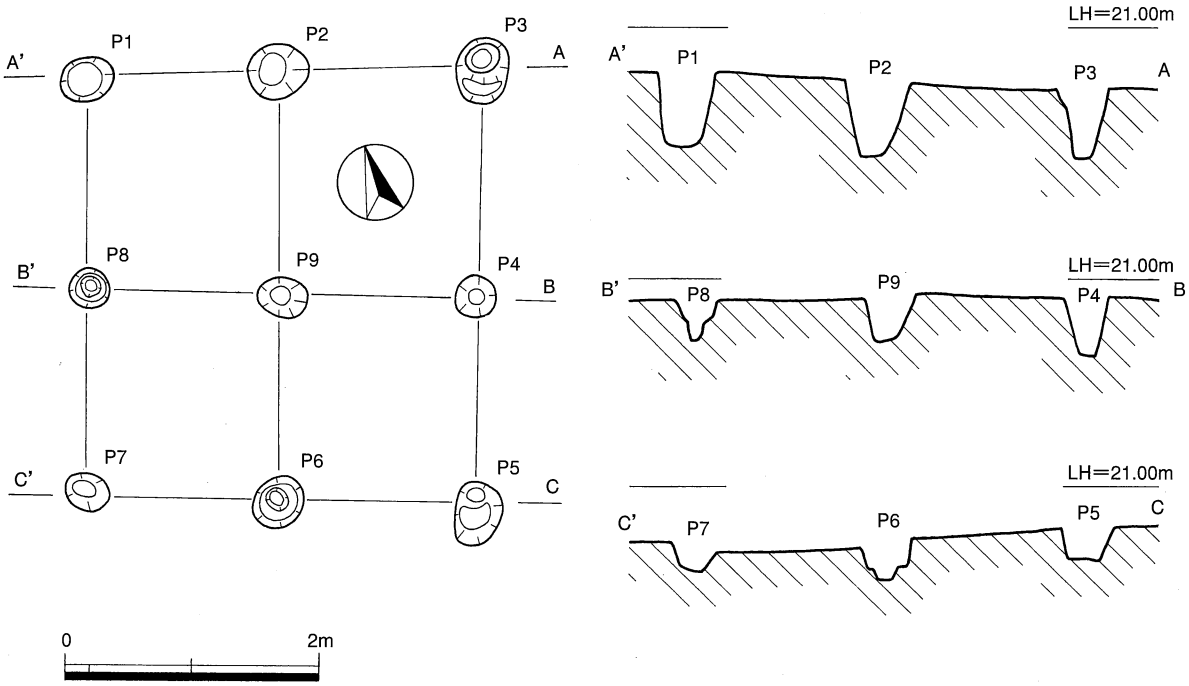
第18図　SB—01・02　平面図および断面図（S＝1／60）



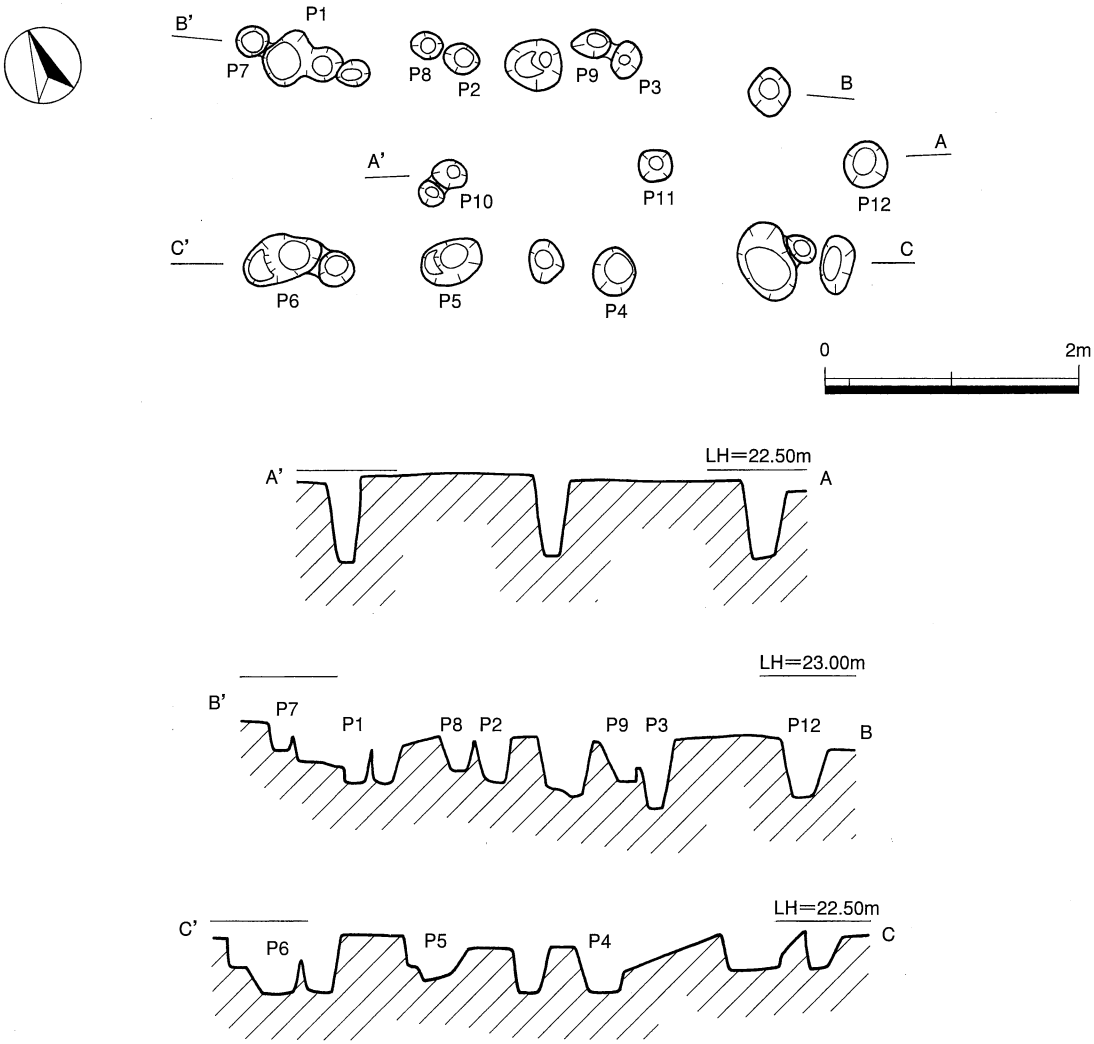
第19図　SB－04　平面図および断面図（S＝1／60）



第20図　SB－05　平面図および断面図（S＝1／60）



第21図　SB－06　平面図および断面図（S＝1／60）



第22図　SB－07　平面図および断面図（S＝1／60）

SB－06（第21図）　SI－01の北西側、標高20.9ｍの斜面をＬ字にカットし幅5.1ｍ、奥行1.4ｍのテラス状の平坦部に柱穴痕を多数検出した。この中で建物が復元できたものは総柱建物跡１棟のみであった。建物は２間×２間の柱数９本で、方向はＮ15°Ｅである。各柱穴の規模はＰ１（45cm×35cm－58cm）・Ｐ２（48cm×44cm－60cm）・Ｐ３（54cm×42cm－55cm）・Ｐ４（33cm×32cm－46cm）・Ｐ５（50cm×37cm－24cm）・Ｐ６（45cm×37cm－33cm）・Ｐ７（35cm×30cm－21cm）・Ｐ８（32cm×32cm－31cm）・Ｐ９（38cm×30cm－38cm）、柱穴間はＰ１－Ｐ２（1.55ｍ）・Ｐ２－Ｐ３（1.6ｍ）・Ｐ３－Ｐ４（1.9ｍ）・Ｐ４－Ｐ５（1.6ｍ）・Ｐ５－Ｐ６（1.6ｍ）・Ｐ６－Ｐ７（1.55ｍ）・Ｐ７－Ｐ８（1.6ｍ）・Ｐ８－Ｐ１（1.65ｍ）・Ｐ８－Ｐ９（1.55ｍ）・Ｐ９－Ｐ４（1.6ｍ）・Ｐ２－Ｐ９（1.8ｍ）・Ｐ９－Ｐ６（1.6ｍ）である。

SB－07（第22図）　SI－21の南東、標高22.5ｍに位置する。Ｐ１（44cm×32cm－46cm）・Ｐ２（24cm×22cm－39cm）・Ｐ３（31cm×22cm－56cm）・Ｐ４（36cm×34cm－46cm）・Ｐ５（49cm×34cm－39cm）・Ｐ６（65cm×42cm－44cm）、柱穴間Ｐ１－Ｐ２（1.4cm）・Ｐ２－Ｐ３（1.3cm）・Ｐ３－Ｐ４（1.65cm）・Ｐ４－Ｐ５（1.3cm）・Ｐ５－Ｐ６（1.3cm）・Ｐ６－Ｐ１（1.5cm）・Ｐ５－Ｐ２（1.55cm）であった。なお山側のＰ１・Ｐ２・Ｐ３にはそれぞれＰ７（24cm×24cm－46cm）・Ｐ８（24cm×22cm－35cm）・Ｐ９（30cm×22cm－44cm）の補助柱のものと考えられる柱穴痕がみられる。また一列に並ぶＰ10（22cm×22cm－68cm）・Ｐ11（26cm×25cm－64cm）・Ｐ12（37cm×34cm－61cm）、柱穴間Ｐ10－Ｐ11（1.6cm）・Ｐ11－Ｐ12（1.65cm）を検出しているが、境界際ということで対応する柱穴が調査区外に存在する可能性も考えられる。

SB－08　斜面をＬ字にカットした標高10.5ｍにテラス状の平坦面を検出した。この平坦面はSI－17からSI－18にかけての広い範囲にわたり、また無数の柱穴痕を検出したが建物を復元することはできなかった。

４．陥し穴

全部で１穴検出した。

SK－01　1.2ｍ×1.1ｍ－52cmで平面形は円形を呈す。床面中央に15cm×15cm－34cmの穴を施す。

Ⅲ　遺物について

今回の調査での遺物は、弥生土器・土師器・土師質土器・須恵器・石製品・玉類・鉄製品・銅製品等取り上げ点数で約1,750点を数えた。そのほとんどは、流れ込みのものであった。

１．縄文時代晩期から弥生時代前期の土器

突帯文系土器

深鉢（第23図No.１）　口縁部直下に突帯を張り付け刻みのあるものである。No.４・６は口縁部から一段下がった位置に突帯を張り付けたもので、No.４は刻み目は無く、No.６は刻み目がある。

甕形土器（第23図No.２～57）　口縁部が「く」の字に外反するもので、No.７ヘラ描沈線を施し、刻み目のないもの。No.５・８～13無文で刻み目のあるもの。その他は無紋で刻み目の無いものである。No.２は如意型口縁、No.３は逆Ｌ字口縁である。

壷形土器（第26図No.86・87・91）　いずれも口縁部が大きく外反するもので、No.91は口縁頸部に段を作る。

２．弥生時代中期から後期の土器

甕形土器（第25・26図No.58～85・90）　No.62～65は中期のもので、No.62・63は口縁端部に斜行する刻み目を施す。No.65は甕の肩部で円形の貼付文を施す。No.58～61・66～85・90は後期のもので口縁部が肥厚するか、上方に立上がり複合化するもので、口縁部に凹線を持つものが主体である。No.58～61・66～72は内傾するもので、No.73～85は直立或いはやや外形する。No.80・81は肩部にヘラ描文を施す。No.90は脚付の甕である。

壷形土器（第25図No.89・92・93）　No.89は口縁部に凹線が微かに残る。No.92・93は小型のものである。

器台形土器（第26図No.94・95）　拡張された端部に凹線を施す。

高坏形土器（第26図No.97～100）　No.97は坏部で口縁端部が肥厚し凹線を施す。No.98～100は脚部で、No.100は竹管文および円孔を施す。

土器底部（第27図No.103～123）　No.104は窪み底である以外はすべて平底である。底部のみの出土で器種や時期についての正確な特定はできないが、立上がりの角度から、No.103～115は甕形土器、No.116～123は壺形土器と思われる。

その他（第27図No.101・102）　子持壺の子壺と思われる。他に類例を見いだせないため、時期等について正確なことは不明であるが、胎土からみて弥生時代前期では無いかと思われる。

古墳時代以降の土器

3．土師器

壺形土器（第28・29図No.124～154）　複合口縁形・「く」の字口縁・長頸壺・小形壺等が出土している。No.124～131は複合口縁形で、No.126は口縁部が大きく外反し、肩部に突帯を巡らす。それ以外は口縁部がほぼ直立するタイプである。No.143～147は「く」の字形である。No.132～142は長頸壺で、体部が菱形を呈するものと、球形のものがある。No.148～153は小形の壺で、No.152・153はミニチュアに近い。No.154は低脚付の小形丸底の壺である。

甕形土器（第29～39図No.155～337）　昨年の調査と同様出土遺物の過半数を占める。大別して複合口縁形のものと、「く」の字口縁形に分けられる。前者はまた完全なもの（No.157～168）と退化したもの（No.170～214）とに別れる。No.215～325は「く」の字口縁形のもので、口縁部を緩やかに外反するもの（No.215～246・248）、鋭く外反するもの（No.247・249～275）、直角に屈曲するもの（No.276～303）に別れる。内面はほとんどが、頸部までケズリを施す。No.304・305・308～325は小形の甕である。No.326～337は、胴部のあまり張らない袋状のものと思われる。

鉢・椀形土器（第39図No.338第42図No.415～422）　No.338は大型の鉢で内外面ともにハケ目を施す。外面には螺旋状に火を受けた跡が残る。No.414～417は小形の鉢で、口縁端部を僅かに屈曲させる。No.419～422は椀形のものである。

製塩土器（第39図No.340）　焼き・作りのともに悪い粗雑なものである。

高坏形土器（第40・41図No.341～389）　坏部と脚部が接合するものが少なかったが、坏部については口縁部が大きく外反するもの（No.341～351）と、椀型（No.352～359）の二種類ある。脚部には低脚坏も含まれる。

坏形土器（第41図No.390～413）　器高の浅いものを坏とした。口縁端部を丸く収めるものと、先細りのものとに別れる。

器台形土器（第42図No.423～438）　鼓形器台である。いづれも風化が著しいがNo.426～428は同一個体か？

蓋形土器（第42図No.439～440）　輪状のつまみを持つもので、高坏の転用か？

土製品（第42図No.441～453）　No.441は取手、No.442は土錘、No.443～445はてづくね土器、No.446～451はミニチュア土器である。No.452・453は器種不明のため、小形の壺として実測した。

甑形土器・移動式竈（第43図No.454～465）　No.454は竈の口縁部。No.455～461は甑の口縁部、No.454～465は甑の底部、No.454～465は甑の取手部である。

土師質土器（第44・45図No.466～532）　No.466～508はⅢ形土器、No.509～No.521は坏形土器、No.522～530は高台付坏土器、No.531・532柱状高台付坏土器である。

4．須恵器

第53図No.710～739は昨年度の調査で出土したものである。

坏形土器（第46～48・53図No.533～630・710～729）　No.533～580・710～723は坏蓋、No.581～630・724～729は坏身である。坏蓋は稜があり、口縁端部に段を有する5世紀頃のものが大半を占めるが、No.566～577は6世紀、No.578～580・723の稜・段ともになくなる7世紀頃ものもみられる。坏身も返りの立上がりが高く、口縁端部に段の残る5世紀頃のものが大半を占める。

高坏形土器（第49・50・53図No.631～674・730～738）　No.631～633は高坏の蓋でつまみの付くものである。坏部には返りの付くもの（No.634～643・731～737）と、口縁部の大きく外反するもの（No.644～655・738）がある。脚部には低脚のものと、高脚のものがあり、後者の底部には段を有するものが大半を占める。No.663は二段以上の透かしを施す。

瓻・壺形土器（第50・52・53図No.675～691・700～702・739）　No.675～684・739は瓻、No.685・686は長頸壺と思われる。No.687は菱形の胴部を呈する短頸壺、No.691は小型壺、No.700～702はやや大型の壺である。

甕形土器（第51・52図No.692～699・703）　口縁部が長く、外反するもの（No.692～697）と短く「く」の字に外反するもの（No.699・703）がある。No.698は横瓶。

その他（第52図№704～709）　№704つまみの付いたもので高坏の転用か？№708は糸きりの残る底部、№709は盤、№705・706は須恵質の甕、№707は須恵質の鉢か？

5．石製品

石斧（第54・55図№740～749）　打製石斧（№740）と、磨製石斧（№741～749）がある。

敲石・叩石・石皿（第55・56図№751～757・760・763）　№751～755は敲石、№756・757は叩石、№760・763は石皿である。

砥石（第56・57図№761・764～773）　大型のものから小型のものまで出土。№771は円孔を施し携帯用か？

石鏃（第58図№774～795）　№774～780は黒耀石製、№781～795はサヌカイト製である。

玉類（第59図№796～826）　№796～798は勾玉、№799～801は管玉、№802～811は管玉の未製品か。№812・813はなつめ玉、№814～820は小玉、№821～826は臼玉である。

その他（第55図№758・759）　№758は石錘、№759は薄い方形のリング状のもので器種は不明である。

6．銅・鉄製品

銅製品（第55図№827～830）　№827は銅鏡で朱文鏡である。№828はキセル、№829・830は銅銭で№830は紐につながった状態で出土。

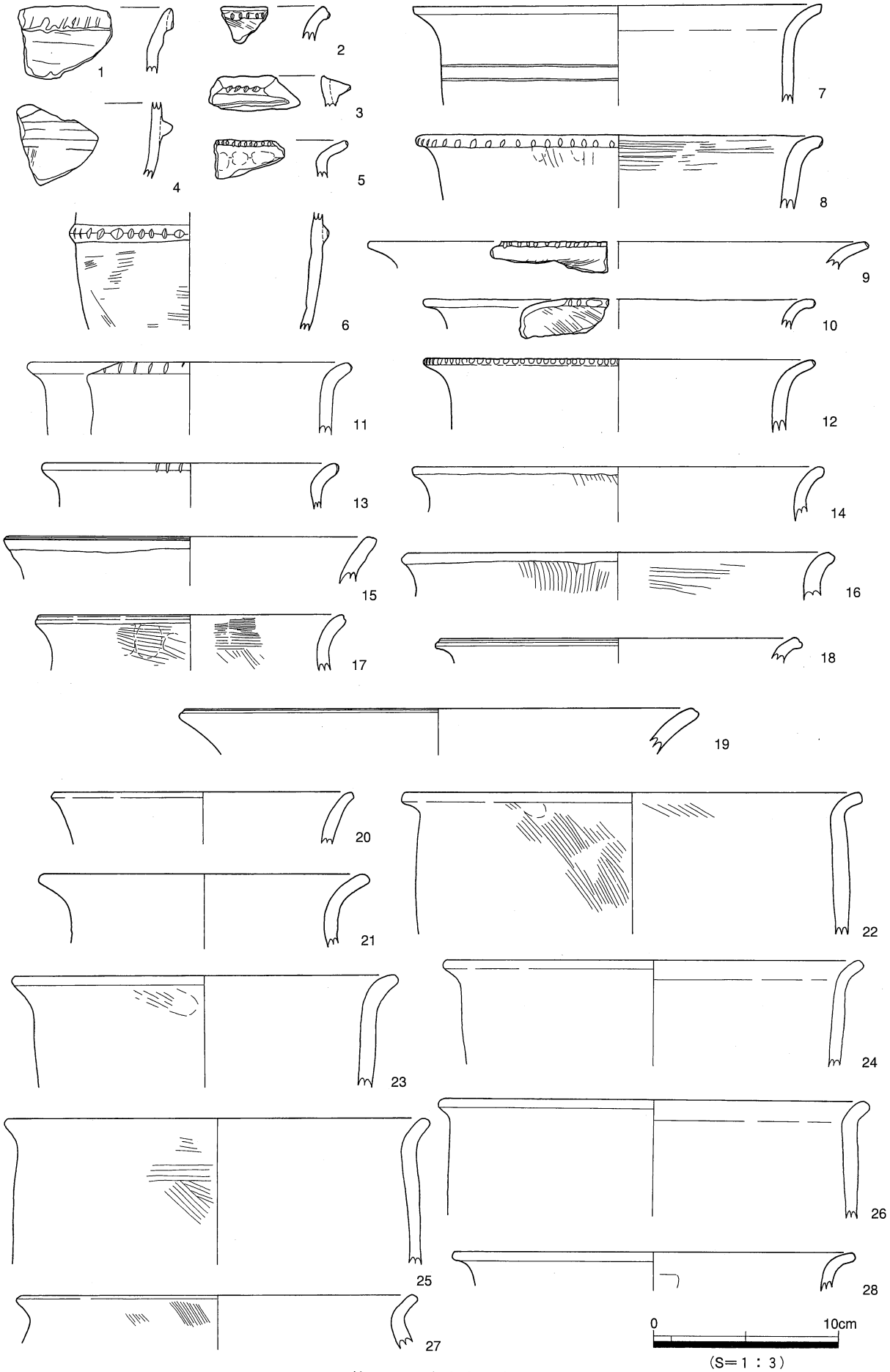
鉄製品（第55図№831・832）　№832は刀子である。

Ⅳ　小　　結

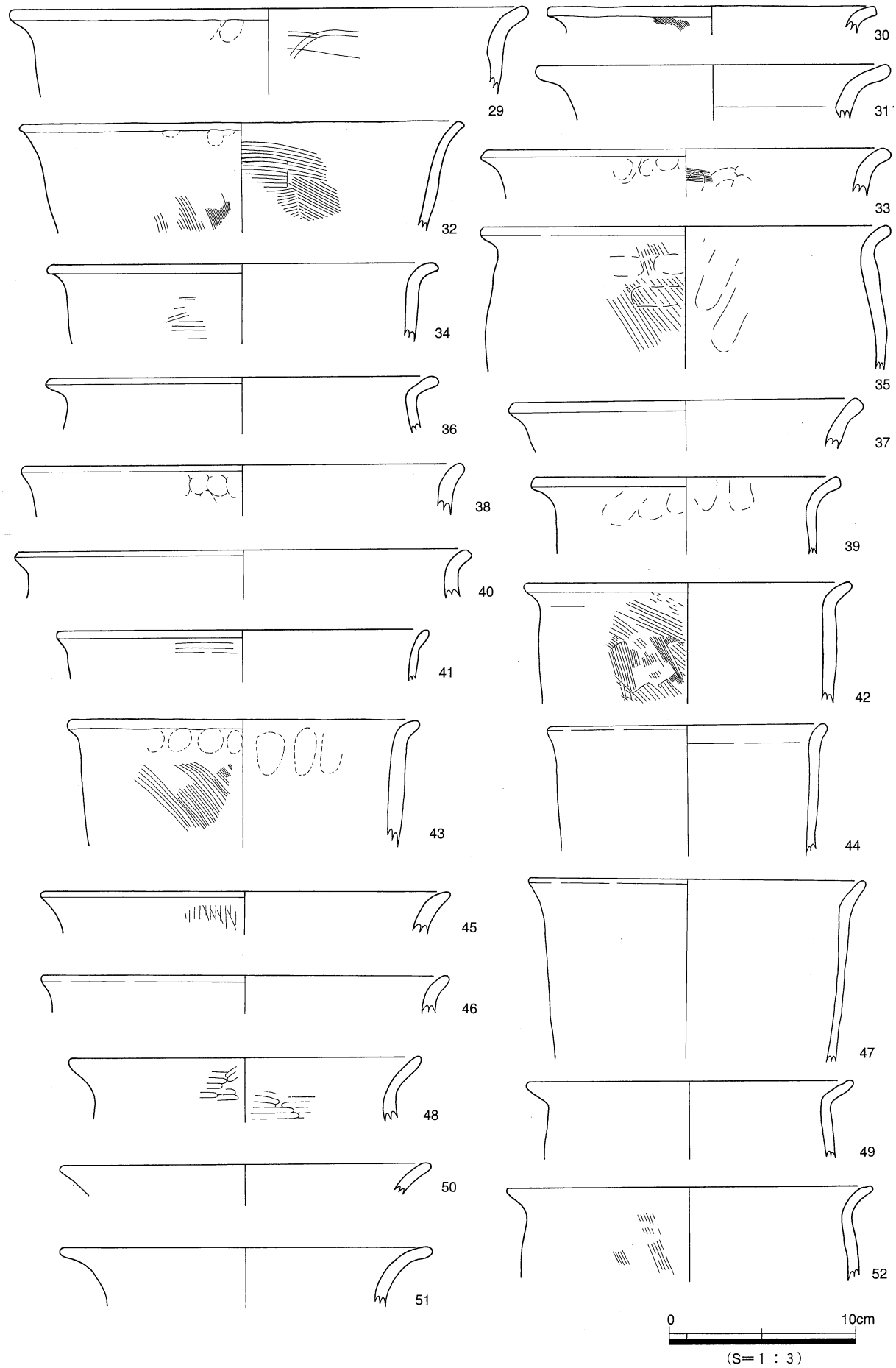
長砂第３遺跡は２年間に渡って調査を行ってきた。その結果、弥生時代の竪穴住居跡１棟・古墳時代の竪穴住居跡29棟・掘立柱建物跡約12棟・テラス状遺構・中世の石組遺構・陥穴等の遺構を確認することができた。また出土遺物も、弥生土器・土師器・須恵器・石製品・玉類・鏡等取り上げ点数で5,500点を数えた。

今回調査で確認できた遺構は古墳時代の中期から後期の集落を中心としたものであったが、これらの住居の下から弥生土器が、出土していること、流れ込みの遺物を見ても土師器や須恵器の数と変わらないほどの弥生土器が出土していることからみて、弥生時代においても古墳時代と同様な集落が営まれていた可能性が伺われる。恐らく弥生時代から古墳時代にかけて、洪水等において弥生時代の集落はほぼ壊滅状態になったものと考えられる。この事は遺物のほとんどか山裾に集中していたことも理解できる。また、古墳時代以降においても遺構としては少ないが、中世の遺物も多数出土していることを考慮すると、何らかの人の営みがあったと考えることができる。これらのことから、長砂第３遺跡では弥生時代から中世にかけて、継続して人が生活していたことになる。

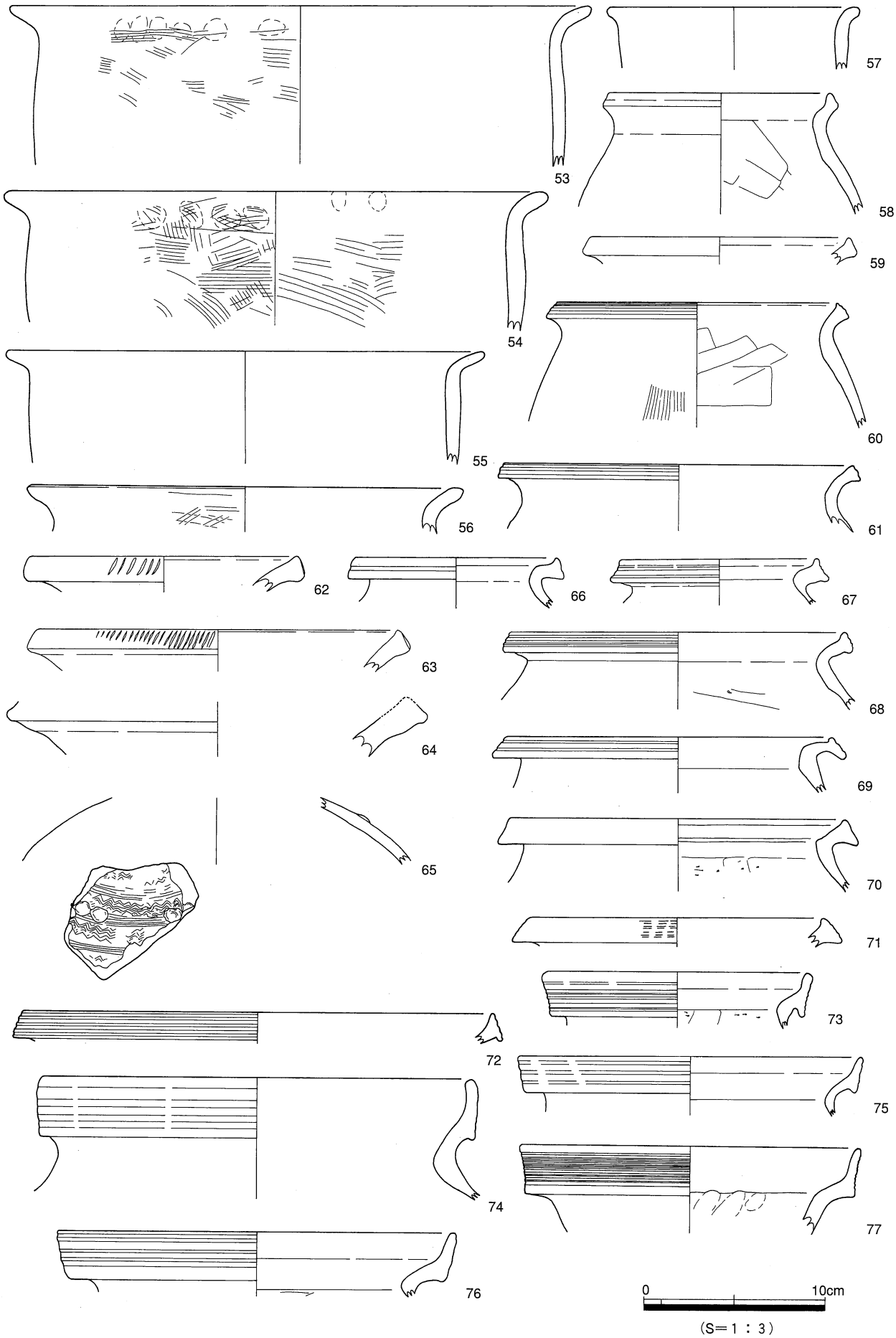
では、なぜこのような傾斜地に住居をつくる必要があったのだろうか。弥生時代の遺構がほとんど確認できなかったこと、古墳時代の住居跡もほとんど谷側が流れてしまっていることからみて、一度大雨が降るとかなりの被害があったと考えられる。それでも平野部ではなく山の斜面に住居をつくったということに、何らかの意味があると考えられるが、今回の調査では平野部での広範囲の調査が行われなかったため不明である。今後の調査に期待したい。



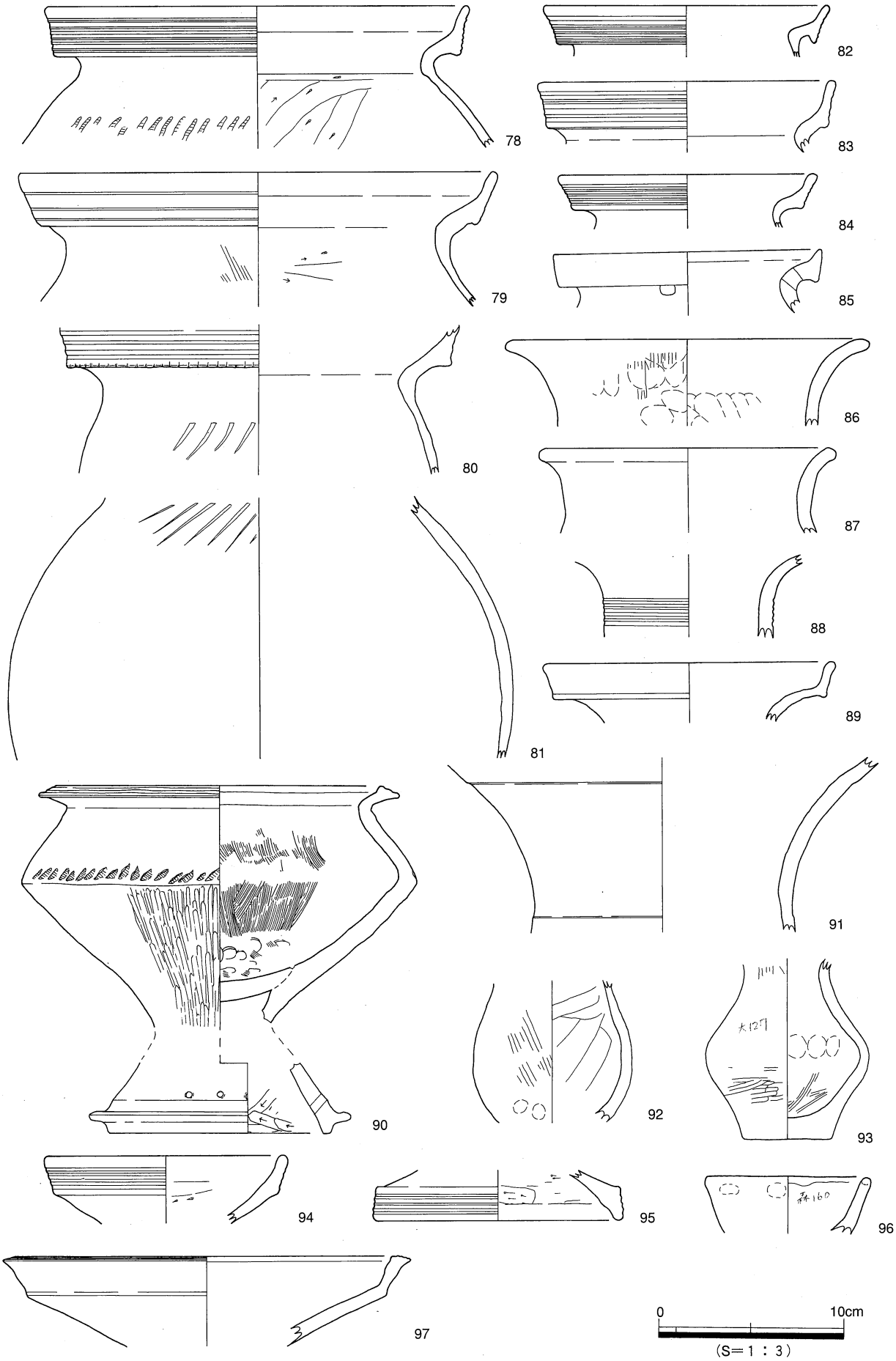
第23図　弥生土器実測図



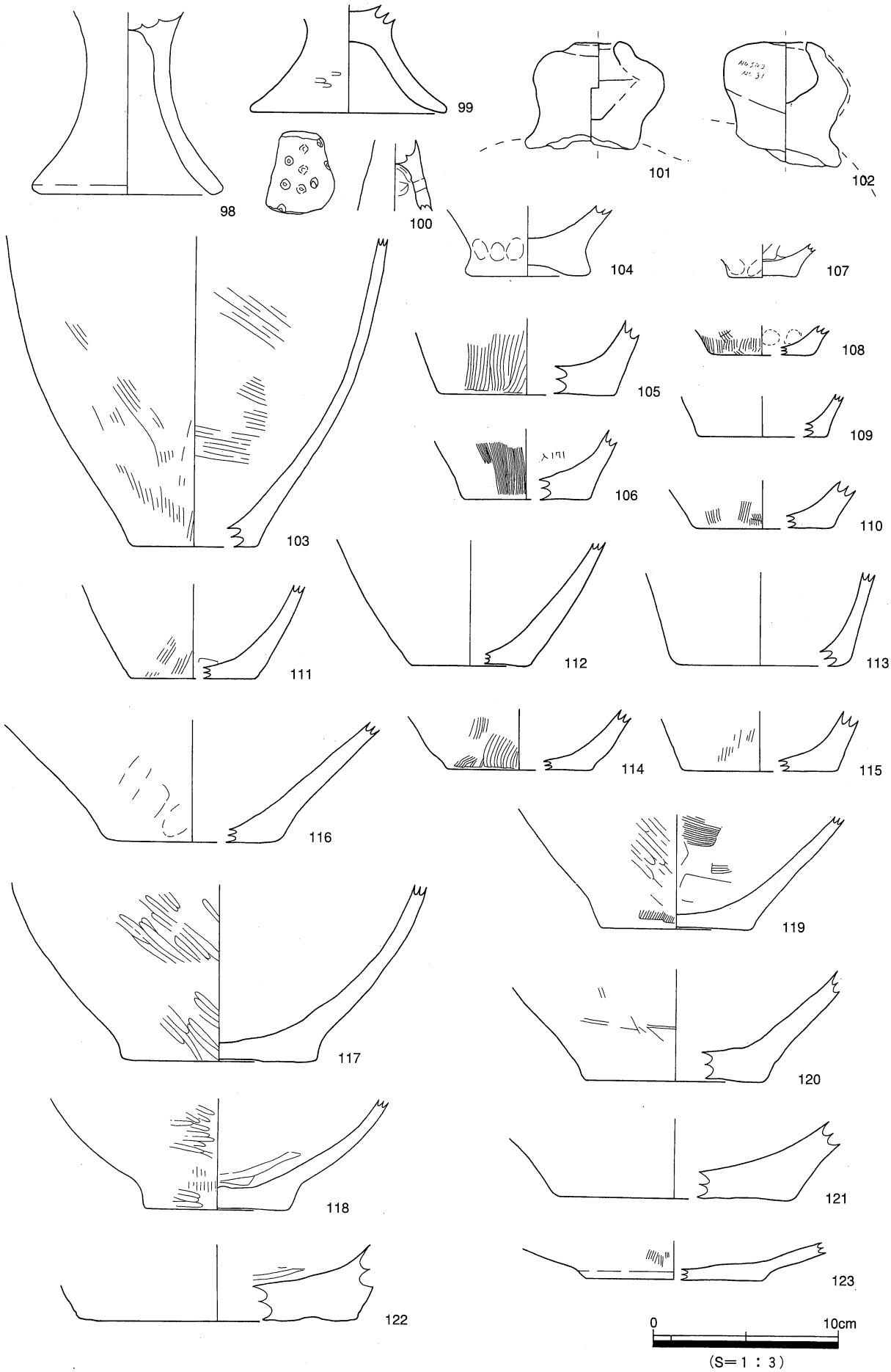
第24図　弥生土器実測図



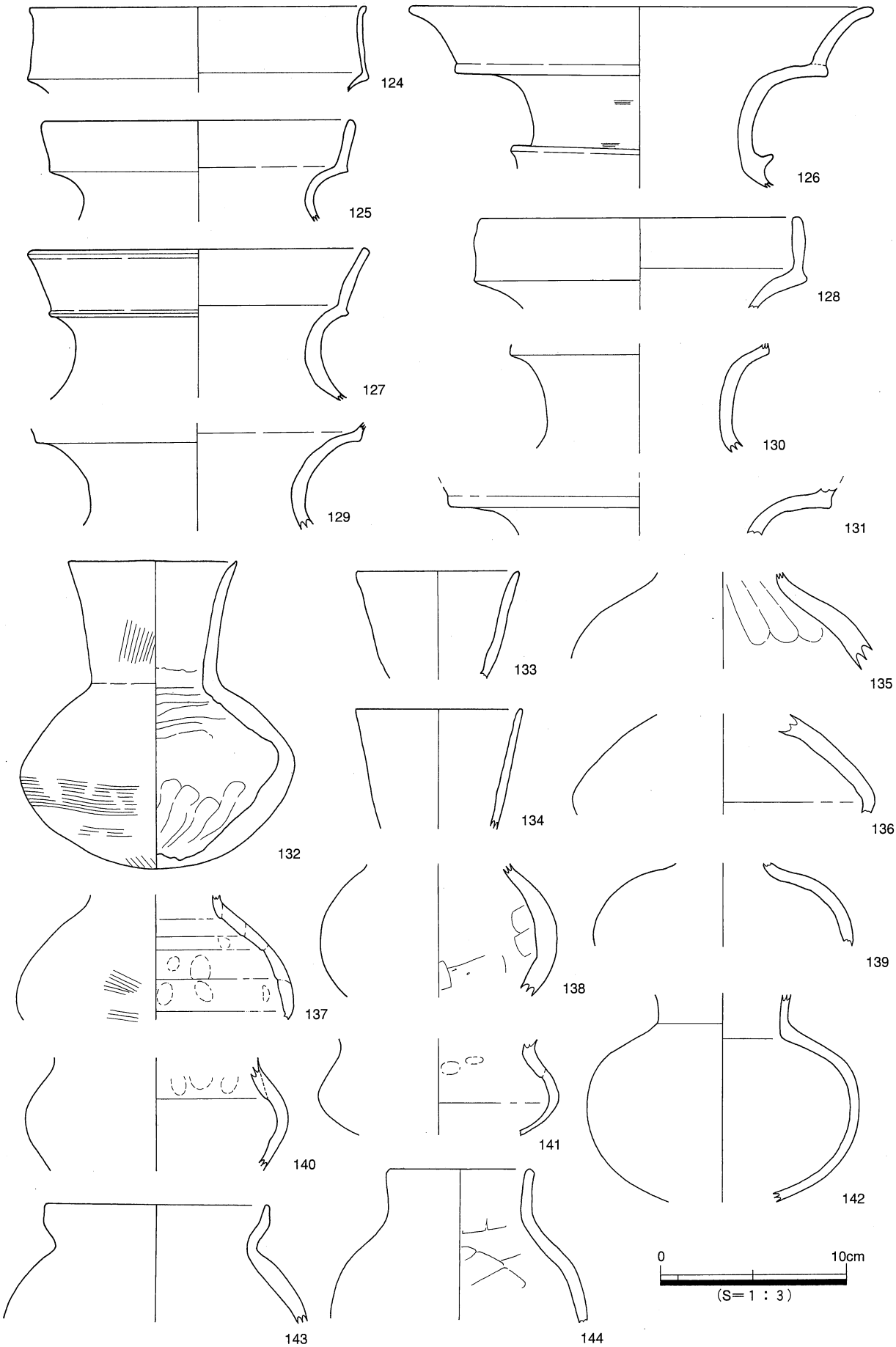
第25図　弥生土器実測図



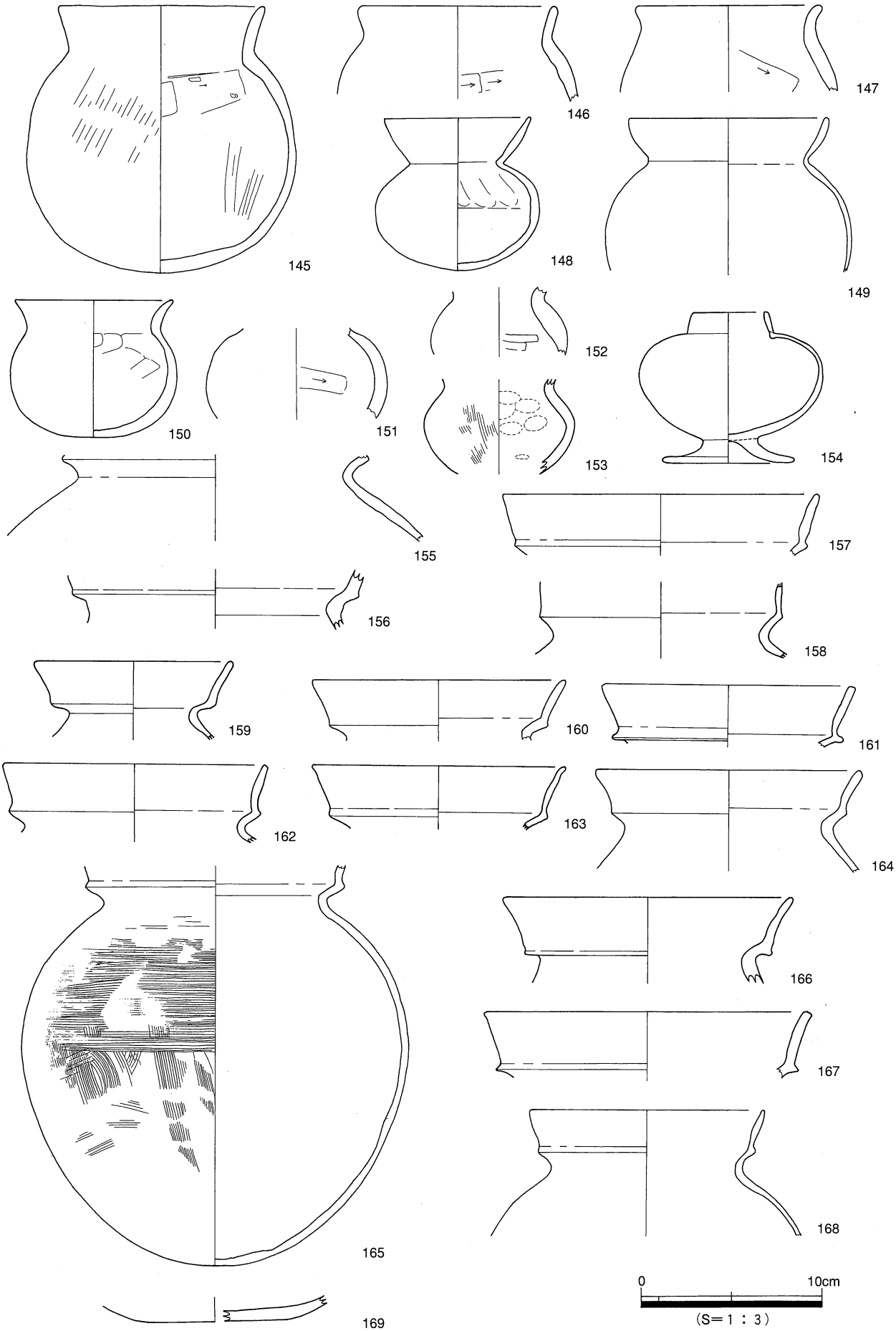
第26図　弥生土器実測図



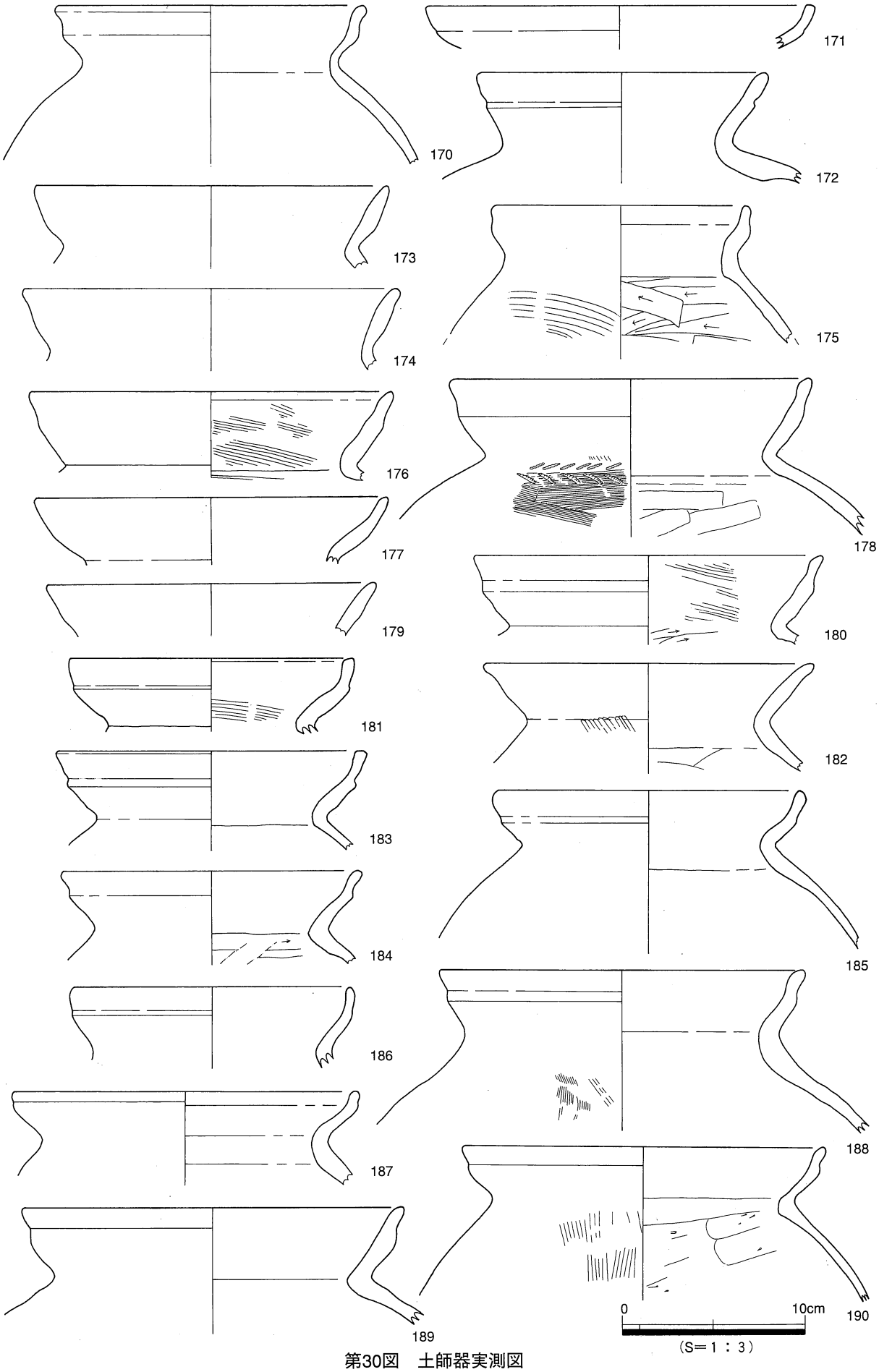
第27図　弥生土器実測図


124
125
126
127
128
129
130
131
132
133
134
135
136
137
138
139
140
141
142
143
144
0
10cm
(S=1：3)

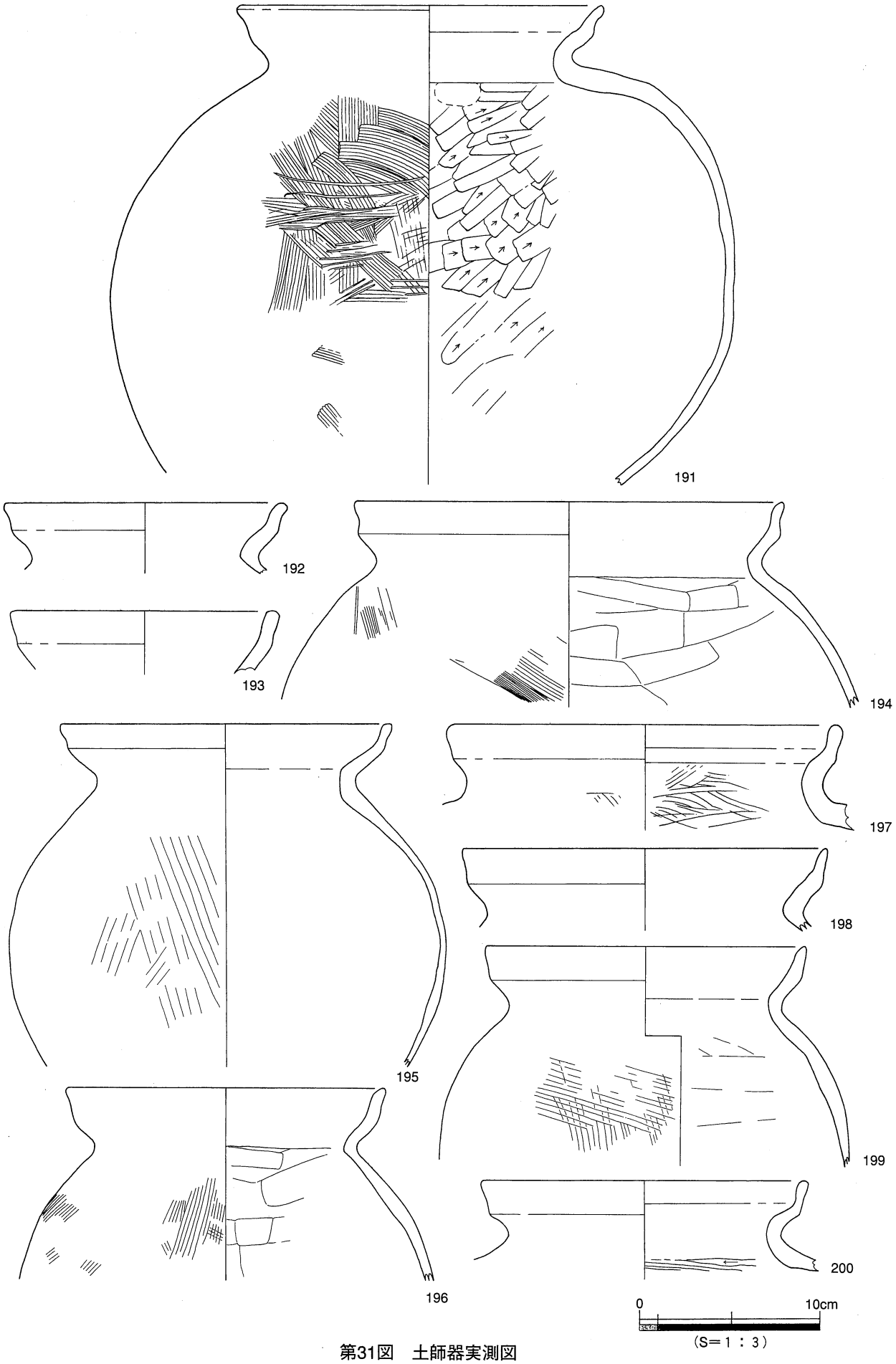
第28図　土師器実測図


145
146
147
148
149
150
151
152
153
154
155
156
157
158
159
160
161
162
163
164
165
166
167
168
169
0
10cm
(S=1：3)

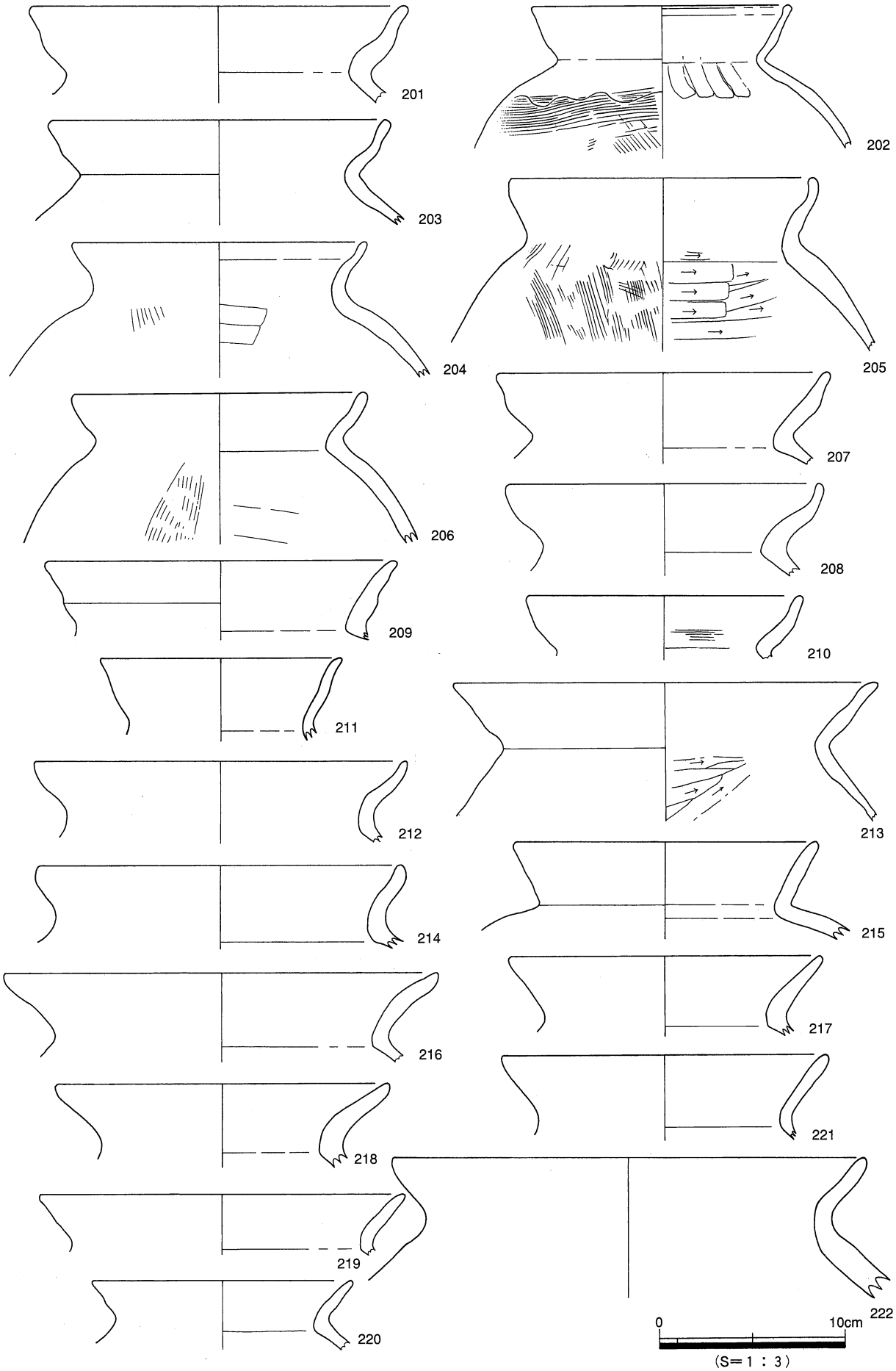
第29図　土師器実測図


170
171
172
173
174
175
176
177
178
179
180
181
182
183
184
185
186
187
188
189
190
0
10cm
(S=1：3)

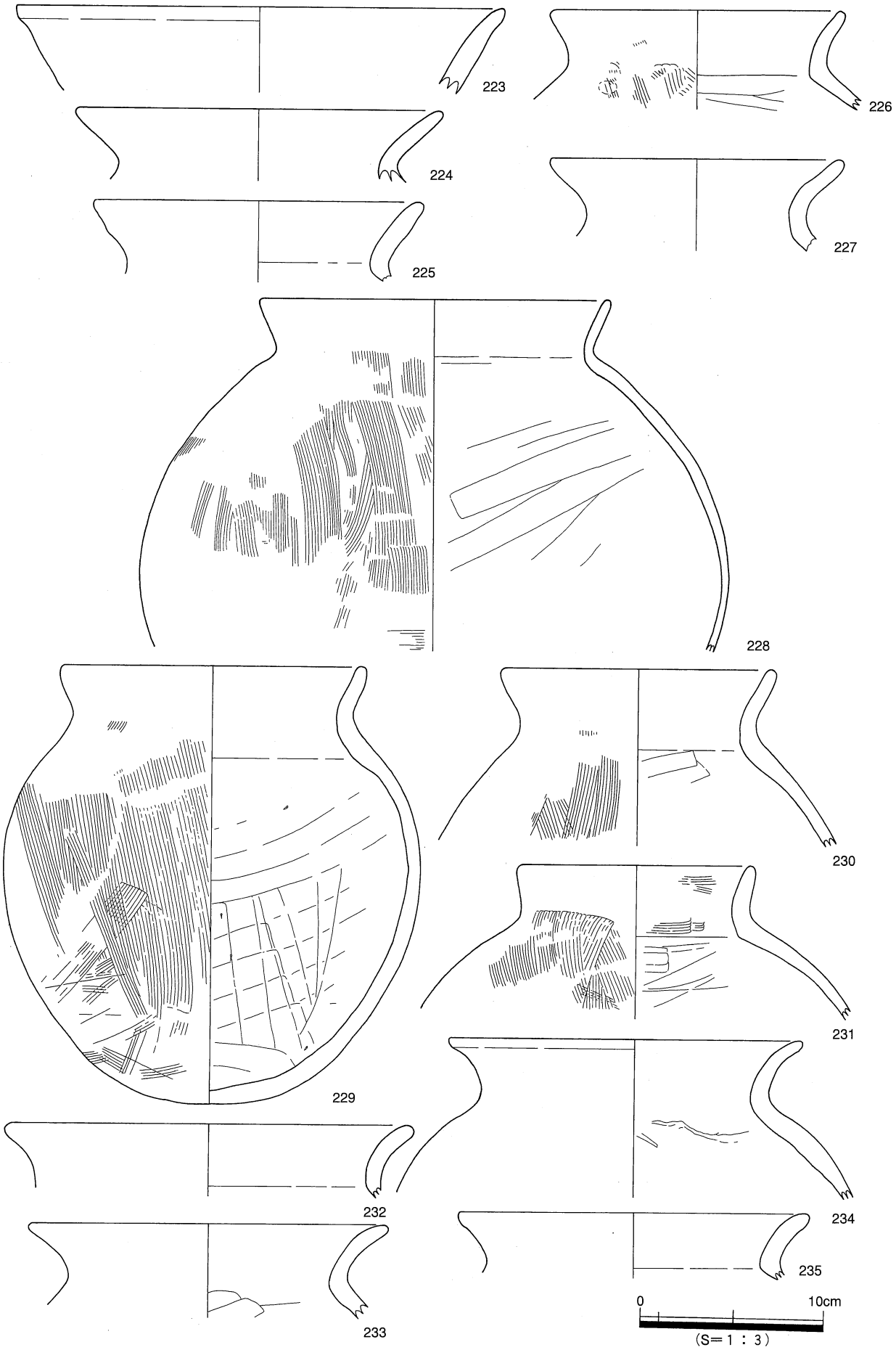
第30図　土師器実測図



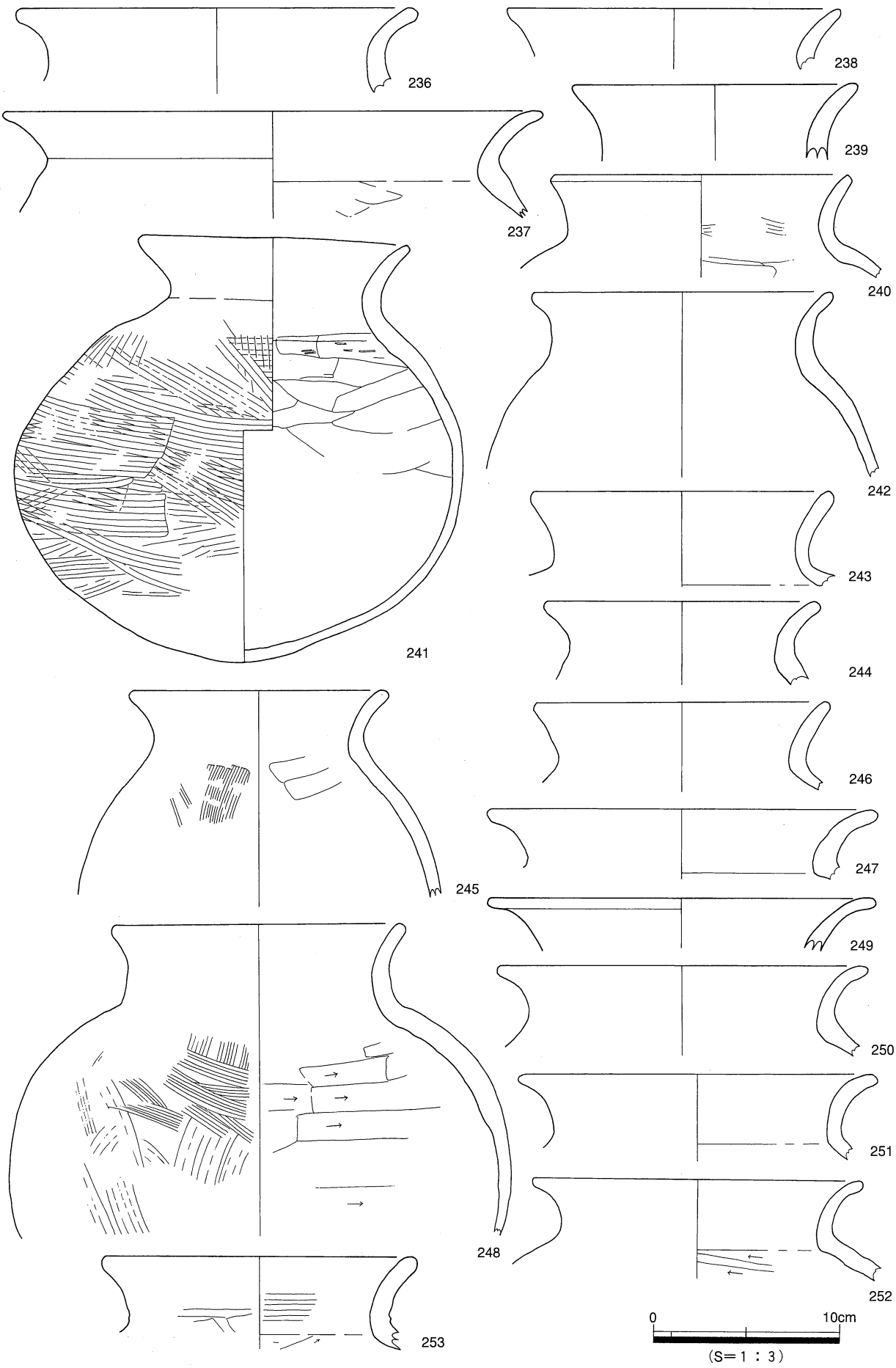
第31図　土師器実測図


201
202
203
204
205
206
207
208
209
210
211
212
213
214
215
216
217
218
219
220
221
222
0
10cm
(S=1：3)

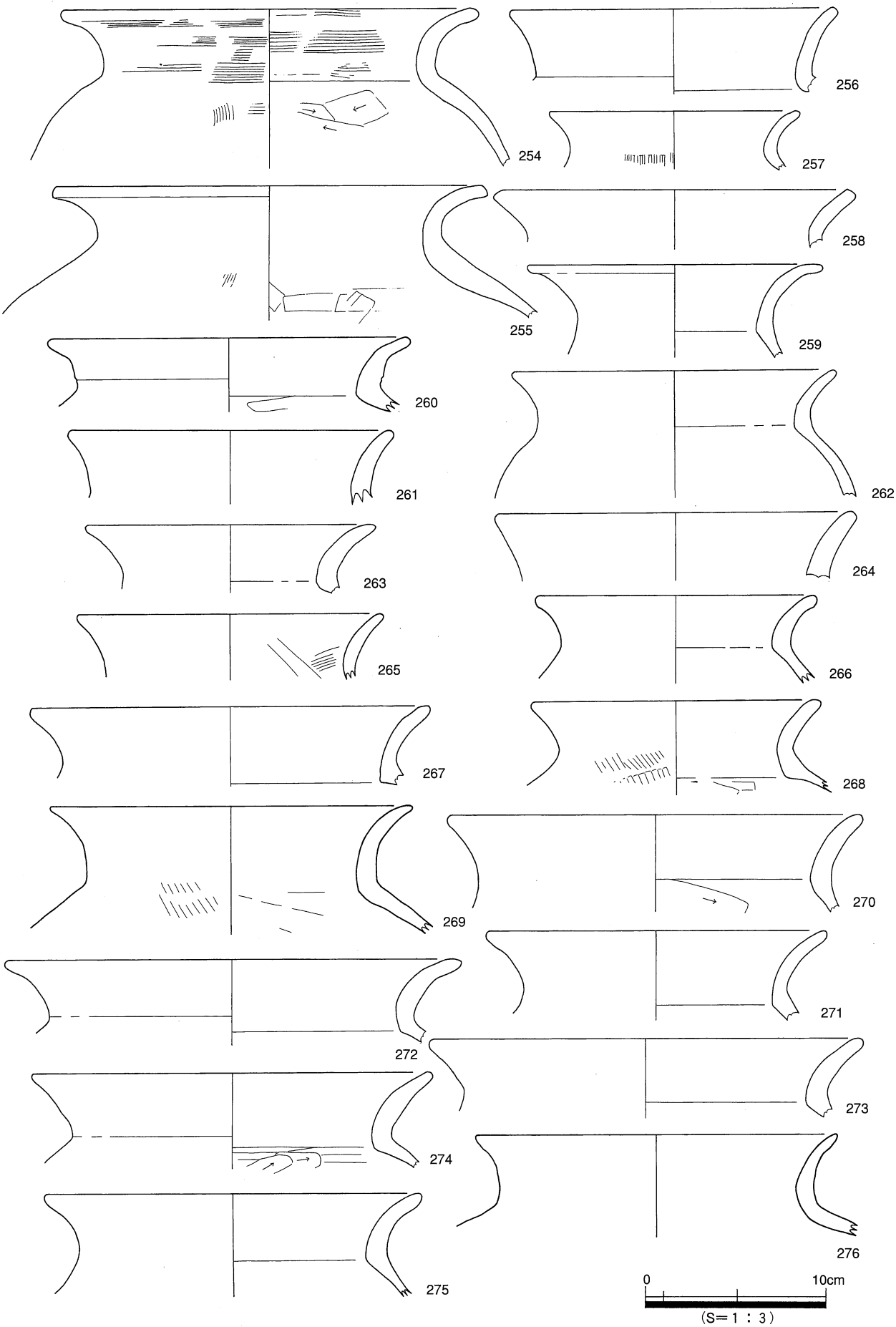
第32図　土師器実測図



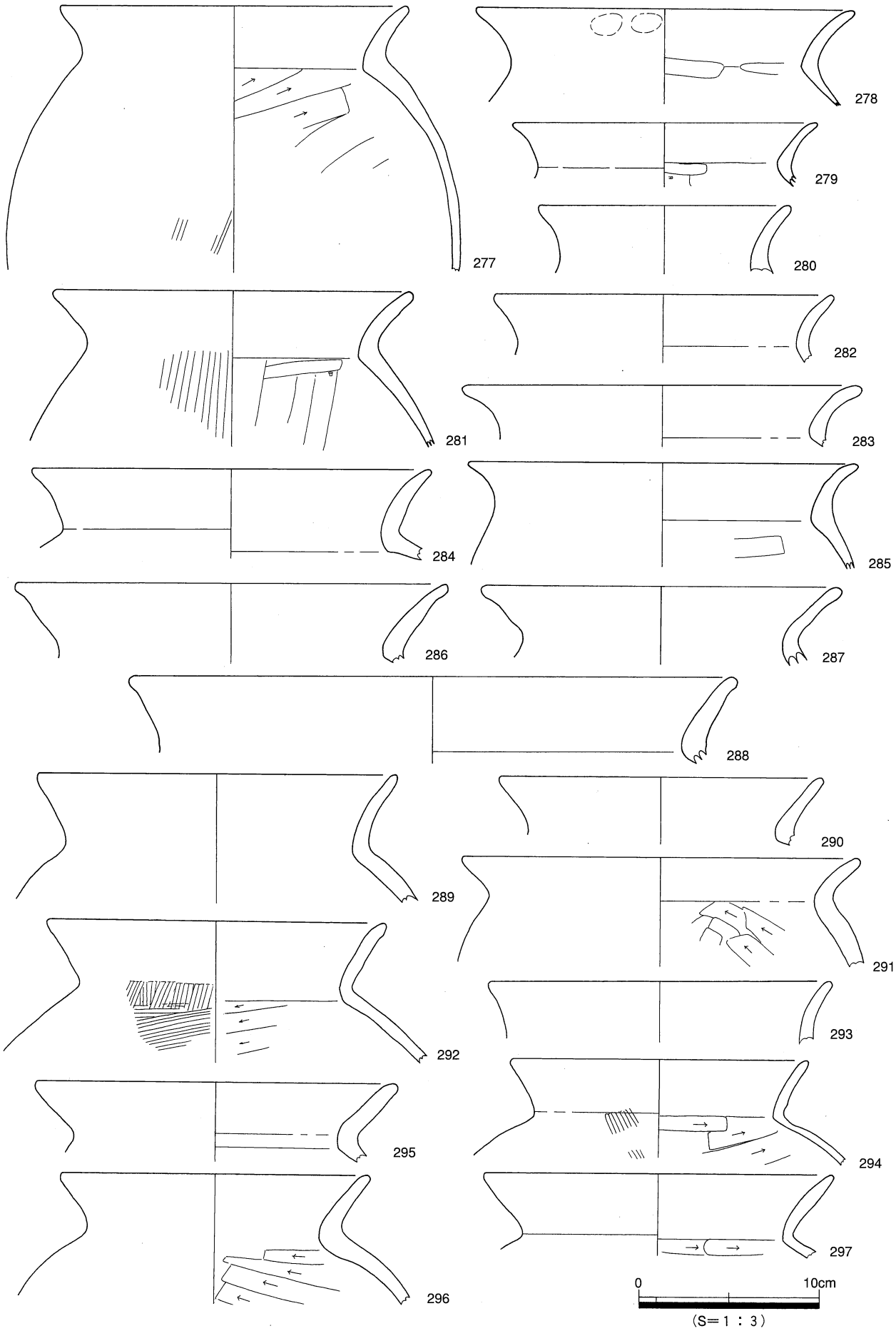
第33図　土師器実測図


236
237
238
239
240
241
242
243
244
245
246
247
248
249
250
251
252
253
0
10cm
(S=1：3)

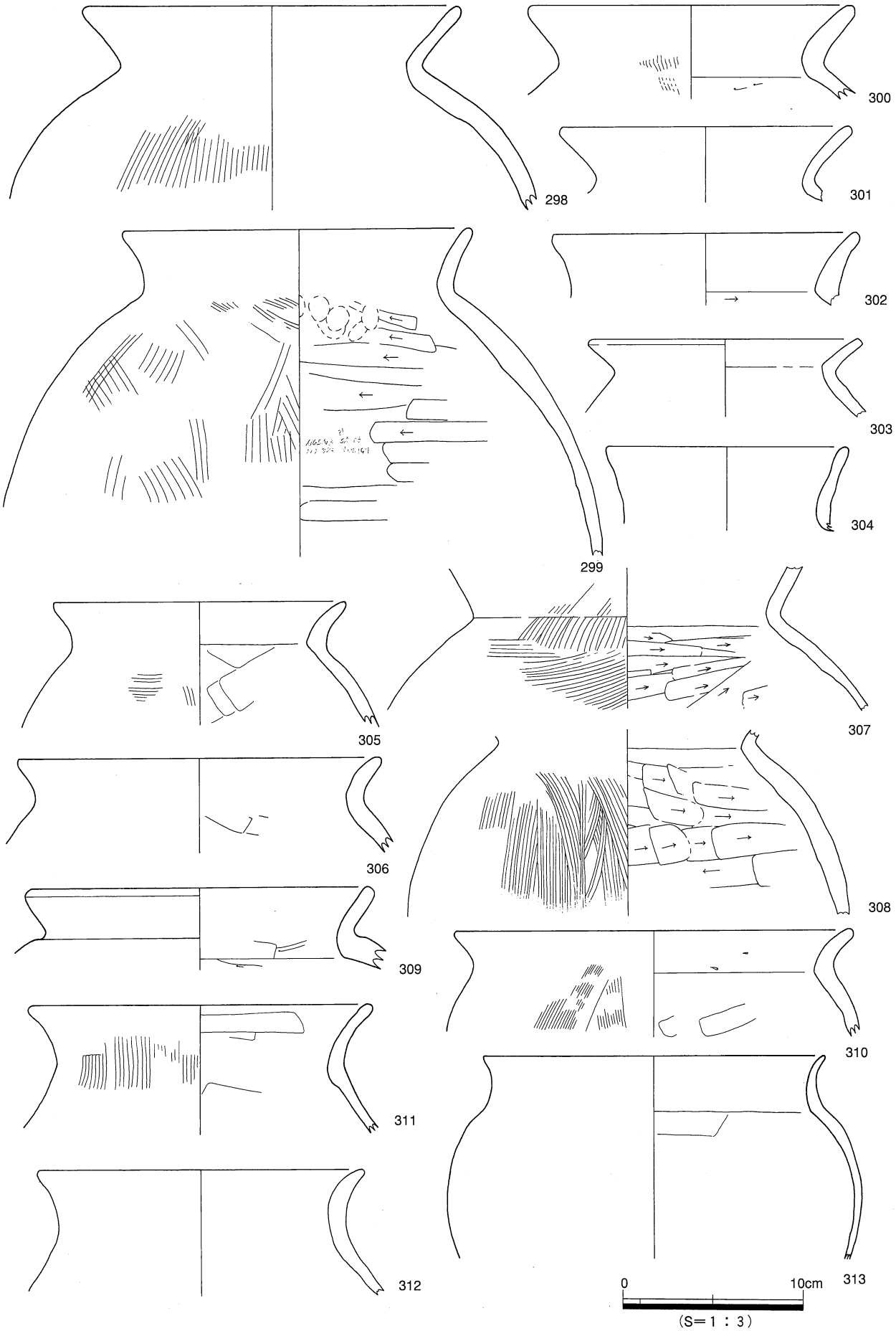
第34図　土師器実測図


254
255
256
257
258
259
260
261
262
263
264
265
266
267
268
269
270
271
272
273
274
275
276
0
10cm
(S=1：3)

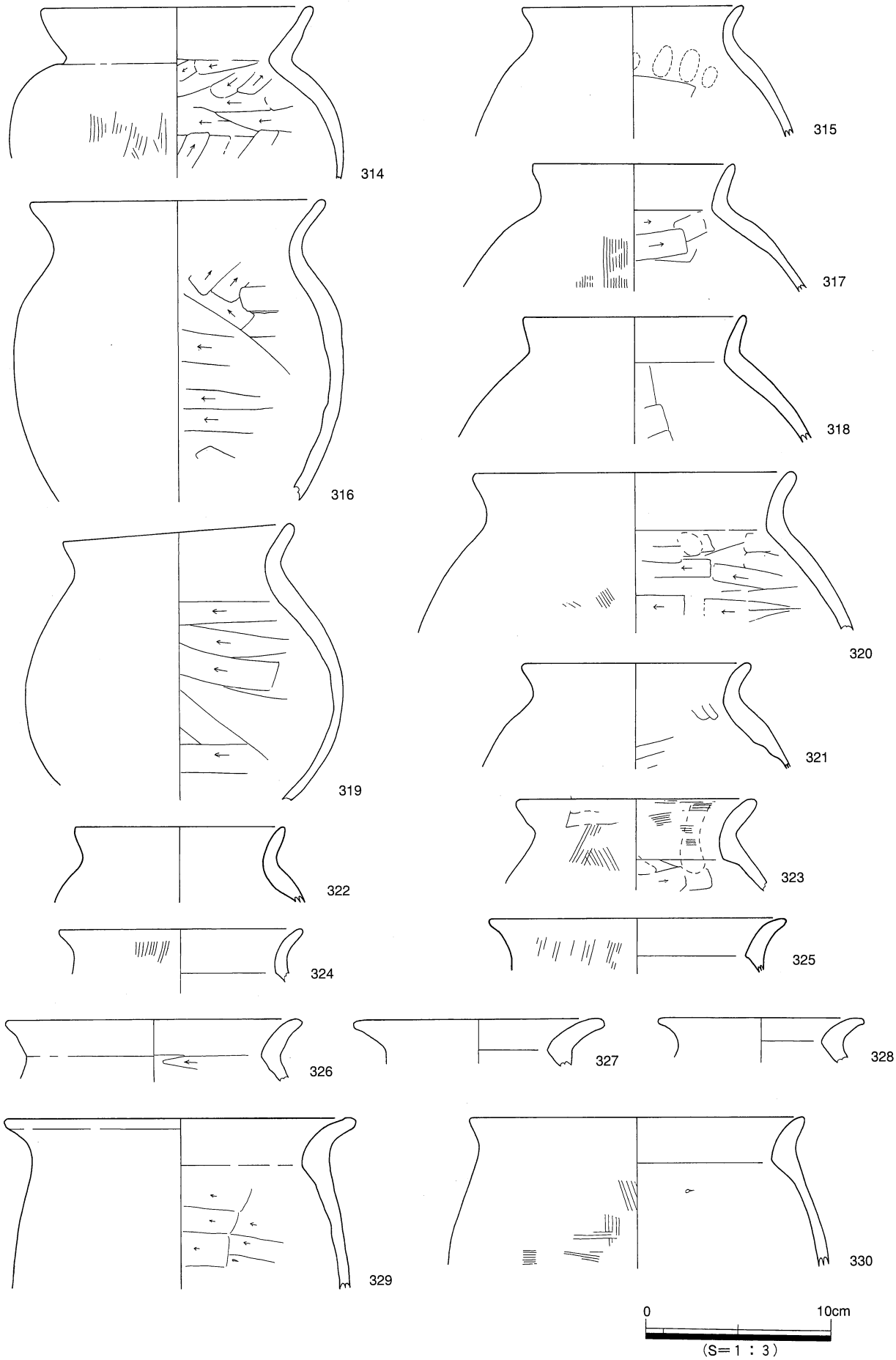
第35図　土師器実測図


277
278
279
280
281
282
283
284
285
286
287
288
289
290
291
292
293
294
295
296
297
0
10cm
(S=1：3)

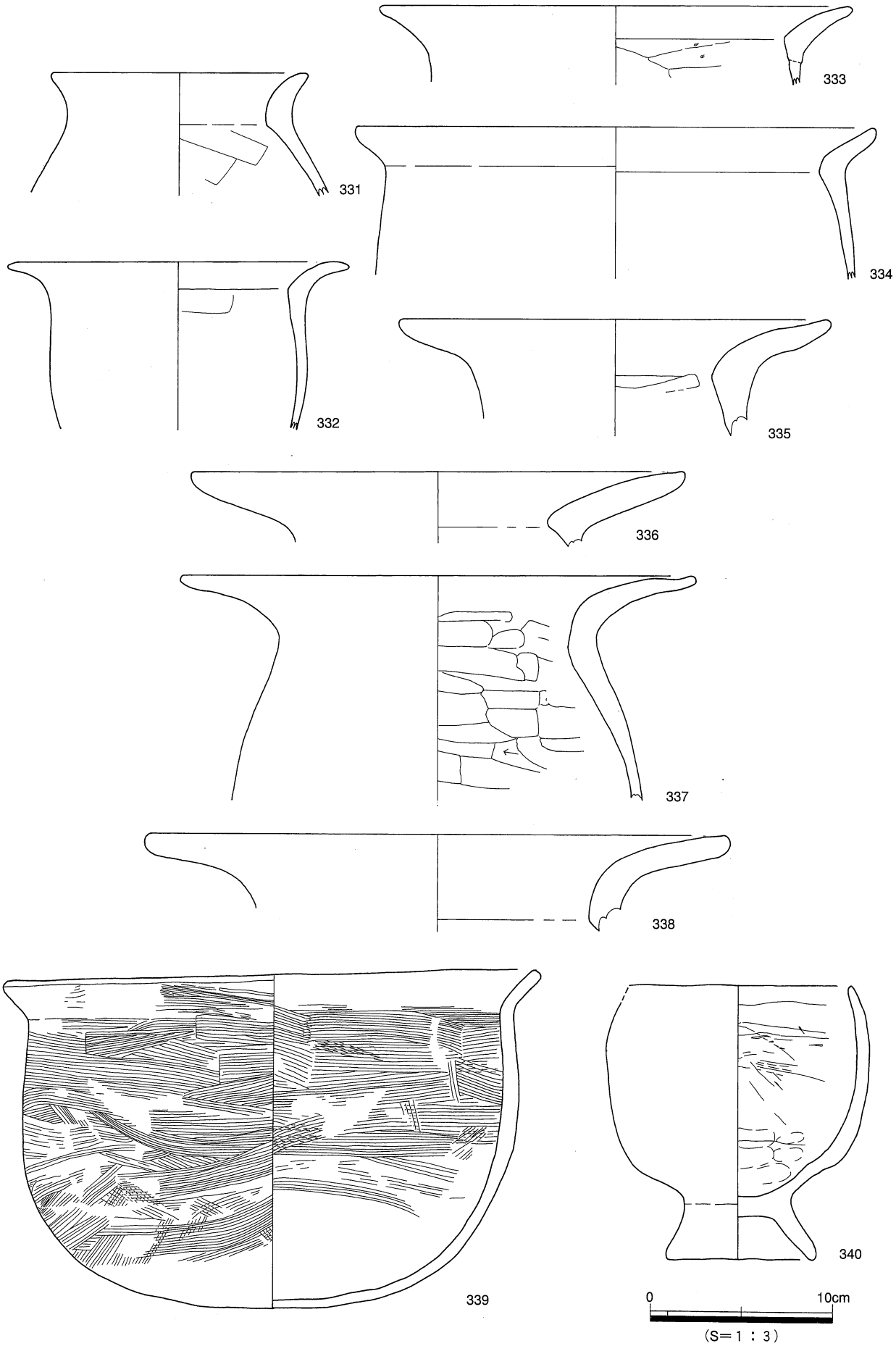
第36図　土師器実測図


298
299
300
301
302
303
304
305
306
307
308
309
310
311
312
313
0
10cm
(S=1：3)

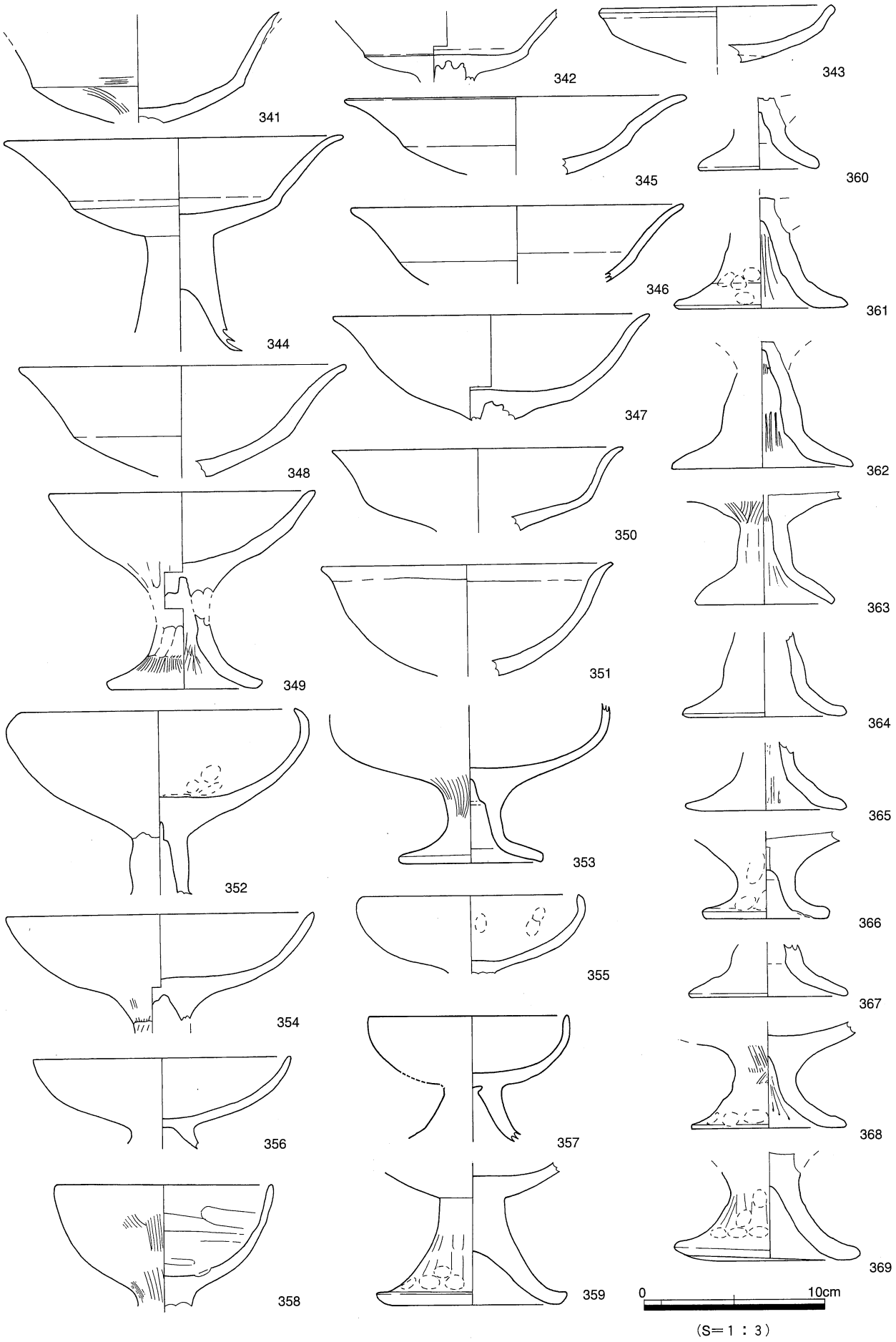
第37図　土師器実測図


314
315
316
317
318
319
320
321
322
323
324
325
326
327
328
329
330
0
10cm
(S=1：3)

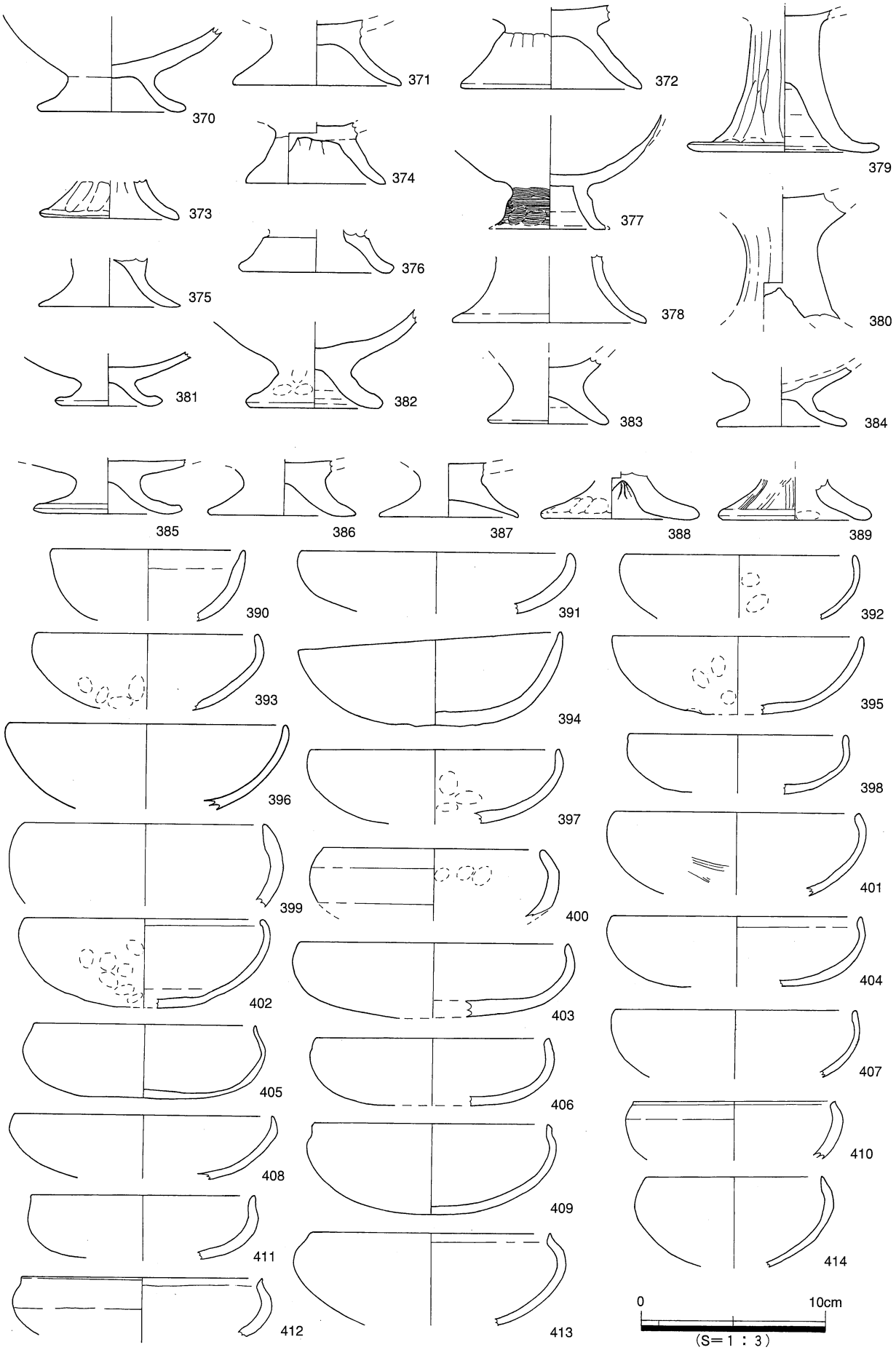
第38図　土師器実測図



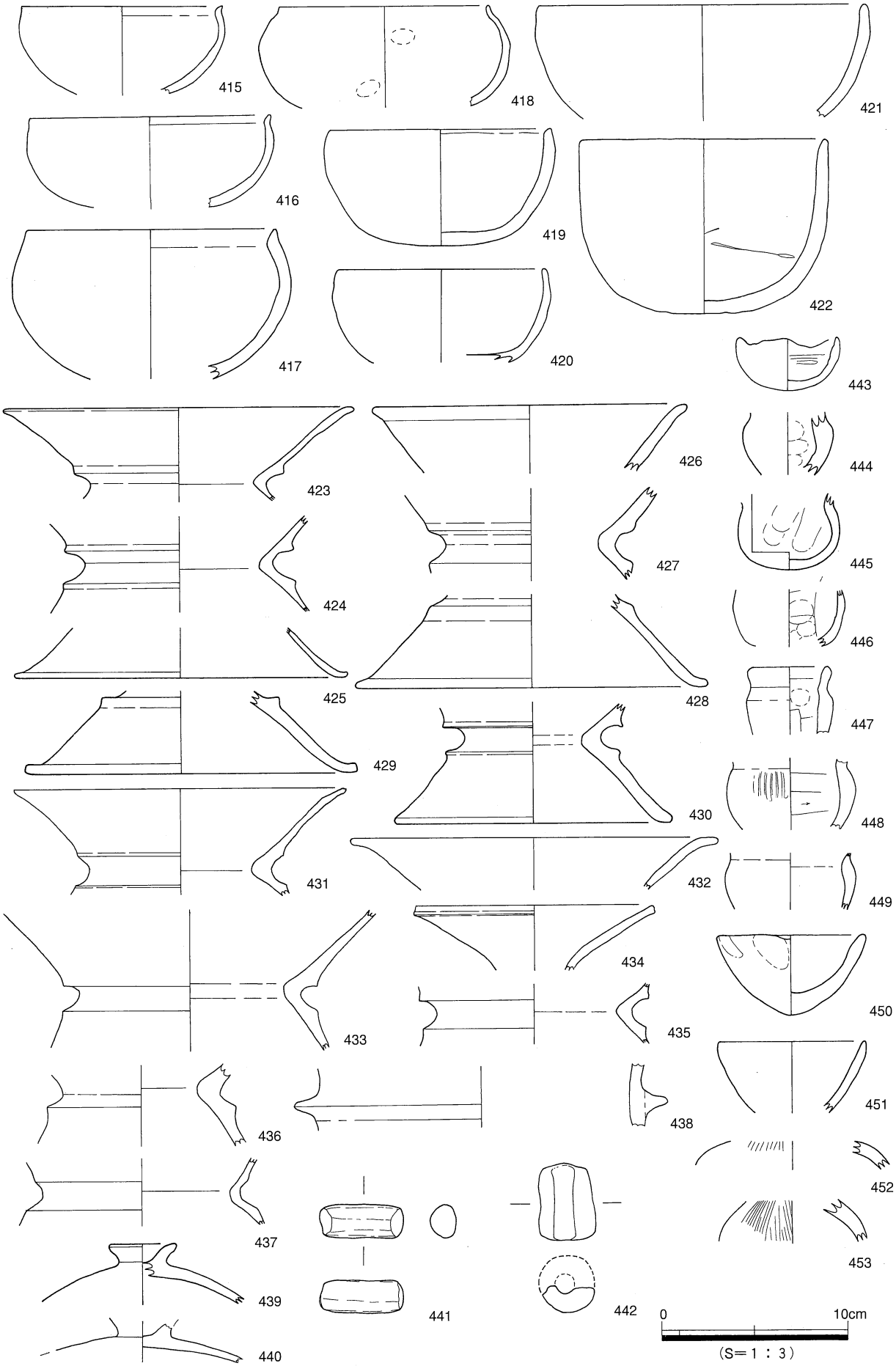
第39図　土師器実測図


341
342
343
344
345
360
346
361
347
348
362
350
349
363
351
364
352
353
365
366
354
355
367
356
357
368
358
359
369
0
10cm
(S=1：3)

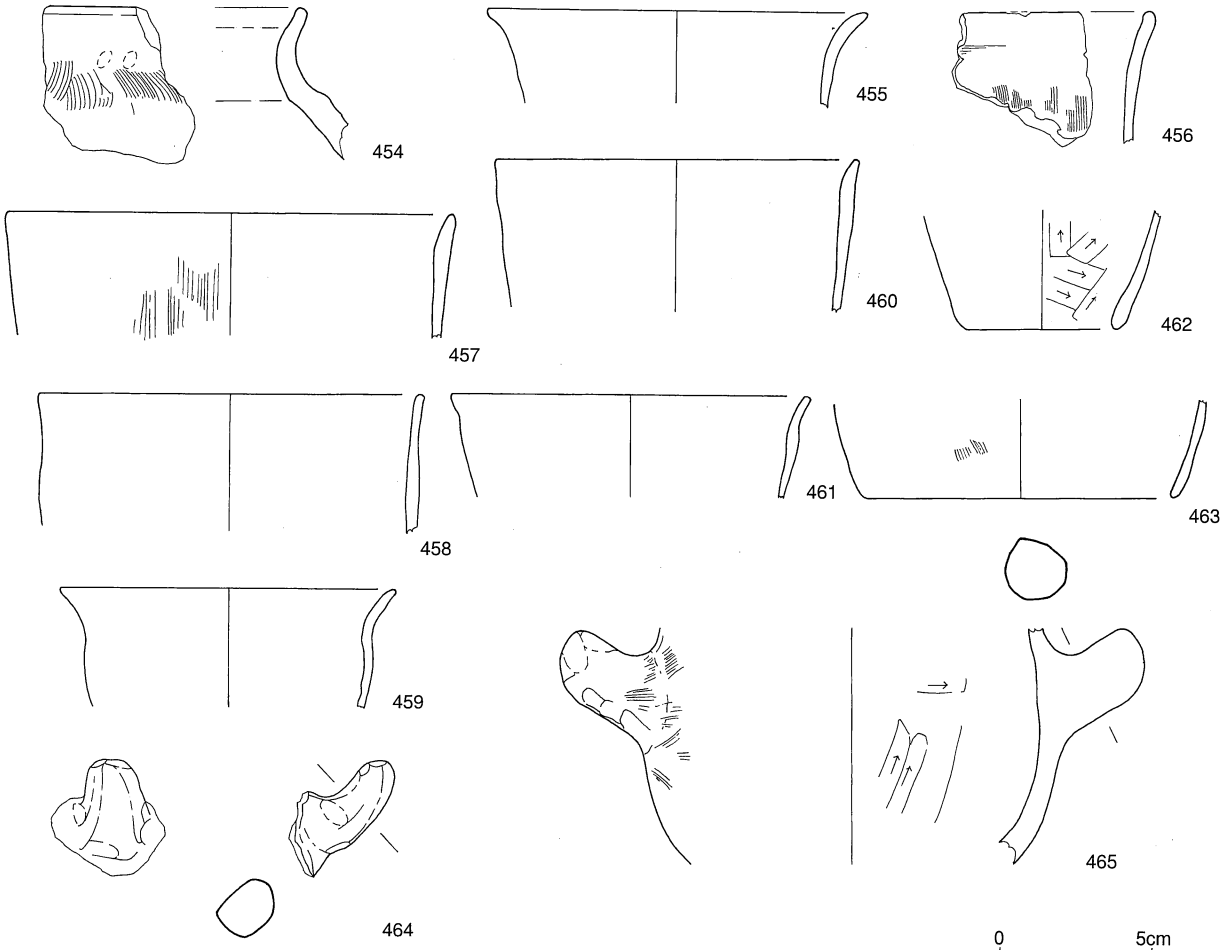
第40図　土師器実測図


370
371
372
373
374
375
376
377
378
379
380
381
382
383
384
385
386
387
388
389
390
391
392
393
394
395
396
397
398
399
400
401
402
403
404
405
406
407
408
409
410
411
412
413
414
0
10cm
(S=1：3)

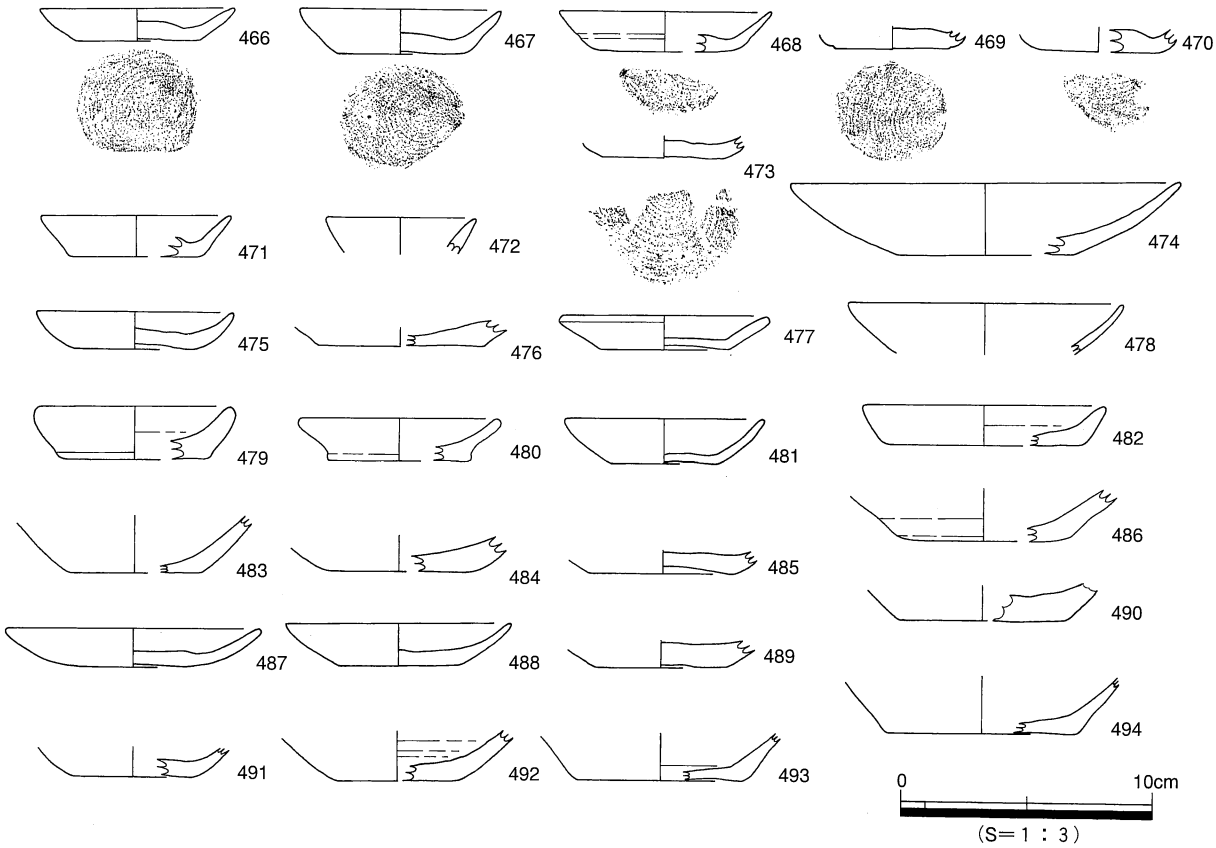
第41図　土師器実測図


415
418
421
416
419
422
417
420
443
423
426
444
424
427
445
425
428
446
429
447
430
448
431
432
449
433
434
450
435
436
438
451
437
452
439
441
442
453
440
0
10cm
(S=1：3)

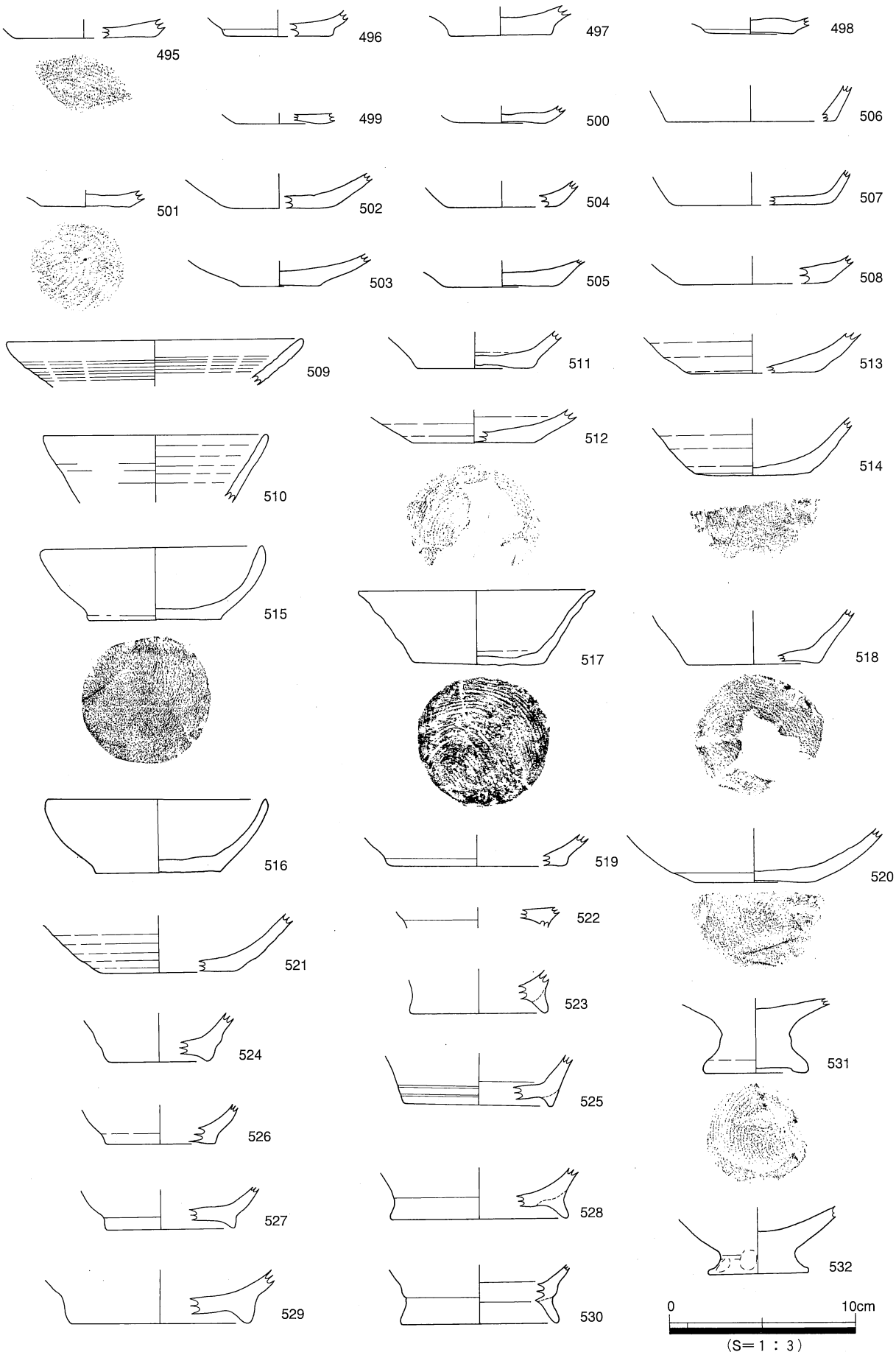
第42図　土師器実測図



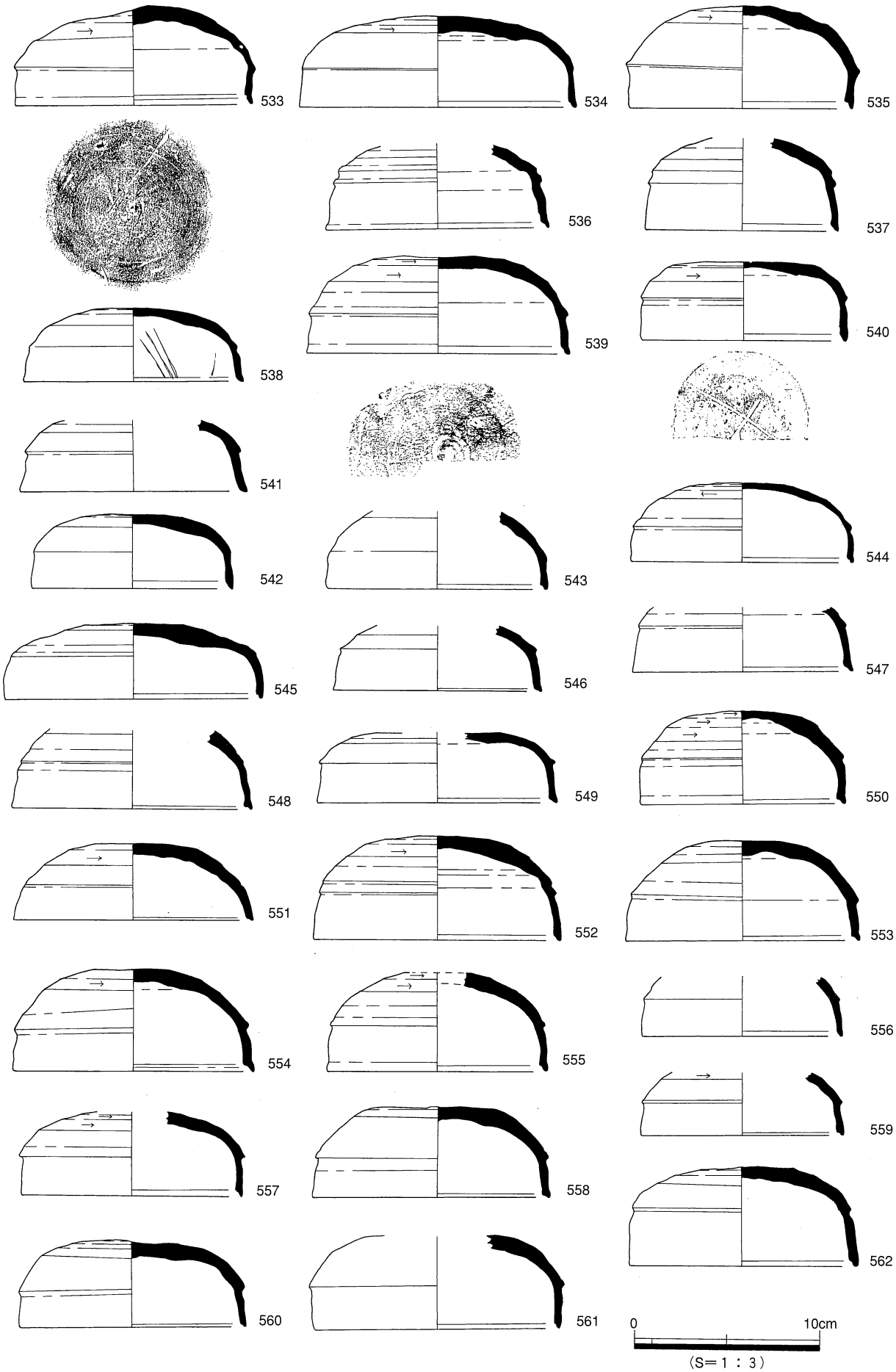
第43図



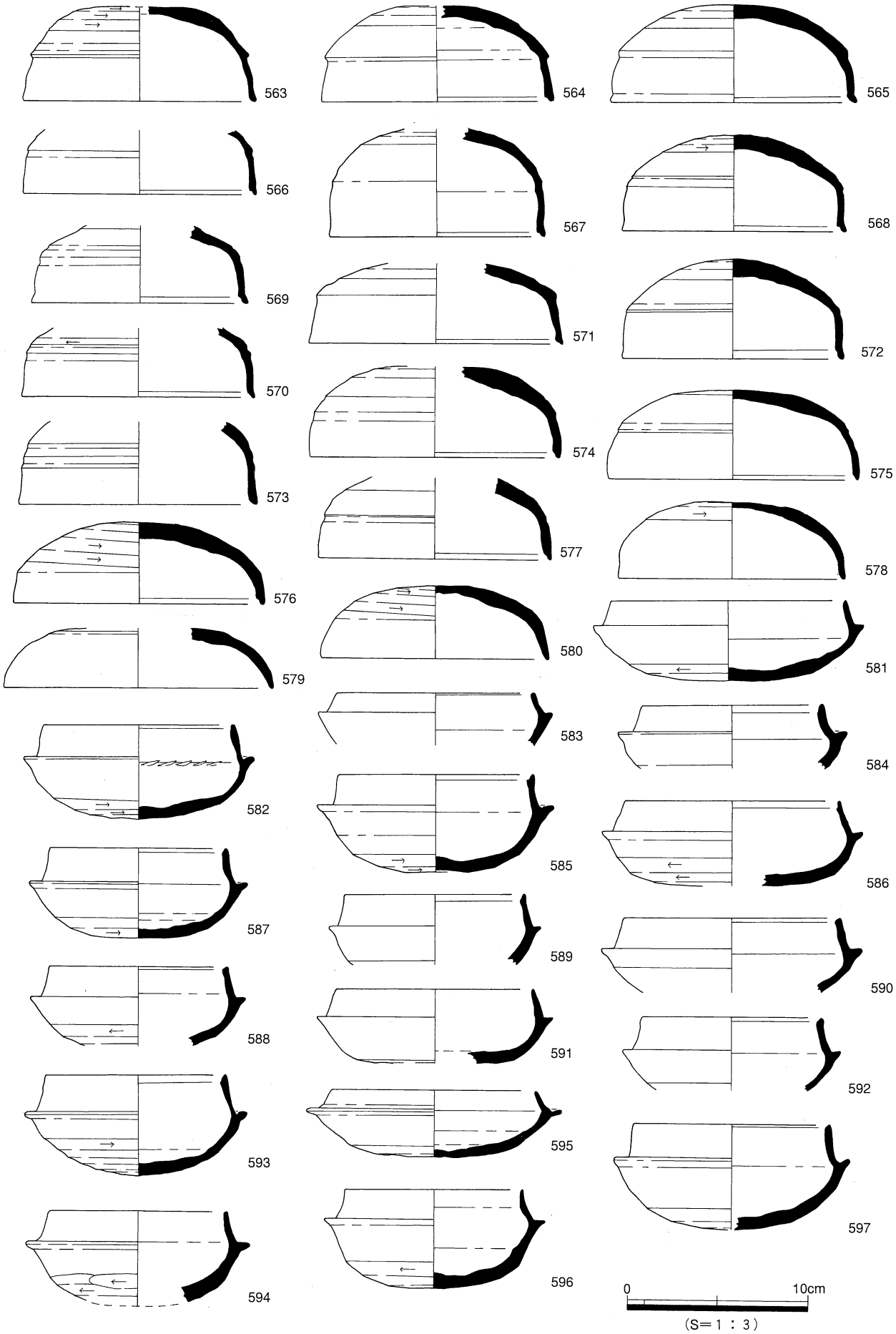
第44図　土師質土器実測図



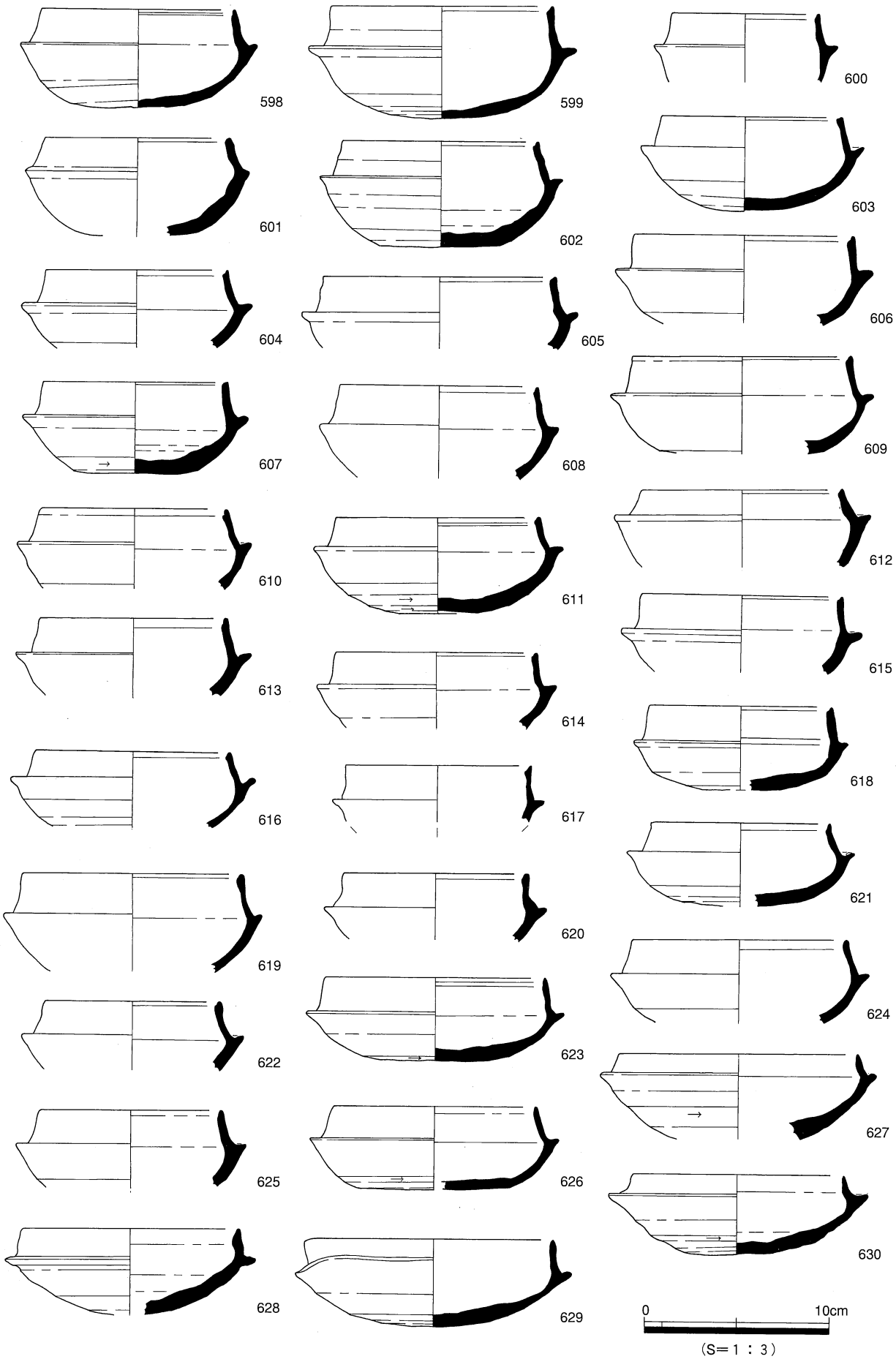
第45図　土師質土器実測図


533
534
535
536
537
538
539
540
541
542
543
544
545
546
547
548
549
550
551
552
553
554
555
556
557
558
559
560
561
562
0
10cm
(S=1：3)

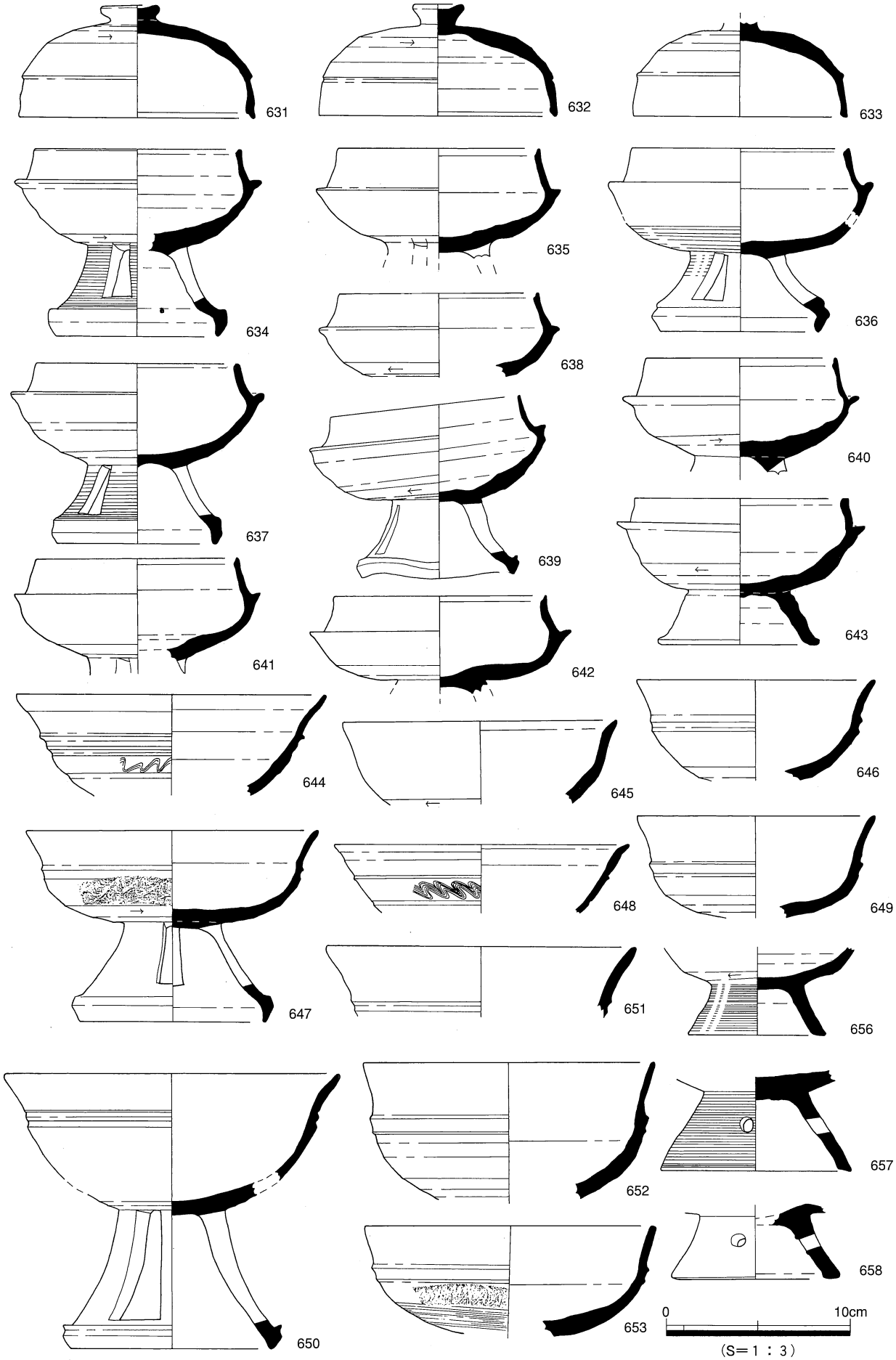
第46図　須恵器実測図


563
564
565
566
567
568
569
571
572
570
574
575
573
577
578
576
580
581
579
583
584
582
585
586
587
589
590
588
591
592
593
595
597
594
596
0
10cm
(S=1：3)

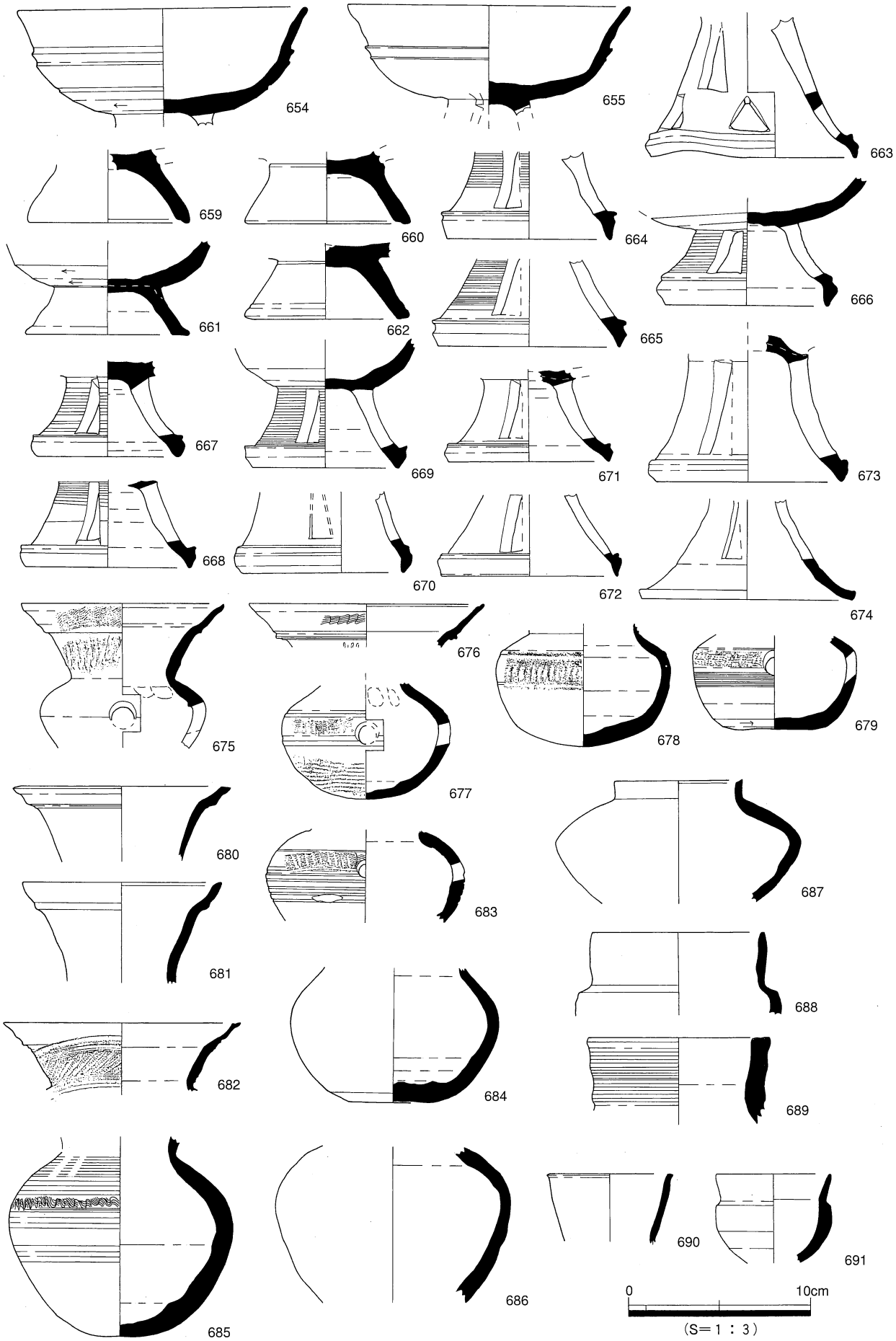
第47図　須恵器実測図


598
599
600
601
602
603
604
605
606
607
608
609
610
611
612
613
614
615
616
617
618
619
620
621
622
623
624
625
626
627
628
629
630
0
10cm
(S=1：3)

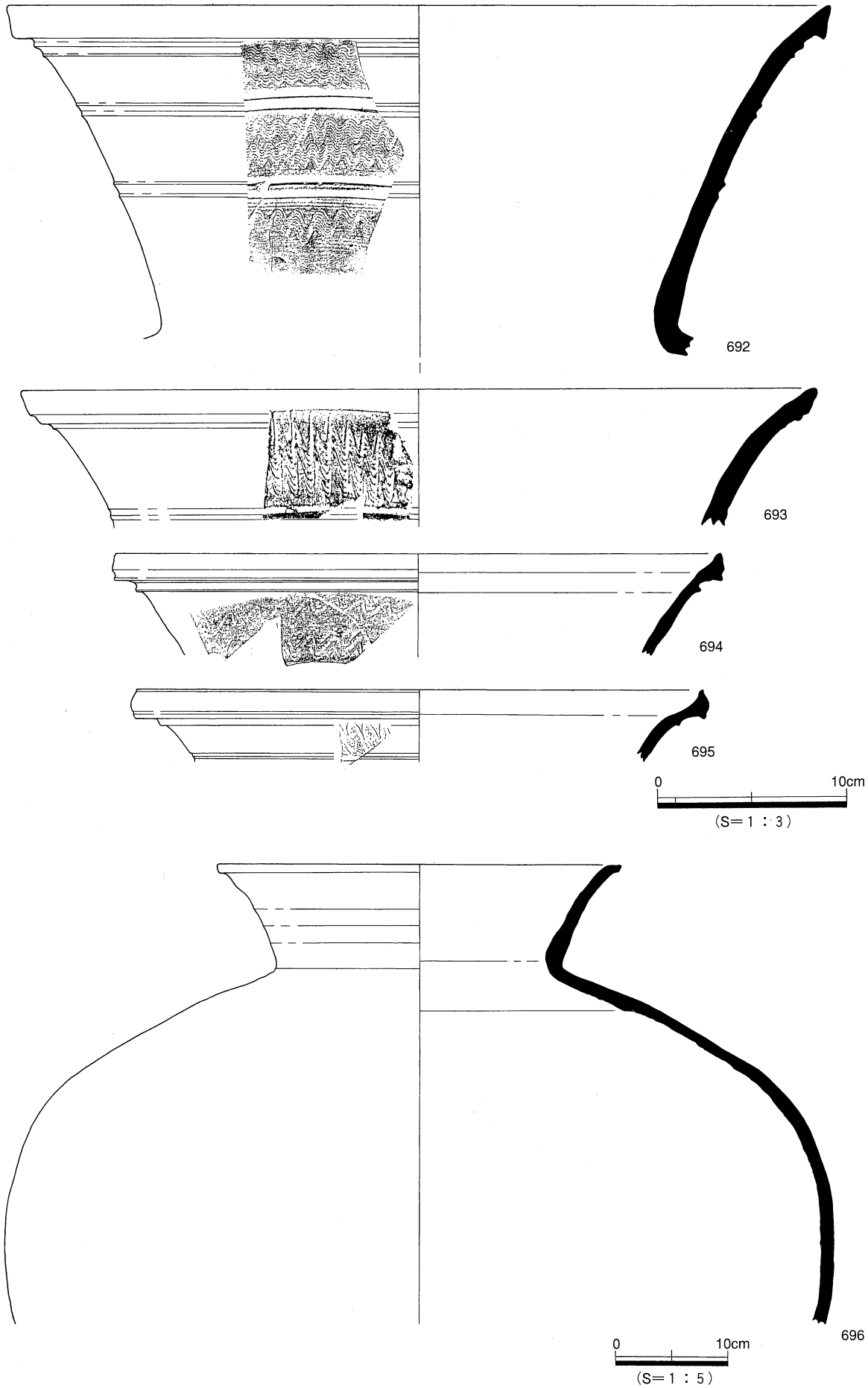
第48図　須恵器実測図


631
632
633
634
635
636
638
637
639
640
641
642
643
644
645
646
647
648
649
651
656
650
652
657
653
658
0
10cm
(S=1：3)

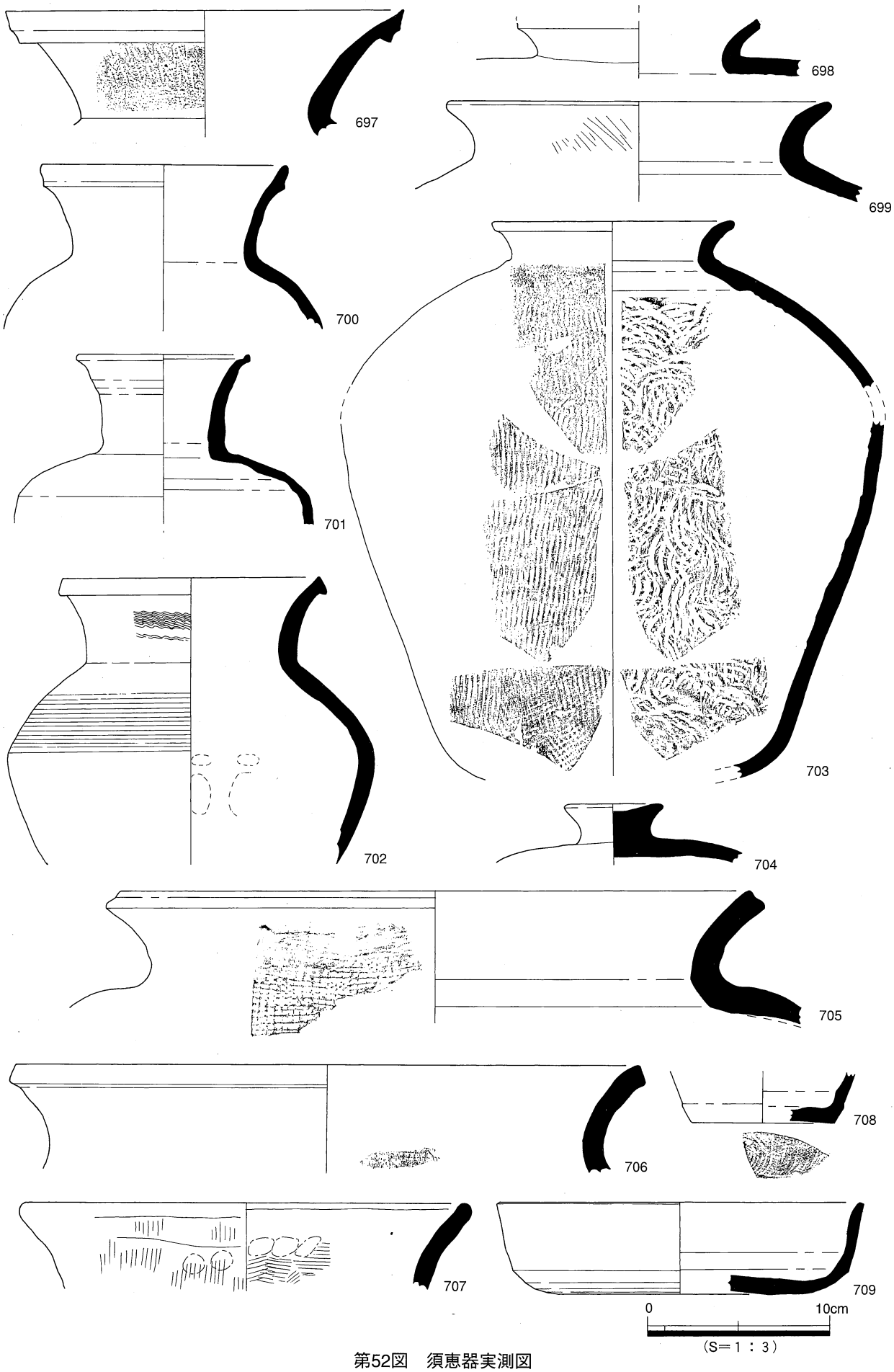
第49図　須恵器実測図


654
655
663
659
660
664
666
661
662
665
667
669
671
673
668
670
672
674
676
675
678
679
677
680
683
687
681
688
682
684
689
685
686
690
691
0
10cm
(S=1：3)

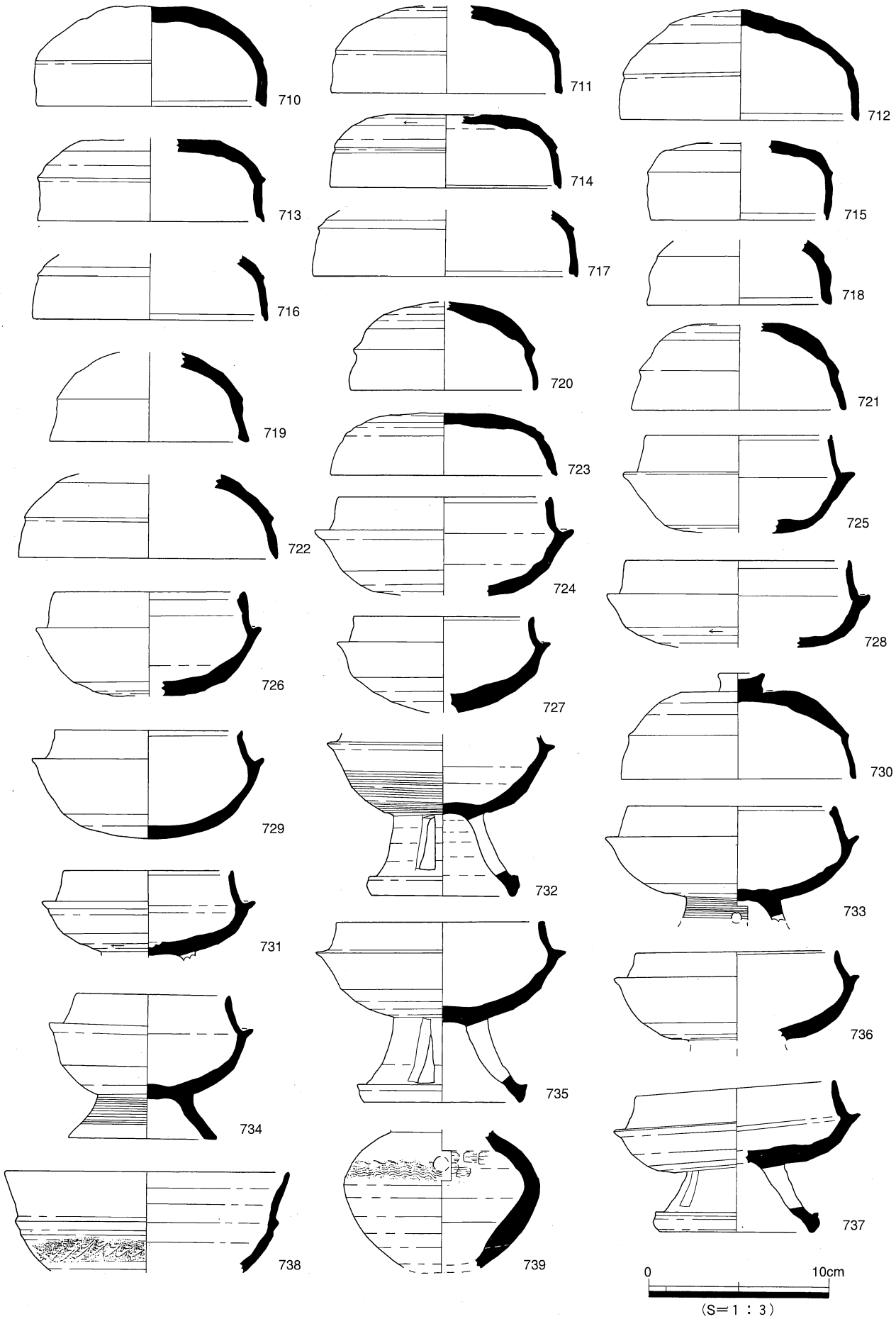
第50図　須恵器実測図



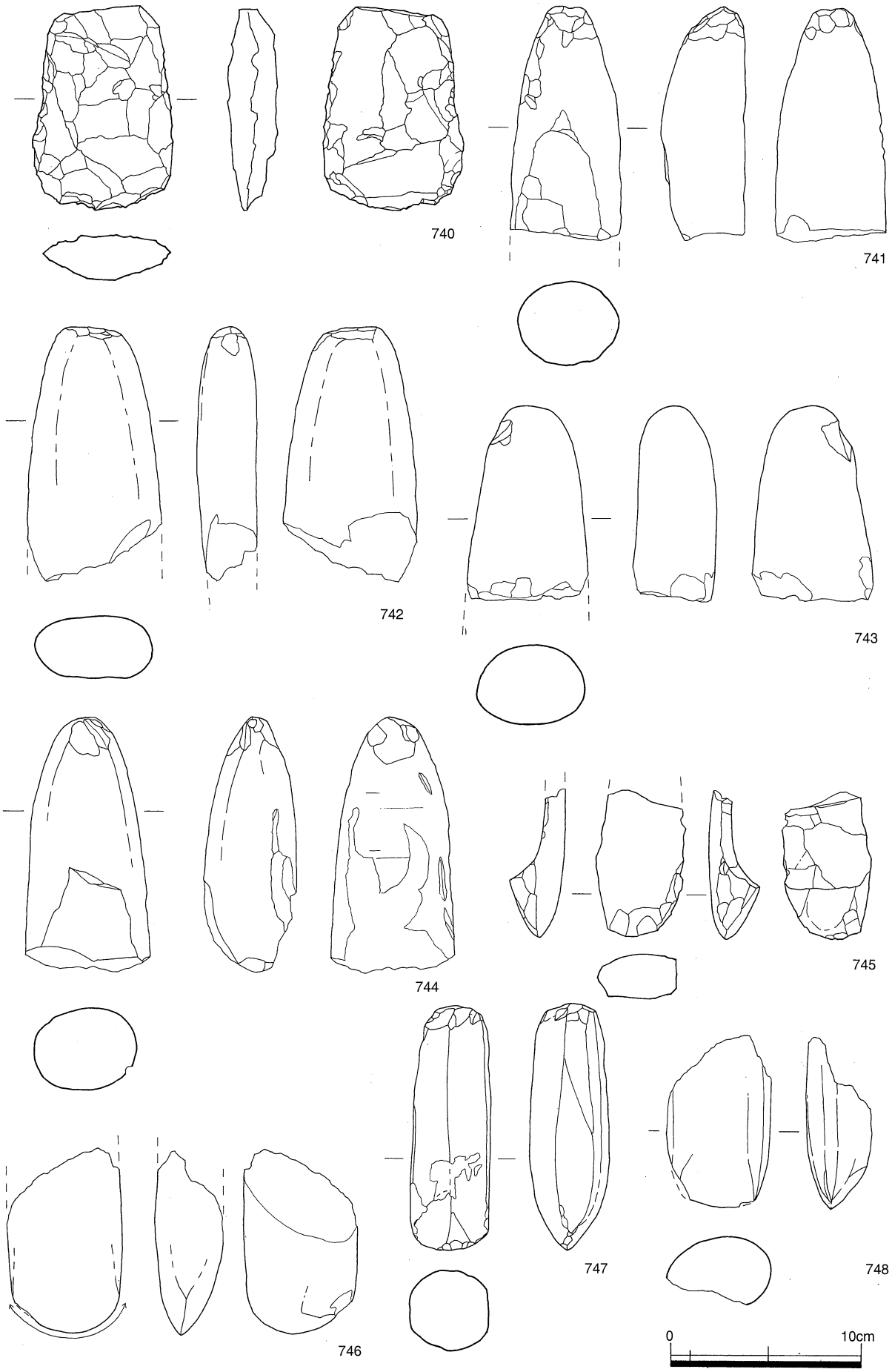
第51図　須恵器実測図



第52図　須恵器実測図

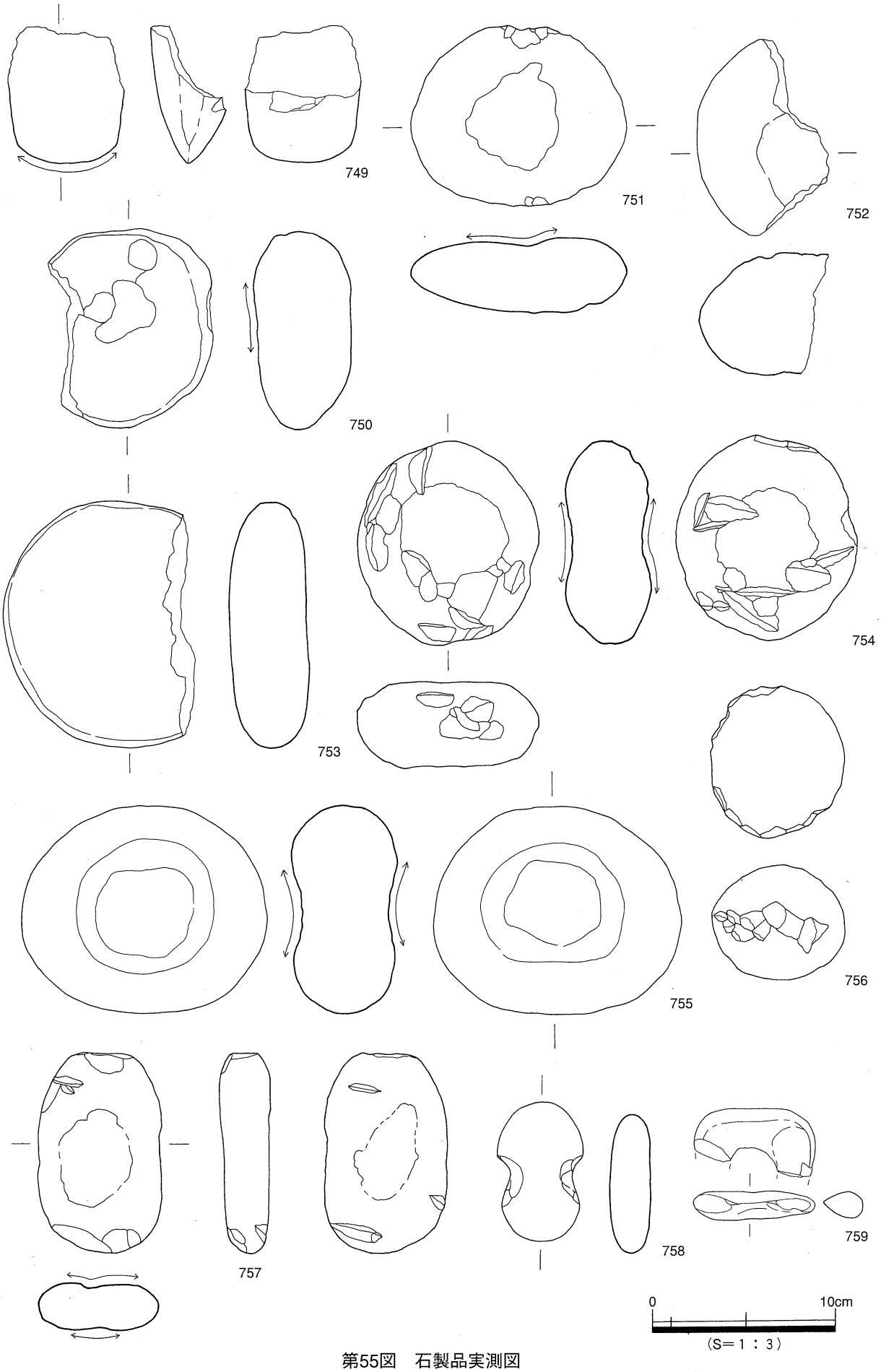

710
711
712
713
714
715
716
717
718
719
720
721
722
723
724
725
726
727
728
729
730
731
732
733
734
735
736
737
738
739
0
10cm
(S=1：3)

第53図　須恵器実測図

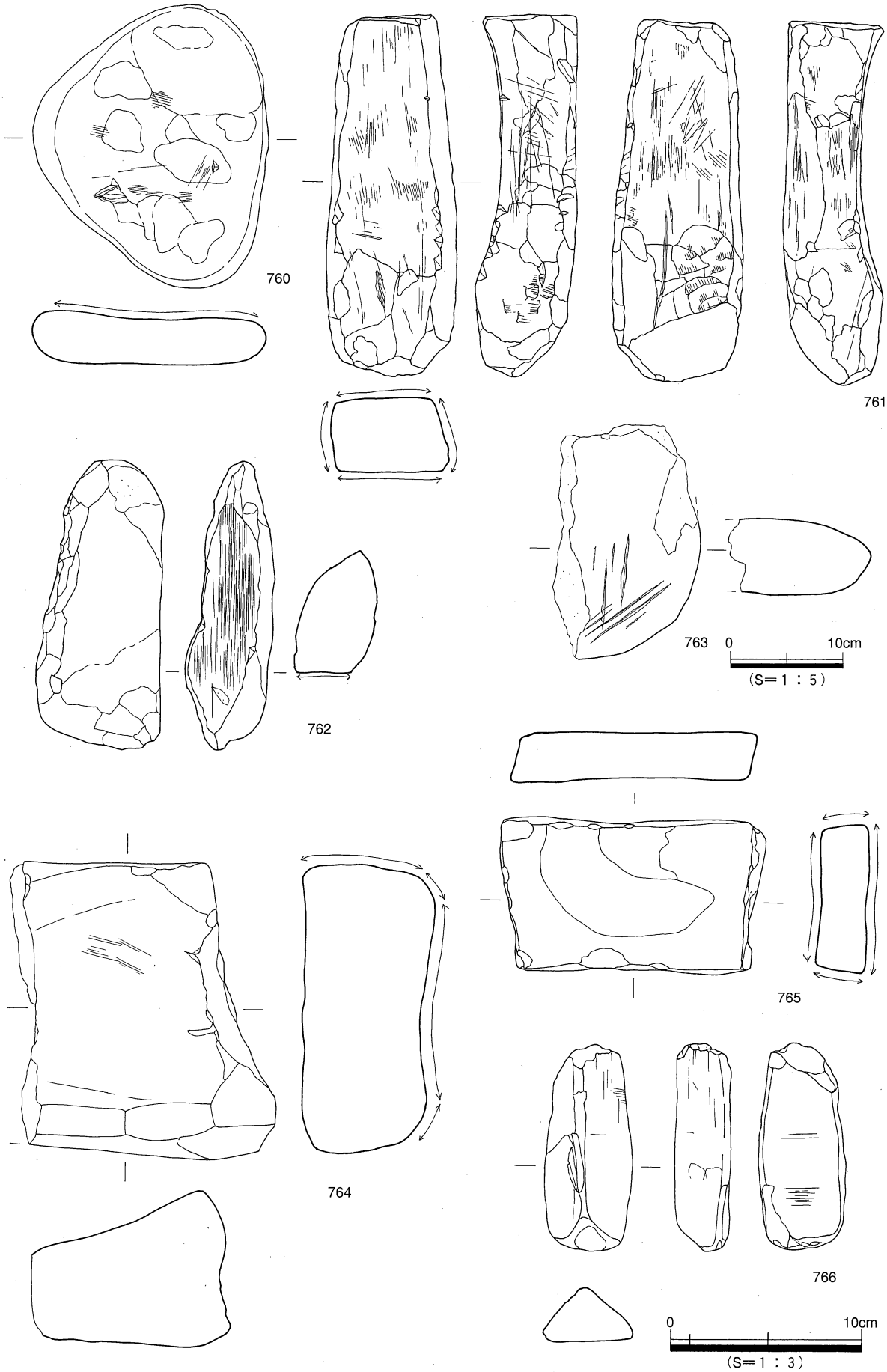


第54図　石製品実測図

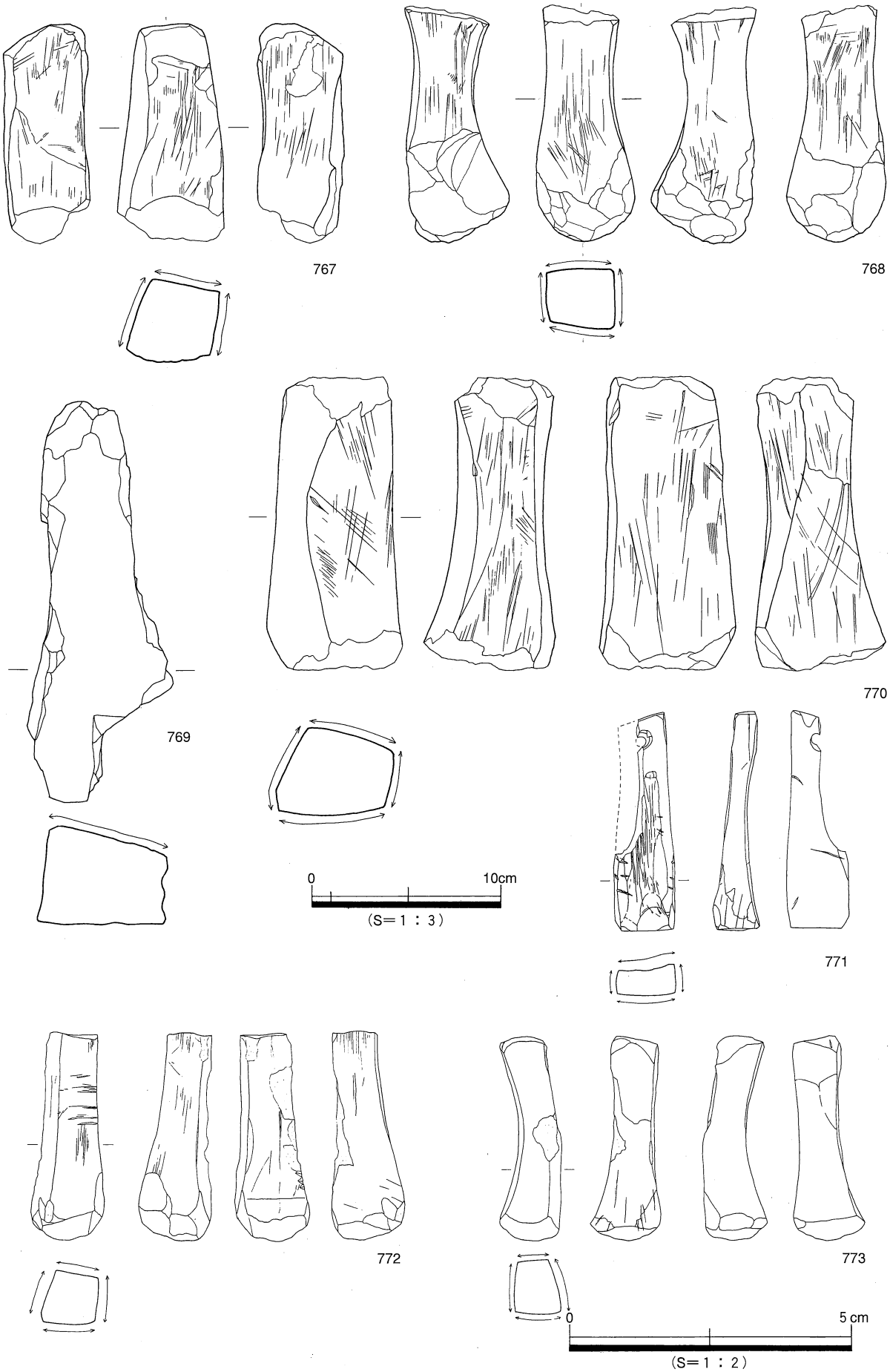
（S＝1：3）



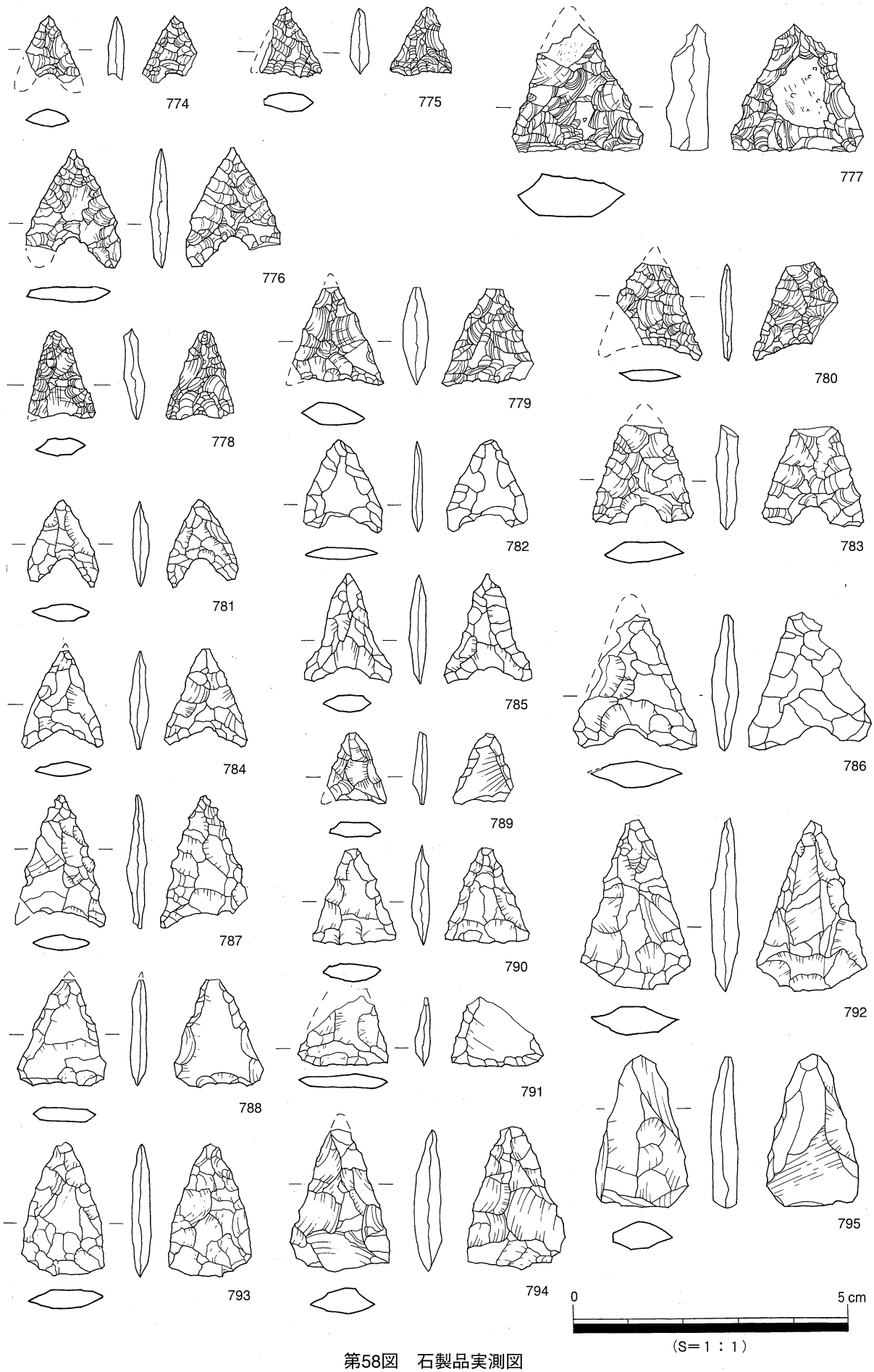
第55図　石製品実測図



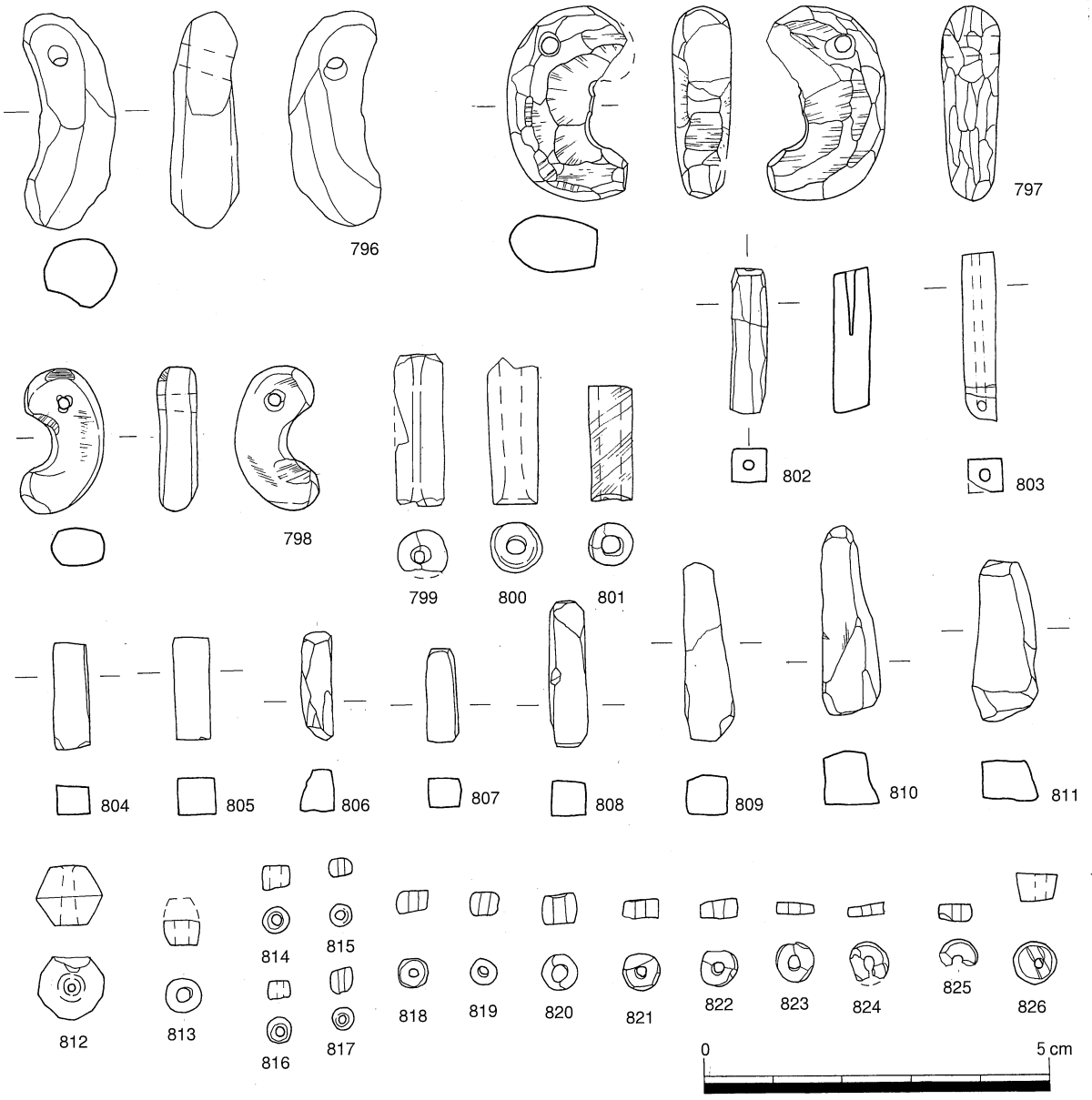
第56図　石製品実測図



第57図　石製品実測図

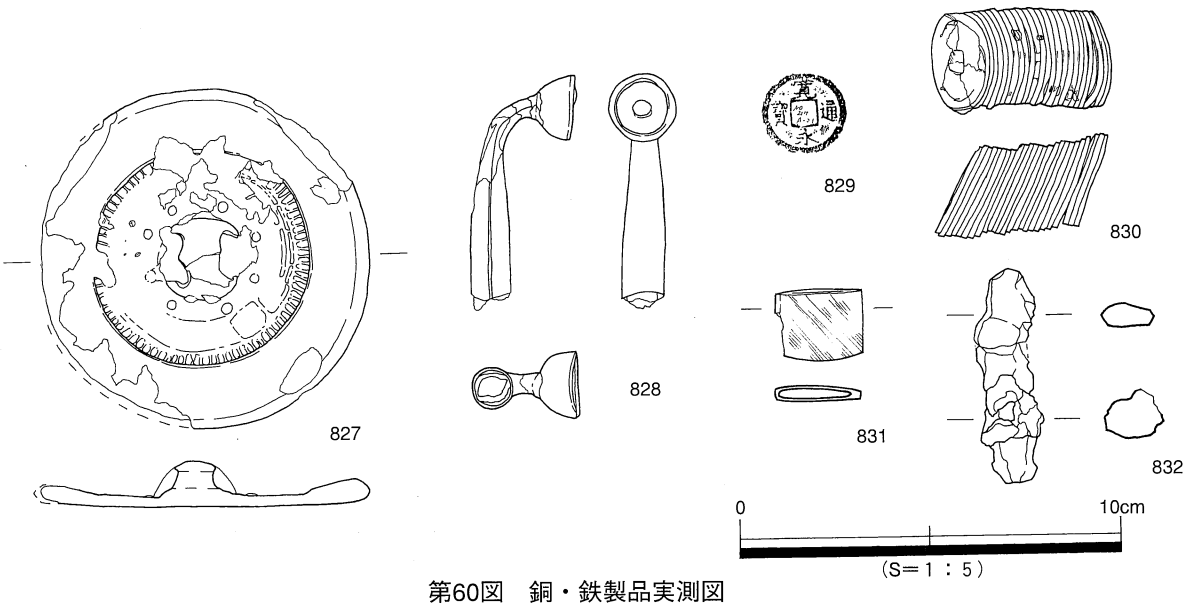

774
775
776
777
778
779
780
781
782
783
784
785
786
787
788
789
790
791
792
793
794
795
0
5 cm
(S＝1：1)

第58図　石製品実測図



(S＝1：1)

第59図　玉類実測図



(S＝1：5)

第60図　銅・鉄製品実測図

表１　長砂第３遺跡　出土遺物観察表（弥生土器）

（a：口径　b：器高　c：底径　d：最大径）

図版番号	器　種	法　量	形態の特徴	手法の特徴	焼　成	胎　土	色　調	備　考
1	深鉢	b：4.0	一条突帯	内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	褐色	
2	甕	b：1.9	一条突帯	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密	暗褐色	
3	甕	b：1.7	一条突帯	内）ナデ	良	密 1㎜大の砂粒含む	橙褐色	
4	甕	a：17.2 b：4.2		内外面ともハケ目	良好	密 1㎜大の砂粒含む	褐色	
5	甕	b：2.4	甕の口縁部片	内外面ともナデ 口縁部刻目	良好	密 砂粒を含む	橙褐色	
6	甕	b：6.3	一条突帯	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密 砂粒多い	内）濃褐色 外）淡褐色	
7	甕	a：21.9 b：5.4	口縁部に２条凹線	口縁部内外面ともナデ 内）ケズリ外）ナデ	良好	密 砂粒含む	褐色	
8	甕	a：21.2 b：3.4	甕の口縁部片	内外面ともナデ 口縁部刻目	良好	密 1㎜大の砂粒含む	褐色	
9	甕	a：26.6 b：1.5	甕の口縁部片	内外面ともナデ 口縁部刻目	良好	密 微砂粒含む	褐色	
10	甕	a：20.0 b：1.6	甕の口縁部片	内）ナデ 外）ハケ目口縁部刻目	良好	密 1㎜大の砂粒含む	暗褐色	
11	甕	a：16.9 b：4.1	甕の口縁部片	内外面とも調整不明 口縁部刻目	良好	密	褐色	
12	甕	a：20.8 b：3.7	甕の口縁部片	内外面ともナデ 口縁部刻目	良好	密 1.5㎜大の砂粒含む	橙褐色	
13	甕	a：16.0 b：2.5	甕の口縁部片	内外面ともナデ 口縁部刻目	良好	密 1㎜大の砂粒含む	褐色	
14	甕	a：21.6 b：3.0	甕の口縁部片	内）ナデ 外）ナデハケ目	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	
15	甕	a：18.0 b：2.1	甕の口縁部片	内外面ともナデ	良好	密 1.5㎜大の砂粒含む	淡灰褐色	SI12
16	甕	a：22.6 b：2.6	甕の口縁部片	口縁部内外面ともナデ 他内外面ともハケ目	良好	密 1㎜大の砂粒含む	褐色	
17	甕	a：16.2 b：3.7	甕の口縁部片	内外面ともハケ目	良好	密	内）褐色 外）橙褐色	SI11
18	甕	a：19.2 b：1.4	口縁部に１条凹線	内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	内）褐色 外）暗褐色	
19	甕	a：27.0 b：2.5	甕口縁部片	内外面ともナデ	良好	密	内）灰褐色 外）暗灰褐色	
20	甕	a：16.0 b：2.8	甕口縁部片	内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	SI12
21	甕	a：17.6 b：4.5	甕口縁部片	内外面とも調整不明	良好	密	褐色	SI12
22	甕	a：24.4 b：7.7	甕口縁部片	内）ハケ目ナデ 外）ハケ目	良好	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	
23	甕	a：20.6 b：6.1	甕口縁部片	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密 砂粒含む	橙褐色	
24	甕	a：23.0 b：5.8	甕口縁部片	内外面ともナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	褐色	
25	甕	a：22.4 b：7.9	甕口縁部片	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	
26	甕	a：22.2 b：6.3	甕口縁部片	内）ナデ 外）調整不明	良	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	
27	甕	a：21.2 b：3.0	甕口縁部片	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	
28	甕	a：21.3 b：2.1	甕口縁部片	内）ナデ 外）ケズリ	良好	密 砂粒含む	褐色	
29	甕	a：27.5 b：4.7	甕口縁部片	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	橙褐色	SI07
30	甕	a：16.3 b：1.5	甕口縁部片	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密	橙褐色	
31	甕	a：18.5 b：3.0	甕口縁部片	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密 1.5㎜大の砂粒含む	内）暗褐色 外）褐色	
32	甕	a：23.4 b：5.9	甕口縁部片	口縁部内外面ともナデ 他内外面ともハケ目	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	
33	甕	a：21.2 b：2.6	甕口縁部片	内外面ともナデ	良好	密 1.5㎜大の砂粒含む	橙褐色	
34	甕	a：20.4 b：4.3	甕口縁部片	外）ハケ目	良好	密 2㎜大の砂粒含む	橙褐色	
35	甕	a：21.6 b：7.7	甕口縁部片	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密 2㎜大の砂粒含む	内）褐色 外）暗褐色	
36	甕	a：20.1 b：3.1	甕口縁部片	内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	褐色	
37	甕	a：18.2 b：2.5	甕口縁部片	内外面ともナデ	良好	密 微砂粒含む	橙褐色	
38	甕	a：23.5 b：2.8	甕口縁部片	内外面ともナデ	良好	密 1.5㎜大の砂粒含む	褐色	
39	甕	a：16.2 b：4.2	甕口縁部片	内）ケズリ 外）ナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	橙褐色	
40	甕	a：23.9 b：2.7	甕口縁部片	内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	
41	甕	a：18.4 b：2.3	甕口縁部片	内外面ともナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡褐色	

表２　長砂第３遺跡　出土遺物観察表（弥生土器）

（a：口径　b：器高　c：底径　d：最大径）

図版番号	器　種	法　量	形態の特徴	手法の特徴	焼　成	胎　土	色　調	備　考
42	甕	a：17.1 b：6.6	甕口縁部片	内）ナデケズリ 外）ナデハケ目	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	
43	甕	a：18.5 b：6.9	甕口縁部片	内）ハケ目 外）ナデハケ目	良好	密 2㎜大の砂粒含む	橙褐色	
44	甕	a：14.5 b：6.8	甕口縁部片	内外面とも調整不明	良好	密	褐色	
45	甕	a：21.7 b：2.3	甕口縁部片	内外面ともナデ	良好	密 砂粒含む	橙褐色	
46	甕	a：23.5 b：2.0	甕口縁部片	内外面とも調整不明	良好	密 3㎜大の砂粒含む	内）褐色 外）暗褐色	
47	甕	a：18.8 b：9.8	甕口縁部片	内外面とも調整不明	良好	密 3㎜大の砂粒含む	内）褐色 外）橙褐色	SI09
48	甕	a：18.6 b：3.5	甕口縁部片	口縁部内外面ともナデ 他内外面ともミガキ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	褐色	
49	甕	a：17.2 b：4.2	甕口縁部片	内外面ともハケ目	良好	密 1㎜大の砂粒含む	褐色	
50	甕	a：18.2 b：1.6	甕口縁部片	内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	淡橙褐色	
51	甕	a：19.0 b：3.2	甕口縁部片	内外面ともナデ	良好	密 1.5㎜大の砂粒含む	内）褐色 外）橙褐色	SI15
52	甕	a：19.6 b：5.2	甕口縁部片	内）ナデ 外）ハケ目後ナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	褐色	
53	甕	a：30.3 b：3.9	甕口縁部片	内）ナデ 外）ナデハケ目	良好	密 1㎜大の砂粒含む	橙褐色	
54	甕	a：29.0 b：7.7	甕口縁部片	内）ナデハケ目 外）ナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	内）褐色 外）淡褐色	
55	甕	a：26.0 b：6.3	甕口縁部片	内）ナデ 外）調整不明	良好	密 1㎜大の砂粒含む	橙褐色	SI17
56	甕	a：23.5 b：2.5	甕口縁部片	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	
57	甕	a：13.6 b：3.4	甕口縁部片	内外面ともハケ目	良好	密 1㎜大の砂粒含む	褐色	
58	甕	a：12.2 b：6.7	甕口縁部片	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密	内）褐色 外）暗褐色	
59	甕	a：14.0 b：1.5	甕口縁部	内外面ともナデ	良	密 2㎜大の砂粒含む	橙褐色	
60	甕	a：15.4 b：6.8	口縁部に凹線	内）ナデハケ目 外）ナデハケ後ナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	
61	甕	a：19.2 b：3.7	口縁部に２条凹線	内外面ともナデ	良好	密	褐色	
62	甕	a：14.6 b：2.0	口縁部に斜行する刻目	内外面ともナデ	良	密	淡褐色	
63	甕	a：19.9 b：2.3	口縁部に斜行する刻目	内外面とも調整不明	良	密	淡褐色	
64	甕	b：3.0		内外面ともナデ	良好	密	褐色	
65	甕	b：3.7	甕肩部	外）張付け円 内）調整不明	良	密	橙褐色	
66	甕	a：11.1 b：2.8	甕口縁部	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密	橙褐色	SI14
67	甕	a：10.7 b：2.5	口縁部に４条凹線	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡褐色	
68	甕	a：18.3 b：4.3	口縁部に３条凹線	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	
69	甕	a：16.8 b：3.1	口縁部に凹線	内）ナデケズリ 外）ハケ目	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡褐色	SI13
70	甕	a：18.3 b：4.1	甕口縁部	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡灰褐色	SI15
71	甕	a：16.0 b：1.6	口縁部に凹線	内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
72	甕	a：25.8 b：1.8	口縁部に４条凹線	内外面ともナデ	良好	密 1.5㎜大の砂粒含む	淡褐色	
73	甕	a：14.4 b：3.1	口縁部に凹線	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密	橙褐色	SI17
74	甕	a：25.6 b：6.7	口縁部に凹線	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密 1.5㎜大の砂粒含む	褐色	SI17
75	甕	a：18.7 b：3.3	口縁部に３条凹線	内外面とも調整不明	やや軟質	やや粗	褐色	
76	甕	a：21.6 b：3.6	口縁部に４条凹線	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密	内）褐色 外）橙褐色	
77	甕	a：18.6 b：4.8	口縁部に凹線	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密	内）橙褐色 外）黄褐色	SI17
78	甕	a：22.6 b：7.7	口縁部に７条凹線 貝殻紋	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	褐色	
79	甕	a：25.6 b：7.2	口縁部に３条凹線	内）ナデケズリ 外）ナデハケ目	良好	密	淡褐色	
80	甕	b：8.0	口縁部に凹線 肩部）ヘラ描文	内）調整不明 外）ナデ	良	密	淡褐色	
81	甕	b：14.1 d：27.2	甕の胴部 肩部）ヘラ描文	外）肩部ヘラ沈線 内外面とも調整不明	良好	密	内）橙褐色 外）褐色	SI23
82	甕	a：15.2 b：3.3	口縁部に凹線	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	橙褐色	
83	甕	a：15.2 b：3.9	口縁部に凹線	内外面とも調整不明	良	密 1㎜大の砂粒含む	淡褐色	

表3 長砂第3遺跡出土遺物観察表（弥生土器）

（a：口径　b：器高　c：底径　d：最大径）

図版番号	器　種	法　量	形態の特徴	手法の特徴	焼　成	胎　土	色　調	備　考
84	甕	a：13.5 b：2.9	口縁部に5条凹線	内外面ともナデ	良好	密 0.5㎜大の砂粒含む	褐色	
85	甕	a：14.2 b：3.5	頸部円孔	内）ナデ 外）調整不明	良	密 砂粒含む	内）暗褐色 外）橙褐色	
86	壺	a：18.8 b：4.7	短く外反する口縁	内）ナデ 外）ハケ目後ナデ	良好	密 4㎜大の砂粒含む	褐色	
87	壺	a：15.2 b：4.6	短く外反する口縁	内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	橙褐色	
88	壺	b：4.5	有段壺の頸部	内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	淡褐色	
89	壺	a：15.6 b：3.2	後期甕の口縁部	内外面ともナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡褐色	SI22
90	脚付甕	a：19.6 c：12.0 d：21.9	脚付の甕 胴部に貝殻紋 口縁部2状沈線	内）ナデハケ目 外）ナデヘラミガキ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	赤褐色	
91	壺	b：14.0	壺の頸部	内外面とも調整不明	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	
92	壺	b：7.7 d：8.6	小型壺の胴部	内）ナデケズリ 外）ハケ目ナデ	硬質	密	暗褐色	
93	壺	b：9.7 c：4.6 e：8.8	小型の壺	内）ナデ 外）ハケ目ミガキ	良	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	
94	器台	b：3.7 c：12.8	4条凹線	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	褐色	
95	器台	b：2.7 c：13.0	器台の底部	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡褐色	SI17
96	鉢	a：8.6 b：3.1	鉢の口縁部	内外面ともナデ	良好	密 1.5㎜大の砂粒含む	橙褐色	
97	高坏	a：20.2 b：4.9	高坏の坏部	内外面ともナデ	良好	密 微砂粒含む	橙褐色	SI11
98	高坏	b：10.0 c：9.2	高坏の脚部	内）ナデ 外）調整不明	良好	密 2㎜大の砂粒含む	橙褐色	SI15
99	高坏	b：5.9 c：10.4	高坏の脚部	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密	橙褐色	
100	高坏	b：4.0	高坏	内）ケズリ 外）ナデ竹管紋	良好	密	橙褐色	
101	子持壷	a：2.7 b：5.8 d：7.4	子持壷の小壷	内外面ともナデ	良好	密 5㎜大の砂粒含む	褐色	
102	子持壷	a：1.9 b：6.8 d：6.8	子持壷の小壷	内外面ともナデ	良好	5㎜大の砂粒含む	褐色	
103	底部	b：11.7 c：6.6	平底	内）ハケ目ナデ 外）ハケ目	良好	密	橙褐色	
104	底部	b：3.8 c：6.7	窪み底	内）内外面とも調整不明	良好	密	褐色	
105	底部	b：4.1 c：9.6	平底	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密 1㎜大の砂粒含む	内）褐色 外）橙褐色	
106	底部	b：3.8 c：7.0	平底	内）ナデ 外）ハケメ	良好	密	褐色	
107	底部	b：1.8 c：3.8	平底	内）ケズリ 外）ナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	暗褐色	SI17
108	底部	b：1.6 c：5.8	平底	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡灰褐色	SI15
109	底部	b：2.3 c：6.8	平底	内外面ともナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	褐色	SI11
110	底部	b：2.6 c：7.4	平底	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡褐色	SI11
111	底部	b：5.1 c：6.8	平底	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密	橙褐色	
112	底部	b：6.8 c：6.6	平底	内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	内）褐色 外）橙褐色	SI13
113	底部	b：5.1 c：8.8	平底	内外面とも調整不明	良好	密	橙褐色	SI13
114	底部	b：3.3 c：8.0	平底	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密 1㎜大の砂粒含む	橙褐色	
115	底部	b：3.2 c：8.4	平底	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密	褐色	SI18
116	底部	b：9.0 c：6.6	平底	内外面とも調整不明	良好	密 砂粒含む	橙褐色	
117	底部	b：9.6 c：10.4	平底	内）ナデ 外）ミガキ	良好	密 砂粒多量に含む	茶褐色	
118	底部	b：6.0 c：8.0	平底	内）ナデ 外）ミガキハケ目	良好	密	内）褐色 外）赤褐色	
119	底部	b：6.2 c：8.0	平底	内）ナデ 外）ミガキハケ目	良好	密	褐色	
120	底部	b：6.0 c：9.6	平底	内外面ともナデ	良好	密	褐色	
121	底部	b：4.3 c：13.0	平底	内外面ともナデ	良好	密	内）暗褐色 外）褐色	
122	底部	b：4.2 c：15.2	平底	内外面ともナデ	良好	密	内）橙褐色 外）褐色	
123	底部	b：2.1 c：9.4	平底	内）ケズリ 外）ナデ	良好	密	橙褐色	

表４　長砂第３遺跡　出土遺物観察表（土師器）

（a：口径　b：器高　c：底径　d：最大径）

図版番号	器　種	法　量	形態の特徴	手法の特徴	焼　成	胎　土	色　調	備　考
124	壷	a：18.1 b：4.7	端部が大きく立上る 複合口縁壷	内外面とも調整不明	良好	密	淡褐色	SI18
125	壷	a：16.3 b：5.5	端部が大きく立上る 複合口縁壷	内外面とも調整不明	良好	密	褐色	SI18
126	壷	a：24.5 b：9.8	端部が外反する壷口 縁部頸部に突帯	内外面ともナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡褐色	
127	壷	a：17.9 b：8.2	端部が大きく立上る 複合口縁壷	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良	密	褐色	
128	壷	a：17.1 b：5.0	端部が大きく立上る 複合口縁壷	内外面ともナデ	良好	密	褐色	
129	壷	b：5.8	壷の頸部	内外面とも調整不明	良好	密	橙褐色	
130	壷	b：5.9	壷の頸部	内外面とも調整不明	良好	密	淡褐色	
131	壷	b：2.7	壷の頸部	内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	橙褐色	SI20
132	壷	a：9.1 b：11.6 c：14.9	直口壷	内）頸部下ケズリ他不明 外）ハケ目	良好	密	橙褐色	
133	壷	a：8.6 b：5.8	直口壷口縁部	内外面とも調整不明	良好	密	橙褐色	SI15
134	壷	a：9.0 b：6.5	直口壷口縁部	内外面とも調整不明	良好	密	橙褐色	
135	壷	b：5.4	壺の肩部	内外面とも調整不明	良好	密	橙褐色	
136	壷	b：5.5 c：17.0	壷の肩部	内外面とも調整不明	良好	密	橙褐色	SI17
137	壷	b：6.8 d：15.0	壷の肩部	内外面ともナデ 外）一部ハケ目	良好	密	橙褐色	
138	壷	b：7.3 d：12.8	壷の胴部	内）ケズリ 外）調整不明	良好	密 2㎜大の砂粒含む	淡褐色	
139	壷	b：4.6	壷の肩部	内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	SI15
140	壷	b：6.2 d：14.2	壷の胴部	内外面ともナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	内）淡橙褐色 外）淡褐色	
141	壷	b：5.3 d：13.0	壷の胴部	内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
142	壷	b：11.4 d：14.6	壷の胴部	内外面とも調整不明	良	密	橙褐色	SI15
143	壷	a：11.2 b：6.4	小型の壷	外）ナデ 内）調整不明	良好	密 5㎜大の砂粒含む	褐色	
144	壷	a：7.5 b：8.3	小型の壷 直立する口縁	内）頸部下削り 他内外面とも調整不明	良好	密	内）暗褐色 外）橙褐色	
145	壷	a：11.3 b：15.0 d：14.8	小型の壷	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ナデ	良好	密 5㎜大の砂粒含む	橙褐色	
146	壷	a：10.6 b：5.3	小型の壷 やや外傾する口縁	内）頸部下削り他不明 外）口縁ナデ他不明	良好	密	褐色	
147	壷	a：10.0 b：5.0	小型の壷 やや外反する口縁	内）頸部下削り 他内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	橙褐色	
148	壷	a：8.0 b：8.6 d：9.0	小型の丸底壷	内）ナデ・指頭圧痕 外）口縁部ナデ他不明	良	密	橙褐色	SI15
149	壷	a：10.8 b：9.1	小型の壷	内外面とも調整不明	良好	密 3㎜大の砂粒含む	内）淡灰褐色 外）淡褐色	
150	壷	a：8.6 b：7.7 d：9.0	小型の丸底壷	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	淡橙褐色	
151	壷	b：5.0 d：10.0	壷の胴部	内）ケズリ 外）ナデ	良好	密	橙褐色	
152	壷	b：3.7 d：7.4	小型壷の胴部	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密	灰褐色	SI15
153	壷	b：5.3 d：8.3	小型壷の胴部	内）ナデ・指頭圧痕 外）ナデ・ハケ目	良好	密 1㎜大の砂粒含む	暗褐色	
154	壷	a：3.9 b：8.4 c：7.3 d：10.4	脚付小型壷	内）ナデ 外）調整不明	良好	密	淡褐色	
155	甕	b：4.8	複合口縁甕	外）頸部ナデ他調整不明	良好	密	淡褐色	
156	甕	b：3.3	複合口縁甕頸部	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	褐色	SI01
157	甕	a：17.3 b：3.4	複合口縁甕	内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	SI12
158	甕	b：4.2	複合口縁甕頸部	内外面ともナデ	良好	密	褐色	SI18
159	甕	a：10.6 b：4.4	複合口縁甕	内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	SI23
160	甕	a：13.8 b：3.3	複合口縁甕	内外面ともナデ	良好	密 黒斑付着	褐色	
161	甕	a：13.4 b：3.4	複合口縁甕	内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
162	甕	a：14.2 b：4.3	複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
163	甕	a：13.8 b：3.6	複合口縁甕	内）調整不明 外）ナデ	良好	密	淡褐色	
164	甕	a：14.5 b：5.7	複合口縁甕	内外面とも調整不明	良好	密 黒斑付着	淡褐色	
165	甕	b：22.5 d：21.4	複合口縁甕	内）頸部下ケズリ他ナデ 外）頸部下ハケ目他ナデ	良好	密	橙褐色	

表5 長砂第3遺跡出土遺物観察表（土師器）

（a：口径　b：器高　c：底径　d：最大径）

図版番号	器　種	法　量	形態の特徴	手法の特徴	焼　成	胎　土	色　調	備　考
166	甕	a：15.6 b：4.8	複合口縁甕	内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
167	甕	a：17.6 b：3.7	複合口縁甕	内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
168	甕	a：12.8 b：7.0	複合口縁甕	内外面とも調整不明	良好	密	淡灰褐色	
169	甕	b：1.4 c：8.8	甕の底部	内外面とも調整不明	良好	密	内）暗褐色 外）褐色	
170	甕	a：16.7 b：8.8	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	SI09
171	甕	a：20.8 b：2.4	退化した複合口縁甕	内外面ともナデ	良好	密	褐色	SI10
172	甕	a：15.4 b：6.0	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	SI12
173	甕	a：19.2 b：4.5	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 砂粒多く含む	淡褐色	SI12
174	甕	a：20.2 b：4.5	退化した複合口縁甕	内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	褐色	SI12
175	甕	a：13.7 b：7.5	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密	内）橙褐色 外）暗褐色	SI15
176	甕	a：19.8 b：4.9	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ナデ	良好	密	褐色	SI15
177	甕	a：15.2 b：3.7	退化した複合口縁甕	内外面とも調整不明	良好	密	橙褐色	SI15
178	甕	a：19.4 b：8.7	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	褐色	SI15
179	甕	a：17.6 b：2.9	退化した複合口縁甕	内外面ともナデ	良好	密 5㎜大の砂粒含む	褐色	SI15
180	甕	a：24.5 b：4.6	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
181	甕	a：15.4 b：4.2	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ	良好	密 3.5㎜大の砂粒含む	橙褐色	
182	甕	a：17.6 b：6.0	退化した複合口縁甕	内）ナデケズリ 外）ナデハケ目	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	SI15
183	甕	a：16.4 b：5.4	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	暗褐色	
184	甕	a：16.2 b：5.2	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	褐色	
185	甕	a：16.4 b：8.8	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
186	甕	a：15.0 b：4.5	退化した複合口縁甕	内外面とも調整不明	良好	密	淡橙褐色	
187	甕	a：18.6 b：5.1	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）調整不明	良好	密 6.5㎜大の砂粒含む	淡褐色	
188	甕	a：20.0 b：8.8	退化した複合口縁甕	内）ナデ 外）ハケ後ナデ	良好	密 砂粒多量に含む	褐色	
189	甕	a：20.7 b：6.5	退化した複合口縁甕	内）調整不明 外）ナデ	良好	密	褐色	
190	甕	a：19.6 b：8.5	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ後ナデ	良好	密	暗灰褐色	
191	甕	a：20.2 b：26.5 d：34.5	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ 外）ハケ目	良	緻密	赤茶褐色	SI02
192	甕	a：15.2 b：3.9	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	暗褐色	
193	甕	a：14.2 b：3.5	退化した複合口縁甕	内外面ともナデ	良好	密	褐色	
194	甕	a：23.6 b：11.4	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ	良好	密 4㎜大の砂粒含む	淡褐色	
195	甕	a：18.2 b：19.0	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）頸部ケズリ他調整不明	良好	密	褐色	
196	甕	a：17.4 b：10.6	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ後ナデ	良好	密	褐色	
197	甕	a：21.2 b：5.8	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ハケ目・ケズリ外）ハケ目	良好	密 3㎜大の砂粒含む	暗灰褐色	
198	甕	a：20.2 b：4.6	退化した複合口縁甕	内外面とも調整不明	良好	密 3㎜大の砂粒含む	淡褐色	
199	甕	a：17.4 b：12.2	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密 2㎜大の砂粒含む	内）淡灰褐色 外）褐色	
200	甕	a：17.7 b：5.0	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	暗褐色	
201	甕	a：20.0 b：5.2	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	淡橙褐色	
202	甕	a：13.6 b：7.8	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密	橙褐色	
203	甕	a：17.9 b：5.7	退化した複合口縁甕	内外面とも調整不明	良好	密	淡褐色	
204	甕	a：15.7 b：7.3	退化した複合口縁甕	内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	褐色	
205	甕	a：16.0 b：9.4	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密 4㎜大の砂粒含む	橙褐色	
206	甕	a：15.5 b：8.3	退化した複合口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密	褐色	

表６　長砂第３遺跡　出土遺物観察表（土師器）

（a：口径　b：器高　c：底径　d：最大径）

図版番号	器　種	法　量	形態の特徴	手法の特徴	焼　成	胎　土	色　調	備　考
207	甕	a：17.8 b：5.0	退化した複合口縁甕	内外面とも調整不明	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	
208	甕	a：16.7 b：5.0	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	褐色	
209	甕	a：18.4 b：4.3	退化した複合口縁甕	内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	褐色	
210	甕	a：14.4 b：3.4	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面とも調整不明	良好	密	橙褐色	
211	甕	a：12.8 b：4.5	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	内）淡褐色 外）暗褐色	
212	甕	a：20.0 b：4.4	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面とも調整不明	良好	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	
213	甕	a：22.5 b：7.5	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	褐色	
214	甕	a：19.4 b：4.7	退化した複合口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
215	甕	a：16.1 b：5.3	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 5㎜大の砂粒含む	淡褐色	
216	甕	a：23.1 b：4.8	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 内外面とも調整不明	良好	密 5㎜大の砂粒含む	褐色	SI12
217	甕	a：16.5 b：4.4	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	SI14
218	甕	a：17.5 b：4.6	「く」の字口縁甕	内外面とも調整不明	良好	密 6㎜大の砂粒含む	橙褐色	SI14
219	甕	a：19.4 b：4.3	「くの字」口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ	良好	密	淡灰褐色	SI15
220	甕	a：13.9 b：3.7	「くの字」口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
221	甕	a：17.4 b：4.7	「く」の字口縁甕	内外面とも調整不明	良好	密 4㎜大の砂粒含む	淡褐色	
222	甕	a：25.4 b：7.4	「く」の字口縁甕	内外面ともナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡褐色	
223	甕	a：26.5 b：4.7	「く」の字口縁甕	内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
224	甕	a：19.4 b：4.0	「く」の字口縁甕	内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	灰褐色	
225	甕	a：17.4 b：4.3	「く」の字口縁甕	外）ナデ 内）調整不明	良好	密 5㎜大の砂粒含む	褐色	
226	甕	a：15.4 b：5.5	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密	褐色	
227	甕	a：15.7 b：5.0	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	褐色	
228	甕	a：17.6 b：29.3 d：32.2	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密	淡褐色	
229	甕	a：16.0 b：24.2 d：22.6	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密 4㎜大の砂粒含む	内）灰褐色 外）淡褐色	
230	甕	a：14.4 b：9.7	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密	淡褐色	
231	甕	a：12.4 b：8.6	「く」の字口縁甕	内口縁）ハケ後ナデ他ケズ 外）ナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	淡灰褐色	
232	甕	a：21.2 b：4.0	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	灰褐色	SI02
233	甕	a：19.2 b：5.2	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面とも調整不明	良好	密 4㎜大の砂粒含む	淡橙褐色	SI09
234	甕	a：19.0 b：8.7	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	SI06
235	甕	a：18.8 b：3.6	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	褐色	SI10
236	甕	a：20.8 b：4.7	「く」の字口縁甕	内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	SI12
237	甕	a：29.0 b：5.8	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）調整不明	良好	密 4㎜大の砂粒含む	褐色	SI20
238	甕	a：17.8 b：3.2	「くの字」口縁甕	内外面ともナデ	良好	密	暗褐色	SI15
239	甕	a：15.0 b：4.1	「く」の字口縁甕	内外面とも調整不明	良好	密 1㎜大の砂粒含む	褐色	SI20
240	甕	a：15.8 b：5.6	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 3.5㎜大の砂粒含む	内）淡褐色 外）淡橙褐色	
241	甕	a：14.3 b：23.1	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良	密	褐色	
242	甕	a：16.0 b：10.1	「く」の字口縁甕	外）ナデ 内）調整不明	良好	密 7㎜大の砂粒含む	褐色	
243	甕	a：15.8 b：5.2	「く」の字口縁甕	内外面ともナデ	良好	密 4㎜大の砂粒含む	暗灰褐色	
244	甕	a：14.2 b：4.6	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 内外面ともナデ	良好	密	褐色	
245	甕	a：13.6 b：11.8	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密	内）褐色 外）橙褐色	
246	甕	a：15.6 b：4.8	「く」の字口縁甕	内外面とも調整不明	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	
247	甕	a：20.3 b：3.8	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	灰褐色	

表７長砂第３遺跡出土遺物観察表（土師器）

（a：口径　b：器高　c：底径　d：最大径）

図版番号	器　種	法　量	形態の特徴	手法の特徴	焼　成	胎　土	色　調	備　考
248	甕	a：15.0 b：17.1	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密	灰褐色	
249	甕	a：20.6 b：2.7	「く」の字口縁甕	内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
250	甕	a：19.2 b：4.9	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 ２㎜大の砂粒含む	淡褐色	
251	甕	a：18.5 b：4.6	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 砂粒含む	褐色	
252	甕	a：17.8 b：5.3	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 ３㎜大の砂粒含む	淡灰褐色	
253	甕	a：16.4 b：5.0	「く」の字口縁甕	内）ナデ・ハケ目・ケズリ 外）ナデ	良好	密 ５㎜大の砂粒含む	褐色	
254	甕	a：22.4 b：8.8	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 ４㎜大の砂粒含む	褐色	
255	甕	a：23.4 b：7.4	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
256	甕	a：17.8 b：4.7	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ他不明 外）ナデ	良好	密 ６㎜大の砂粒含む	褐色	
257	甕	a：13.7 b：3.3	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	暗褐色	
258	甕	a：19.2 b：3.2	「く」の字口縁甕	内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
259	甕	a：16.2 b：5.2	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
260	甕	a：19.4 b：4.2	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
261	甕	a：17.3 b：4.2	「く」の字口縁甕	外）ナデ 内）調整不明	良好	密 ３㎜大の砂粒含む	淡褐色	
262	甕	a：17.6 b：7.1	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 内外面とも調整不明	良好	密 １㎜大の砂粒含む	褐色	
263	甕	a：15.6 b：3.9	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ他不明 外）ナデ	良好	密 ２㎜大の砂粒含む	褐色	
264	甕	a：11.3 b：15.0 d：14.8	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ナデ	良好	密 ５㎜大の砂粒含む	橙褐色	
265	甕	a：16.7 b：3.7	「く」の字口縁甕	内外面ともナデ	良好	密	褐色	
266	甕	a：14.9 b：4.9	「く」の字口縁甕	外）ナデ 内）調整不明	良好	密 ３㎜大の砂粒含む	橙褐色	
267	甕	a：21.8 b：4.4	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 ５㎜大の砂粒含む	淡灰褐色	
268	甕	a：15.6 b：5.2	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密 ３㎜大の砂粒含む	褐色	
269	甕	a：19.8 b：7.2	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密 ７㎜大の砂粒含む	褐色	
270	甕	a：22.4 b：5.4	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 ２㎜大の砂粒含む	内）褐色 外）橙褐色	
271	甕	a：16.3 b：5.0	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 １㎜大の砂粒含む	暗灰褐色	
272	甕	a：24.5 b：4.6	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
273	甕	a：22.5 b：4.4	「く」の字口縁甕	内）頸部下削り 他内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
274	甕	a：21.7 b：5.3	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 ４㎜大の砂粒含む	淡橙褐色	
275	甕	a：20.4 b：5.7	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ナデ	良好	密 １㎜大の砂粒含む	褐色	
276	甕	a：19.8 b：5.7	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 １㎜大の砂粒含む	褐色	
277	甕	a：19.3 b：3.8	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 １㎜大の砂粒含む	褐色	
278	甕	a：20.6 b：5.3	「く」の字口縁甕	内外面とも調整不明	良好	密 砂粒多く含む	淡褐色	
279	甕	a：16.4 b：3.6	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 １㎜大の砂粒含む	淡褐色	SI02
280	甕	a：13.5 b：3.8	「く」の字口縁甕	内外面ともナデ	良好	密 ６㎜大の砂粒含む	橙褐色	
281	甕	a：19.4 b：8.7	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密 ３㎜大の砂粒含む	橙褐色	
282	甕	a：18.4 b：3.8	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ他不明 外）ナデ	良好	密	褐色	
283	甕	a：22.0 b：3.4	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
284	甕	a：21.7 b：5.1	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 ３㎜大の砂粒含む	褐色	
285	甕	a：21.4 b：5.8	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 ４㎜大の砂粒含む	橙褐色	
286	甕	a：23.7 b：4.4	「くの字」口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面とも調整不明	良好	密	淡褐色	SI02
287	甕	a：19.2 b：4.4	「く」の字口縁甕	内外面ともナデ	良好	密 ４㎜大の砂粒含む	淡褐色	SI02
288	甕	a：33.3 b：4.8	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 ４㎜大の砂粒含む	内）橙褐色 外）暗褐色	SI05

表８　長砂第３遺跡　出土遺物観察表（土師器）

（a：口径　b：器高　c：底径　d：最大径）

図版番号	器　種	法　量	形態の特徴	手法の特徴	焼　成	胎　土	色　調	備　考
289	甕	a：9.8 b：7.3	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面とも調整不明	良好	密 3㎜大の砂粒含む	淡褐色	SI12
290	甕	a：17.6 b：3.8	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	内）褐色 外）暗灰褐色	SI12
291	甕	a：21.6 b：6.1	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 6㎜大の砂粒含む	黒褐色	SI12
292	甕	a：18.5 b：7.7	「くの字」口縁甕	内）ナデケズリ 外）ナデハケ目	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	SI22
293	甕	a：18.6 b：3.5	「く」の字口縁甕	内外面ともナデ	良好	密	褐色	SI12
294	甕	a：16.2 b：5.8	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密	淡褐色	SI15
295	甕	a：19.6 b：4.4	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 4㎜大の砂粒含む	褐色	
296	甕	a：16.8 b：7.3	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 4㎜大の砂粒含む	淡褐色	
297	甕	a：19.2 b：4.6	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	淡褐色	
298	甕	a：20.4 b：11.3	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密 4㎜大の砂粒含む	淡褐色	
299	甕	a：19.0 b：14.8 d：25.1	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	淡灰褐色	
300	甕	a：17.8 b：5.2	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
301	甕	a：15.6 b：4.2	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	暗褐色	
302	甕	a：16.8 b：5.1	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	橙褐色	
303	甕	a：14.5 b：5.4	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 砂粒少量含む	淡褐色	
304	甕	a：13.1 b：4.7	「く」の字口縁甕	内外面とも調整不明	良好	密 5㎜大の砂粒含む	褐色	
305	甕	a：16.0 b：6.8	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ナデ	良好	密	淡褐色	SI02
306	甕	a：19.6 b：5.3	「く」の字口縁甕	内）ナデ・ケズリ 外）調整不明	良好	密	内）褐色 外）赤褐色	
307	甕	b：8.0	甕の頸部	内）ナデケズリ 外）ハケ目	良好	密	橙褐色	SI22
308	甕	b：10.4	甕頸部	内）ナデケズリ 外）ナデハケ目	良好	密	淡褐色	SI15
309	甕	a：18.5 b：4.6	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
310	甕	a：21.7 b：6.0	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	
311	甕	a：18.3 b：7.2	「く」の字口縁甕	内）ケズリ 外）調整不明	良好	密	淡褐色	
312	甕	a：17.9 b：7.0	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
313	甕	a：18.8 b：10.2	小型の甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	淡褐色	
314	甕	a：14.4 b：5.3	小型の甕	内）ナデハケ目 外）ナデケズリ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	淡褐色	SI04
315	甕	a：11.7 b：7.2	小型の甕	内）頸部下ケズリ 他内外面とも調整不明	良好	密 5㎜大の砂粒含む	橙褐色	SI09
316	甕	a：15.7 b：16.3 d：17.8	小型の甕	内）ナデケズリ 外）ナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	SI22
317	甕	a：10.8 b：7.6	小型の甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密	灰褐色	
318	甕	a：11.6 b：6.6	小型の甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ナデ	良好	密	褐色	SI04
319	甕	a：12.3 b：14.5 d：17.2	小型の甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ 外）調整不明	良好	密	褐色	
320	甕	a：17.0 b：8.5	小型の甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
321	甕	a：11.8 b：5.7	小型の甕	内外面ともナデ	良好	密 微砂粒含む	暗褐色	
322	甕	a：11.2 b：4.2	小型の甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 8㎜大の砂粒含む	内）褐色 外）橙褐色	
323	甕	a：12.4 b：5.1	小型の甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ後ハケ目	良好	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	
324	甕	a：13.0 b：2.8	小型の甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	暗褐色	
325	甕	a：15.6 b：3.0	小型の甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
326	甕	a：15.4 b：3.4	小型の甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
327	甕	a：12.2 b：2.6	小型の甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	褐色	
328	甕	a：10.0 b：2.4	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	SI12

表 9 長砂第 3 遺跡出土遺物観察表（土師器）

（a：口径　b：器高　c：底径　d：最大径）

図版番号	器　種	法　量	形態の特徴	手 法 の 特 徴	焼　成	胎　土	色　調	備　考
329	甕	a：18.5 b：9.2	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	内）橙褐色 外）黒色	
330	甕	a：17.9 b：8.2	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ後ナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	
331	甕	a：13.7 b：6.8	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面とも調整不明	良好	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	
332	甕	a：17.3 b：9.2	「く」の字口縁甕	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）調整不明	良好	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	
333	甕	a：25.4 b：4.4	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	橙褐色	SI02
334	甕	a：28.3 b：8.3	「く」の字口縁甕	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	灰褐色	
335	甕	a：23.0 b：6.4	大きく外反する口縁	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密	褐色	
336	甕	a：26.4 b：4.2	大きく外反する口縁	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 7㎜大の砂粒含む	褐色	
337	甕	a：27.6 b：12.4	大きく外反する口縁	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	
338	甕	a：31.0 b：5.3	大きく外反する口縁	内）頸部下ケズリ 他内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	褐色	
339	鉢	a：28.8 b：18.6		内外面ともハケ目	良好	密	橙褐色	SI02
340	製塩土器	a：12.2 b：15.0 c：8.0		内）ケズリ 外）調整不明	良好	密	内）褐色 外）橙褐色	SI12
341	高坏	b：6.0	口縁部外反する高坏	内）ナデ 外）ハケ目	やや不良	やや粗	褐色	SI17
342	高坏	b：4.0	口縁部外反する高坏	内外面ともナデ	良	やや粗	赤褐色	SI17
343	高坏	a：12.4 b：3.1	口縁部外反する高坏	内）ナデ 外）調整不明	良	緻密	淡褐色	
344	高坏	a：18.2 b：12.0	口縁部外反する高坏	内外面ともナデ	良好	密	淡橙褐色	
345	高坏	a：18.8 b：4.3	口縁部外反する高坏	内外面ともナデ	硬	緻密 2㎜大の砂粒含む	淡褐色	
346	高坏	a：18.2 b：4.3	口縁部外反する高坏	内外面ともナデ	良	密	褐色	
347	高坏	a：17.4 b：6.0	口縁部外反する高坏	内外面とも調整不明	良	密	淡赤褐色	
348	高坏	a：18.0 b：6.2	口縁部外反する高坏	内外面ともナデ	良好	密	橙茶色	
349	高坏	a：14.6 b：10.2 c：8.0	口縁部外反する高坏	坏部）内外面ともナデ 脚部内）絞り痕 脚部外）ヘラナデハケ目	良好	緻密	橙茶色	
350	高坏	a：16.0 b：4.6	椀型坏の高坏	内外面ともナデ	良好	緻密	橙褐色	
351	高坏	a：16.0 b：6.2	椀型坏の高坏 口縁部外反	内外面とも調整不明	良好	粗 砂粒含む	橙茶色	
352	高坏	a：15.0 b：10.2	椀型坏の高坏 口縁部内湾	内）ナデ指頭圧痕 外）調整不明	良	緻密 1㎜大の砂粒含む	赤褐色	
353	高坏	b：8.8 c：7.7	椀型坏の高坏	外接合部）ハケ目 他内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
354	高坏	a：17.0 b：6.5	椀型坏の高坏	内外面ともナデ	良好	密	淡橙茶色	
355	高坏	a：12.0 b：4.2	椀型坏の高坏	内）ナデ 外）調整不明	良	やや粗 1㎜大の砂粒含む	赤褐色	
356	高坏	a：14.2 b：5.0	椀型坏の高坏	内外面とも調整不明	良	緻密	淡褐色	
357	高坏	a：11.0 b：7.0	椀型坏の高坏	内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
358	高坏	a：12.0 b：6.8	高坏の坏部	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密	橙色	
359	高坏	a：7.8 b：10.5	高坏脚部	内外面ともナデ 外）指頭圧痕　ケズリ	良	緻密	淡褐色	SI15
360	高坏	b：3.8 b：4.0	高坏脚部	内外面ともナデ 他調整不明	やや不良	密	茶褐色	SI12
361	高坏	b：6.1 c：9.6	高坏脚部	内外面ともナデ 内）絞り痕外）指頭圧痕	硬	緻密	赤褐色	SI12
362	高坏	b：7.0 c：10.0	高坏脚部	内外面ともナデ 内）絞り痕	良	緻密	乳褐色	
363	高坏	b：6.2 c：7.4	高坏脚部	内外面ともナデ 内）絞り痕	硬	緻密	赤褐色 脚内）褐色	
364	高坏	b：4.7 c：9.0	高坏脚部	内外面ともナデ	やや不良	緻密	淡赤褐色	
365	高坏	b：3.7 c：8.8	高坏脚部	内外面ともナデ	良	緻密	茶褐色	
366	高坏	b：5.0 c：6.8	高坏脚部	内外面ともナデ 外）指頭圧痕	良	緻密	赤褐色	SI12
367	高坏	b：2.9 c：8.8	高坏脚部	内外面ともナデ	良	緻密	茶褐色	SI22
368	高坏	b：5.7 c：8.3	高坏脚部	内外面ともナデ 外）ハケ目指頭圧痕	やや不良	緻密	淡褐色	
369	高坏	b：6.0 c：10.3	高坏脚部	内外面ともナデ 外）指頭圧痕	硬	やや粗	橙褐色	

表10　長砂第３遺跡　出土遺物観察表（土師器）

（a：口径　b：器高　c：底径　d：最大径）

図版番号	器　種	法　量	形態の特徴	手法の特徴	焼　成	胎　土	色　調	備　考
370	低脚坏	b：5.2 c：7.5	低脚坏脚部	内外面とも調整不明	良好	密 1㎜大の砂粒含む	橙褐色	SI04
371	高坏	b：3.3 c：9.1	高坏脚部	内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
372	高坏	b：4.6 c：9.6	高坏脚部	内外面ともナデ	良	緻密	淡褐色	SI17
373	高坏	b：2.2 c：7.5	高坏脚部	内外面とも指押え	良好	密	橙茶色	
374	高坏	b：3.4 c：7.5	高坏脚部	内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	
375	高坏	b：2.8 c：7.6	高坏脚部	内外面とも調整不明	良好	密	内）桃褐色 外）橙褐色	
376	高坏	b：2.3 c：8.0	高坏脚部	内）調整不明 外）ナデ	良	緻密	赤茶褐色	
377	高坏	b：6.3	高坏脚部	脚外）ハケ目脚内端部）ケズリ 他内外面とも調整不明	やや軟質	緻密	赤褐色	
378	高坏	b：3.6 c：10.6	高坏脚部	内外面ともナデ	良	緻密	褐色	SI20
379	高坏	b：7.7 c：10.3	高坏脚部	外）ケズリ後ナデ 他ナデ	良	緻密 1㎜大の砂粒含む	赤茶褐色	
380	高坏	b：7.0	高坏脚部	内）ナデ外）ヘラナデ	良好	密	赤褐色	
381	低脚坏	b：2.9 c：5.8	低脚坏脚部	内外面ともナデ	硬	粗	褐色	SI15
382	低脚坏	b：5.4 c：7.0	低脚坏脚部	外）ナデ脚内）ケズリ 坏内）調整不明	良	粗 1㎜大の砂粒含む	赤褐色	SI17
383	低脚坏	b：3.5 c：6.6	低脚坏脚部	内外面ともナデ	良	やや粗	淡白褐色	
384	低脚坏	b：3.2 c：7.0	低脚坏脚部	内外面ともナデ	良	緻密	淡褐色	
385	低脚坏	b：3.0 c：8.0	低脚坏脚部	内外面ともナデ 坏内）調整不明	硬	粗 1㎜大の砂粒含む	黄褐色	SI22
386	低脚坏	b：3.6 c：7.8	低脚坏脚部	内外面ともナデ	良	やや粗	淡赤褐色	
387	低脚坏	b：2.9 c：7.5	低脚坏脚部	内外面ともナデ	良	緻密	赤褐色	
388	低脚坏	b：2.6 c：8.5	低脚坏脚部	内外面ともナデ後指押え	良好	密 黒色微砂粒含む	橙茶色	
389	低脚坏	b：2.2 c：8.0	低脚坏脚部	内）ナデ指頭圧痕 外）ハケ目	良	緻密	暗茶褐色	
390	坏	a：10.4 b：3.9	口縁部が内椀する坏	内外面とも調整不明	良好	密 砂粒含む	褐色	SI12
391	坏	a：14.6 b：3.3	口縁部が内椀する坏	内外面ともナデ	良	緻密	褐色	SI12
392	坏	a：12.5 b：3.5	口縁部が内椀する坏	内外面ともナデ	良	やや粗	暗褐色	SI14
393	坏	a：12.9 b：4.1	口縁部が内椀する坏	内外面ともナデ	良好	密	内）茶色 外）黒褐色	SI22
394	坏	a：14.3 b：4.7	口縁部が内椀する坏	内外面とも調整不明	良	密 微砂粒含む	橙褐色	
395	坏	a：13.6 b：4.3	口縁部が内椀する坏	内外面ともナデ 外）指頭圧痕	良	緻密	赤褐色	
396	坏	a：14.0 b：4.7	口縁部が内椀する坏	内外面ともナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡褐色	
397	坏	a：13.6 b：4.1	口縁部が内椀する坏	内外面とも調整不明 内）指頭圧痕	良	緻密	淡褐色	
398	坏	a：11.6 b：3.2	口縁部が内椀する坏	内外面とも調整不明	良	緻密	淡白褐色	
399	坏	a：13.0 b：4.5	口縁部が内椀する坏	内）ナデ 外）調整不明	良	緻密	淡褐色	
400	坏	a：12.0 b：3.8	口縁部が内椀する坏	内外面ともナデ	良	緻密	淡褐色	
401	坏	a：13.6 b：4.5	口縁部が内椀する坏	内外面ともナデ	良	緻密	淡褐色	
402	坏	a：12.8 b：4.9	口縁部が内椀する坏	口縁部内外面ともナデ 他内外面とも調整不明	良	緻密	褐色	
403	坏	a：14.6 b：4.0	口縁部が内椀する坏	口縁部・内部ナデ 他調整不明	良好	密	赤褐色	SI12
404	坏	a：13.4 b：3.9	口縁部が内椀する坏	内外面ともナデ	良	緻密	褐色	SI17
405	坏	a：12.0 b：4.0	口縁部が内椀する坏	内外面とも調整不明	やや軟質	密	橙茶色	
406	坏	a：12.6 b：3.7	口縁部が内椀する坏	内）ナデ 外）調整不明	良	緻密	褐色	
407	坏	a：13.0 b：3.7	口縁部が内椀する坏	内外面ともナデ	良	緻密	赤褐色	
408	坏	a：14.0 b：3.5	口縁部が内椀する坏	外）ナデ 内）調整不明	良	緻密	淡褐色	
409	坏	a：12.6 b：5.0	口縁部が内椀する坏	口縁部内外面ともナデ 他内外面とも調整不明	硬	緻密	淡赤褐色	
410	坏	a：10.9 b：3.2	口縁部が内椀する坏	内外面ともナデ	良	密	褐色	SI01
411	坏	a：12.0 b：3.4	口縁部が内椀する坏	内外面とも調整不明	良好	緻密	橙褐色	

表11長砂第３遺跡出土遺物観察表（土師器）

（a：口径　b：器高　c：底径　d：最大径）

図版番号	器　種	法　量	形態の特徴	手法の特徴	焼　成	胎　土	色　調	備　考
412	坏	a：13.0 b：3.2	口縁部が内椀する坏	内外面ともナデ	良好	緻密	橙茶色	
413	坏	a：13.0 b：5.0	口縁部が内椀する坏	内）ナデ 外）調整不明	良好	緻密	淡白褐色	
414	鉢	a：9.6 b：5.0	口縁部が短く外反する鉢	口縁部内外面ともナデ 他内外面とも調整不明	やや不良	緻密	褐色	
415	鉢	a：10.7 b：4.7	口縁部が短く外反する鉢	内外面ともナデ	良	緻密	褐色	
416	鉢	a：13.0 b：5.8	口縁部が短く外反する鉢	内外面ともナデ	良	緻密	赤褐色	
417	鉢	a：13.2 b：8.1	口縁部が短く外反する鉢	内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	淡褐色	
418	鉢	a：11.4 b：5.4	口縁部が短く外反する鉢	内外面とも調整不明	良	緻密	淡褐色	
419	椀	a：12.0 b：6.3	口縁部が直立する椀	内外面ともナデ	良好	緻密	橙茶色	
420	椀	a：11.0 b：5.1	口縁部が直立する椀	内）ナデ 外）調整不明	良好	密 0.5㎜大の砂粒含む	淡橙褐色	
421	椀	a：17.5 b：6.2	口縁部が直立する椀	内外面とも調整不明	良好	密 3㎜大の砂粒含む	淡褐色	
422	椀	a：13.0 b：9.5	口縁部が直立する椀	内外面ともナデ	良好	密 5㎜大の砂粒含む	内）淡褐色 外）橙褐色	
423	器台	a：18.8 b：5.2		内外面とも調整不明	良	密	淡褐色	SI18
424	器台	b：5.2	鼓形器台	内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	SI18
425	器台	b：2.7 c：17.0	鼓形器台	内外面ともナデ	やや軟質	密	淡褐色	SI18
426	器台	a：16.5 b：3.7	鼓形器台	内外面ともナデ	良好	密	淡橙褐色	SI23
427	器台	b：5.1	鼓形器台	内外面ともナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡橙褐色	SI23
428	器台	b：5.0 c：17.6	鼓形器台	内外面ともナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡橙褐色	SI23
429	器台	b：4.5 c：17.8	鼓形器台	内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	淡褐色	SI23
430	器台	b：6.5 c：14.8	鼓形器台	内外面ともナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	褐色	SI23
431	器台	a：17.9 b：5.8	鼓形器台	内外面とも調整不明	良好	やや粗	褐色	
432	器台	a：19.6 b：2.8	鼓形器台	内外面ともナデ	良好	密	褐色	
433	器台	b：7.6	鼓形器台	内外面とも調整不明	良	やや密	淡褐色	
434	器台	a：12.7 b：3.5	鼓形器台	内外面ともナデ	良	密	淡褐色	
435	器台	b：3.3	鼓形器台	内外面とも調整不明	良	密	淡褐色	
436	器台	b：4.4	鼓形器台	内外面ともナデ	良	密	褐色	
437	器台	b：3.7	鼓形器台	内外面とも調整不明	やや軟質	密 砂粒多量に含む	淡灰褐色	
438	羽釜	b：3.4	外面に突帯が巡る	内外面とも調整不明	良好	密	淡灰褐色	
439	蓋	b：3.4 e：3.6	環状のつまみ	内外面とも調整不明	良好	密	淡褐色	SI23
440	蓋	b：2.4	環状のつまみ	内外面とも調整不明	良好	密	褐色	
441	取手	b：4.5			良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡褐色	
442	土錘	b：4.2	管状の土錘		良好	密	淡褐色	
443	てづくね	a：5.2 b：2.9	てづくねの鉢	内外面ともナデ	良好	密 砂粒多く含む	内）黒灰色 外）暗灰褐色	SI17
444	てづくね	b：3.4	てづくねの壷	内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	SI12
445	てづくね	b：5.5 d：5.4	てづくねの壷	内外面ともナデ 内）指頭圧痕	良好	密	橙褐色	
446	ミニチュア	b：3.1 d：6.0	ﾐﾆﾁｭｱの壷	内外面ともナデ 内）指頭圧痕	良好	密 1㎜大の砂粒含む	橙褐色	
447	ミニチュア	a：5.2 b：3.7 d：6.3	ﾐﾆﾁｭｱの壷	内）ナデ・ケズリ・指頭圧痕 外）ナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	
448	ミニチュア	b：3.8 d：7.0	ﾐﾆﾁｭｱの壷	内）ナデ・ケズリ 外）ナデ・ハケ目	良好	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	
449	ミニチュア	b：3.1	ﾐﾆﾁｭｱの壷	内外面とも調整不明	良好	密	橙褐色	
450	ミニチュア	a：9.8 b：4.4	ﾐﾆﾁｭｱの鉢	内外面ともナデ	良好	密 2㎜大の砂粒含む	内）灰褐色 外）暗灰褐色	
451	ミニチュア	a：7.7 b：3.9	ﾐﾆﾁｭｱの鉢	内外面ともナデ	良好	密	内）橙褐色 外）黒灰色	
452	壷	b：1.5	小型の壷？	内）ナデ 外）ハケ目ナデ	良好	密	灰褐色	
453	壷	b：2.3	小型の壷？	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密 2.5㎜大の砂粒含む	内）橙褐色 外）淡褐色	
454	竈	b：10.0	竈の口縁部	口縁部）内外面ともナデ 内）ケズリ外）ハケ目	良好	密	暗灰褐色	
455	甑	a：24.3 b：6.3	甑の口縁部	内）ケズリ 外）調整不明	良好	密	橙褐色	SI18
456	甑	b：8.8	甑の口縁部	口縁部）内外面ともナデ 内）調整不明外）ハケ目	良好	密 5㎜大の砂粒含む	淡褐色	SI12

表12　長砂第３遺跡　出土遺物観察表（土師器）

（a：口径　b：器高　c：底径）

図版番号	器　種	法　量	形態の特徴	手法の特徴	焼　成	胎　土	色　調	備　考
457	甑	a：29.4 b：8.3	甑の口縁部	内）ナデ 外）ナデ・ハケ目	良好	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	
458	甑	a：25.0 b：9.2	甑の口縁部	内外面とも調整不明	良好	密 3㎜大の砂粒含む	淡褐色	
459	甑	a：22.3 b：7.9	甑の口縁部	内外面とも調整不明	良好	密 4㎜大の砂粒含む	淡灰褐色	
460	甑	a：23.5 b：10.2	甑の口縁部	内外面ともナデ	良好	密 4㎜大の砂粒含む	褐色	
461	甑	a：23.7 b：6.8	甑の口縁部	内）ナデ・ケズリ 外）ナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	褐色	
462	甑	b：8.1 c：10.0	甑の底	内）ケズリ 外）調整不明	良好	密 3㎜大の砂粒含む	橙褐色	
463	甑	b：6.5 c：20.1	甑の底	内）ナデ 外）ハケ目	良好	密 4㎜大の砂粒含む	橙褐色	
464	甑		甑の取手		良	密	橙褐色	
465	甑	b：15.8	甑の取手部	内）ケズリ外）ハケ目	良好	密	褐色	

表13　長砂第３遺跡　出土遺物観察表（土師質）

（a：口径　b：器高　c：底径　d：最大径）

図版番号	器　種	法　量	形態の特徴	手法の特徴	焼　成	胎　土	色　調	備　考
466	Ⅲ	a：7.5 b：1.3 c：4.9	底部糸切り	内外面ともナデ	良	密	淡褐色	SI02
467	Ⅲ	a：7.9 b：1.8 c：5.0	底部糸切り	内外面ともナデ	良	密	淡褐色	SI02
468	Ⅲ	a：8.3 b：1.6 c：5.6	底部糸切り	内外面ともナデ	良好	密 5㎜大の砂粒含む	淡褐色	SI02
469	Ⅲ	b：0.9 c：4.5	底部糸切り	内外面ともナデ	良	密	淡褐色	SI02
470	Ⅲ	b：1.0 c：4.4	底部糸切り	内外面ともナデ	良	密	褐色	SI02
471	Ⅲ	a：7.4 b：1.7 c：5.0	底部糸切り	内外面ともナデ	良	密	褐色	SI02
472	Ⅲ	a：5.8 b：1.4	Ⅲの口縁部	内外面ともナデ	良	密	淡褐色	SI02
473	Ⅲ	b：0.9 c：4.7	底部糸切り	内外面ともナデ	良	密	褐色	SI02
474	Ⅲ	a：15.2 b：2.9 c：7.0		内外面とも調整不明	良好	密 2㎜大の砂粒含む	淡橙褐色	SI03
475	Ⅲ	a：7.8 b：1.5 c：4.8	底部糸切り	内外面ともナデ	良	密	褐色	SI03
476	Ⅲ	b：0.6 c：6.6	底部糸切り	内外面ともナデ	良	密	黒褐色	SI03
477	Ⅲ	a：8.0 b：1.4 c：5.1		内外面とも調整不明	良	密	淡褐色	SI05
478	Ⅲ	a：10.8 b：2.1		内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	SI05
479	Ⅲ	a：9.4 b：2.1 c：6.0		内外面ともナデ	良好	密	橙褐色	SI05
480	Ⅲ	a：7.8 b：1.7 c：5.6		内外面とも調整不明	良好	密	褐色	SI05
481	Ⅲ	a：7.8 b：1.8	底部糸切り	内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	SI05
482	Ⅲ	a：9.4 b：1.6 c：8.2		内）ナデ 外）調整不明	良好	密	淡褐色	
483	Ⅲ	b：2.3 c：5.0		内外面とも調整不明	良	密	淡褐色	SI05
484	Ⅲ	b：1.5 c：6.4		内外面とも調整不明	良好	密 2㎜大の砂粒含む	暗褐色	SI06
485	Ⅲ	b：0.9 c：5.8	底部糸切り	内外面とも調整不明	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡灰褐色	
486	Ⅲ	b：2.1 c：7.8		内）ナデ 外）調整不明	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡褐色	
487	Ⅲ	a：9.8 b：1.6 c：4.4	底部糸切り	内外面ともナデ	良好	密 5㎜大の砂粒含む	淡褐色	
488	Ⅲ	a：9.0 b：1.7 c：4.6	底部糸切り	内外面とも調整不明	良好	密 2㎜大の砂粒含む	淡灰褐色	
489	Ⅲ	b：1.1 c：5.2	底部糸切り	内外面とも調整不明	良好	密 5㎜大の砂粒含む	褐色	
490	Ⅲ	b：1.5 c：6.6	底部糸切り	内外面とも調整不明	良好	密	淡灰褐色	
491	Ⅲ	b：1.2 c：4.8		内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	

表14　長砂第３遺跡　出土遺物観察表（土師質）

（a：口径　b：器高　c：底径）

図版番号	器　種	法　量	形態の特徴	手法の特徴	焼　成	胎　土	色　調	備　考
492	Ⅲ	b：2.0 c：5.0		内外面とも調整不明	良	密	淡褐色	
493	Ⅲ	b：1.9 c：6.5		内外面とも調整不明	良好	密	淡褐色	
494	Ⅲ	b：2.3 c：7.6		内外面とも調整不明	良好	密	淡褐色	
495	Ⅲ	b：1.0 c：7.4	底部糸切り	内外面ともナデ	良	密 5㎜大の砂粒含む	褐色	
496	Ⅲ	b：1.4 c：5.9	底部糸切り	内外面ともナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	灰褐色	
497	Ⅲ	b：1.6 c：5.4		内外面とも調整不明	良好	密 2㎜大の砂粒含む	淡灰褐色	
498	Ⅲ	b：0.9 c：4.8	底部糸切り	内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
499	Ⅲ	b：0.6 c：4.6		内外面とも調整不明	良好	密 3㎜大の砂粒含む	褐色	
500	Ⅲ	b：1.0 c：4.8		内）ナデ 外）調整不明	良好	密 4㎜大の砂粒含む	褐色	
501	Ⅲ	b：0.9 c：4.8	底部糸切り	内）ナデ 外）調整不明	良	密	橙褐色	
502	Ⅲ	b：1.9 c：5.6	底部糸切り	内外面とも調整不明	良	密	淡褐色	
503	Ⅲ	b：1.4 c：4.2		内外面とも調整不明	良好	密 2㎜大の砂粒含む	淡褐色	
504	Ⅲ	b：1.4 c：6.0	底部糸切り	内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
505	Ⅲ	b：1.5 c：6.2		内外面とも調整不明	良好	密 1㎜大の砂粒含む	赤褐色	
506	Ⅲ	b：2.0 c：9.0		内外面ともナデ	良好	密	淡灰褐色	
507	Ⅲ	b：1.8 c：8.0		内外面とも調整不明	良好	密	淡褐色	
508	Ⅲ	b：1.5 c：8.3	底部糸切り	内外面ともナデ	良好	密	淡灰褐色	
509	坏	a：15.8 b：2.5		内外面ともナデ	良	密	褐色	SI02
510	坏	a：12.0 b：3.7		内外面ともナデ	良	密	橙褐色	SI02
511	坏	b：2.1 c：6.1	底部糸切り	内外面ともナデ	良	密	褐色	SI02
512	坏	b：1.8 c：6.5	底部糸切り	内外面ともナデ	良	密 1㎜大の砂粒含む	褐色	SI03
513	坏	b：2.2 c：6.9		内）ナデ 外）調整不明	良	密 2㎜大の砂粒含む	褐色	SI03
514	坏	b：3.1 c：6.3	底部糸切り	内外面ともナデ	良好	密 1㎜大の砂粒含む	淡褐色	SI03
515	坏	a：11.7 b：4.0	底部糸切り	内外面ともナデ	良好	密 微砂粒を含む	褐色	
516	坏	a：11.8 b：4.0	底部糸切り	内外面ともナデ	良好	密 微砂粒を含む	褐色	
517	坏	a：12.3 b：4.1 c：7.2	底部糸切り	内外面ともナデ	普通	密	黄褐色	
518	坏	b：2.9 c：7.0	底部糸切り	内外面ともナデ	良	密	褐色	
519	坏	b：1.7 c：9.6		内外面とも調整不明	良好	密 2㎜大の砂粒含む	淡褐色	
520	坏	b：3.0 c：6.4	底部糸切り	内外面ともナデ	良	密 5㎜大の砂粒含む	褐色	
521	坏	b：3.1 c：8.4	底部糸切り	外）ナデ 内）調整不明	良好	密 3㎜大の砂粒含む	淡褐色	
522	坏	b：1.1	高台付の坏	内外面とも調整不明	良好	密	淡褐色	SI06
523	坏	b：2.4 c：7.2	高台付の坏	内外面ともナデ	良好	密 3㎜大の砂粒含む	淡褐色	
524	坏	b：2.6 c：5.4	高台付の坏	内外面ともナデ	良好	密	褐色	
525	坏	b：2.8 c：7.4	高台付の坏	内外面ともナデ	良好	密	淡褐色	
526	坏	b：2.1 c：5.8	高台付の坏	内外面とも調整不明	良好	密	内）淡灰褐色 外）淡褐色	
527	坏	b：2.2 c：7.8		内外面とも調整不明	良好	密	淡褐色	
528	坏	b：2.7 c：9.4	高台付の坏	内外面ともナデ	良好	密 5㎜大の砂粒含む	暗灰色	
529	坏	b：2.9 c：9.5	高台付の坏	内外面ともナデ	良好	密	褐色	
530	坏	b：3.2 c：8.3	高台付の坏	内外面ともナデ	良好	密	淡橙褐色	
531	坏	b：4.1 c：5.4	柱状高台付の坏 底部糸切り	内外面ともナデ	良	密	褐色	SI03
532	坏	b：3.6 c：5.2	柱状高台付の坏	内外面ともナデ	硬	やや粗	内）黒褐色 外）褐色	SI15

表15　長砂第３遺跡　出土遺物観察表（須恵器）

図版番号	器　種	口　径（cm）	器　高（cm）	焼　成	胎　土	色　調	備　考
533	坏蓋	12.8	5.3	普通	密	灰色	SI01
534	坏蓋	15.0	4.9	硬質	緻密 １～２㎜大の砂粒含む	青灰色	SI02
535	坏蓋	12.5	5.5	良	密	濃灰色	SI02
536	坏蓋	12.0	4.5	硬	緻密	黒灰色	SI06
537	坏蓋	10.4	5.0	良好	密	内）黄灰色 外）黒灰色	SI06
538	坏蓋	11.8	4.0	良好	密	内）青灰色 外）黒灰色	SI12
539	坏蓋	14.2	5.2	やや軟質	やや粗	明青灰色	SI12
540	坏蓋	11.0	4.25	硬質	密 0.5～２㎜大の砂粒含む	濃青灰色	SI12
541	坏蓋	12.1	3.8	良好	密	内）青灰色 外）灰色	SI12
542	坏蓋	10.8	4.0	良好	密	灰色	SI12
543	坏蓋	12.0	4.2	堅緻	緻密	濃青灰色	SI12
544	坏蓋	12.0	4.3	硬質	密	青灰色	SI12
545	坏蓋	14.0	4.0	堅緻	密	青灰色	SI14
546	坏蓋	11.2	3.6	堅緻	密	灰色	SI15
547	坏蓋	12.0	3.4	堅緻	緻密	内）茶灰色 外）濃青灰色	SI15
548	坏蓋	13.0	4.2	堅緻	緻密	内）乳灰色 外）青灰色	SI15
549	坏蓋	13.0	3.7	堅緻	密	濃青灰色	SI15
550	坏蓋	11.0	5.0	良好	密	青灰色	SI17
551	坏蓋	13.0	4.1	堅緻	密 １㎜大の砂粒含む	青灰色	SI20
552	坏蓋	13.4	5.6	硬質	緻密 0.5～１㎜大の砂粒含む	青灰色	SI06
553	坏蓋	12.6	5.4	良好	密 ７㎜大の砂粒含む	青灰色	
554	坏蓋	12.9	5.5	普通	密	灰色	
555	坏蓋	11.8	5.3	堅緻	緻密 白砂粒含む	内）青灰色 外）暗青灰色	
556	坏蓋	10.8	3.3	良好	密	黒灰色	
557	坏蓋	11.8	4.5	堅緻	緻密	薄紫灰色	
558	坏蓋	12.7	4.9	良好	密	灰色	
559	坏蓋	11.0	3.4	堅緻	緻密 １㎜大の砂粒含む	内）濃青灰色 外）自然釉付着	
560	坏蓋	12.2	4.7	良	密	灰色	
561	坏蓋	13.2	5.1	良好	密	青灰色	
562	坏蓋	12.2	5.35	堅緻	緻密	青灰色	
563	坏蓋	12.8	5.2	硬質	緻密	内）明灰色 外）青灰色	
564	坏蓋	13.0	5.3	堅緻	密	黄灰色	SI03
565	坏蓋	13.4	5.6	不良	密	乳灰色	
566	坏蓋	13.0	3.4	堅緻	緻密	青灰色	
567	坏蓋	11.8	6.0	堅緻	密	灰褐色	
568	坏蓋	12.5	5.3	堅緻	緻密	青灰色	
569	坏蓋	12.0	4.2	良好	密	灰色	
570	坏蓋	13.0	3.8	堅緻	緻密	濃青灰色	
571	坏蓋	14.0	4.4	堅緻	密	灰色	
572	坏蓋	12.3	5.55	硬質	密	青灰色	
573	坏蓋	13.2	4.6	堅緻	緻密	淡灰褐色	
574	坏蓋	14.0	5.0	普通	密	明灰色	
575	坏蓋	13.8	5.0	普通	密 微砂粒含む	乳灰色	
576	坏蓋	14.0	4.5	堅緻	密	暗青灰色	
577	坏蓋	13.0	4.5	普通	密	黄灰色	
578	坏蓋	12.5	4.25	良好	密	乳灰色	
579	坏蓋	15.0	3.3	堅緻	緻密	青灰色	
580	坏蓋	12.6	4.0	硬質	緻密	内）暗青灰色 外）茶灰褐色	SI12

図版番号	器　種	口　径（cm）	器　高（cm）	受部径（cm）	焼　成	胎　土	色　調	備　考
581	坏身	13.0	4.4	15.0	堅緻	緻密	濃灰色	SI03
582	坏身	10.6	5.2	12.8	硬質	密	青灰色	SI06
583	坏身	11.0	2.9	13.0	堅緻	密	濃青灰色	SI09
584	坏身	10.0	3.6	12.7	硬質	緻密	青灰色	SI09
585	坏身	10.8	5.4	13.0	堅緻	粗 ３㎜大の砂粒含む	青灰色	SI12
586	坏身	12.0	4.7	14.4	堅緻	密	明紫灰色	SI12
587	坏身	9.8	5.0	12.0	硬質	緻密	濃青灰色	SI12
588	坏身	10.0	4.4	12.0	堅緻	密	濃青灰色	SI12
589	坏身	9.8	3.9	11.8	良好	密黒斑付着	灰色	SI12
590	坏身	12.0	4.1	14.4	硬質	密	暗青灰色	SI12
591	坏身	11.0	4.2	13.2	硬質	粗	濃青灰色	SI12
592	坏身	10.0	4.0	12.0	堅緻	緻密	内）茶褐色 外）灰褐色	SI23
593	坏身	10.0	5.6	12.6	良	密	淡灰色	SI17
584	坏身	10.0	5.0	12.4	堅緻	緻密	内）茶褐色 外）青灰色	
595	坏身	11.4	3.7	14.0	堅緻	緻密	青灰色	SI18
596	坏身	10.0	5.5	12.4	普通	密	灰色	
597	坏身	11.0	5.9	13.0	堅緻	密	内）青灰色 外）緑灰色	
598	坏身	10.5	5.35	12.8	やや軟質	密	青灰色	SI09
599	坏身	12.0	6.1	14.6	軟質	密	乳灰色	
600	坏身	8.0	3.7	10.0	堅緻	密 0.5㎜大の砂粒含む	明青灰色	
601	坏身	10.0	5.3	12.0	不良	密黒斑付着	淡灰色	
602	坏身	10.8	5.8	13.2	普通	密	黄灰色	
603	坏身	9.8	5.2	12.0	良好	密	内）灰色 外）緑灰色	
604	坏身	10.0	4.2	12.4	堅緻	緻密	内）明青灰色 外）青灰色	

表16長砂第３遺跡出土遺物観察表（須恵器）

図版番号	器　種	口　径（cm）	器　高（cm）	受部径（cm）	焼　成	胎　土	色　調	備　考
604	坏身	12.6	3.9	14.6	良好	密	灰色	SI04
605	坏身	12.0	4.8	14.0	やや軟質	やや粗	青灰色	
607	坏身	10.0	5.0	12.2	堅緻	やや粗	内）青灰色	SI10
608	坏身	10.7	5.1	13.0	堅緻	緻密	青灰色	
609	坏身	12.0	5.2	14.4	硬質	密	青灰色	
610	坏身	10.0	4.4	12.8	堅緻	密	青灰色	
611	坏身	11.0	5.2	13.6	硬質	緻密	内）青灰色 外）紫灰色	
612	坏身	11.0	4.2	14.0	硬質	緻密	青灰色	
613	坏身	10.0	3.2	12.6	不良	密黒斑付着	乳灰色	
614	坏身	11.0	4.1	13.0	普通	密	青灰色	
615	坏身	10.3	4.2	13.0	堅緻	緻密	内）明青灰色 外）濃青灰色	
616	坏身	10.4	4.2	12.2	良好	密	濃灰色	
617	坏身	10.0	3.1	11.4	良好	密	内）灰色 外）濃灰色	
618	坏身	10.0	4.5	11.4	堅緻	緻密	内）紫灰色 外）青灰色	
619	坏身	12.0	5.4	14.1	堅緻	密	淡紫灰色	
620	坏身	10.0	3.6	12.0	良好	密	灰色	
621	坏身	9.6	4.7	12.4	良好	密	内）灰色 外）黒灰色	
622	坏身	9.5	3.8	12.2	堅緻	緻密	内）青灰色 外）濃青灰色	
623	坏身	12.0	4.5	14.0	硬質	緻密	内）紫灰色 外）青灰色	
624	坏身	11.6	4.5	14.0	良好	密	灰色	
625	坏身	10.0	4.2	12.4	堅緻	密	青灰色	
626	坏身	11.0	4.2	13.4	堅緻	緻密	内）紫灰色 外）濃青灰色	
627	坏身	13.0	4.6	15.0	硬質	やや粗 １㎜大の砂粒含む	濃青灰色 外）濃青灰色	
628	坏身	11.8	4.6	13.6	堅緻	緻密	暗灰色	
629	坏身	13.5	4.75	15.0	硬質	密	青灰色	
630	坏身	11.5	4.3	14.1	良	密	濃灰色	

図版番号	器　種	口　径（cm）	器　高（cm）	受部径（cm）	焼　成	胎　土	色　調	備　考
631	蓋（高坏）	13.0	6.1	2.9	良	密	濃灰色	SI17
632	蓋（高坏）	13.0	6.1	2.8	堅緻	緻密	内）青灰色 外）暗青灰色	
633	蓋（高坏）	11.6	5.2		良好	密	灰色	

図版番号	器　種	口径(cm)	器高(cm)	受部径(cm)	底径（cm）	焼　成	胎　土	色　調	備　考
634	高坏（有蓋）	11.2	13.6	12.0	9.0	堅緻	密	青灰色	
635	高坏（有蓋）	11.0	13.4	6.0		硬質	やや粗	青灰色	
636	高坏（有蓋）	11.8	14.4	φ10.0	8.6	堅緻	密	青灰色	SI04
637	高坏（有蓋）	11.1	13.9	9.9	8.5	堅緻	緻密	青灰色	SI04
638	高坏（有蓋）	11.0	13.2	4.5		硬質	密 １㎜大の砂粒含む	青灰色	SI12
639	高坏（有蓋）	10.5	13.0	10.0	8.3	良	緻密	白灰褐色	
640	高坏（有蓋）	10.4	13.0	6.2		良	密	青灰色	
641	高坏（有蓋）	11.0	13.4	6.2		堅緻	密	青灰色	
642	高坏（有蓋）	11.5	14.3	5.4		良好	密	内）灰色 外）濃灰色	
643	高坏（有蓋）	11.8	13.5	8.0	8.8	普通	密	黄灰色	
644	高坏（無蓋）	16.8		5.5		良	密	灰色	SI02
645	高坏（無蓋）	15.0		4.5		堅緻	やや粗	青灰色	SI09
646	高坏（無蓋）	13.0		5.5		堅緻	密	内）青灰色 外）暗緑灰色	
647	高坏（無蓋）	16.0		10.4	10.2	堅緻	緻密	黒褐色	SI10
648	高坏（無蓋）	16.0		3.7		堅緻	密	暗灰色	SI12
649	高坏（無蓋）	13.0		5.6		硬質	密	青灰色	
650	高坏（無蓋）	18.4		15.0	11.0	堅緻	緻密	内）灰褐色 外）暗青灰色	SI12
651	高坏（無蓋）	17.0		3.8		堅緻	緻密	内）明茶灰色 外）薄灰褐色	SI12
652	高坏（無蓋）	16.0		7.45		堅緻	緻密	灰褐色	
653	高坏（無蓋）	16.0		6.0		硬質	やや粗 ２㎜大の砂粒含む	青灰色	
654	高坏（無蓋）	16.0		6.5		堅緻	粗 砂粒含む	青灰色	
655	高坏（無蓋）	15.6		6.0		堅緻	緻密	青灰色	
656	高坏（脚部）			5.0	7.5	堅緻	緻密	内）明紫灰色 外）緑褐色	
657	高坏（脚部）			5.5	10.0	普通	粗	青灰色	
658	高坏（脚部）			4.1	9.2	堅緻	緻密	青灰色	
659	高坏（脚部）			4.0	9.0	普通	やや粗	青灰色	
660	高坏（脚部）			3.9	9.2	やや軟質	密	青灰色 坏内）紫灰色	SI06
661	高坏（脚部）			5.1	9.0	普通	密	青灰色	
662	高坏（脚部）			4.2	9.1	普通	密	青灰色	
663	高坏（脚部）			7.8	11.1	良好	密	内）灰色 外）黒灰色	SI12
664	高坏（脚部）			4.8	9.0	堅緻	緻密	青灰色	SI12
665	高坏（脚部）			4.8	10.0	堅緻	密 １㎜大の砂粒含む	内）青灰色 外）暗青灰色	
666	高坏（脚部）			7.0	9.0	硬質	密	青灰色	
667	高坏（脚部）			5.2	7.7	硬質	緻密	濃青灰色	
668	高坏（脚部）			4.8	9.0	硬質	緻密	灰褐色	SI18
669	高坏（脚部）			7.0	8.0	堅緻	緻密	暗青灰色	
670	高坏（脚部）			4.5	8.8	良好	密	灰色	SI03
671	高坏（脚部）			5.0	8.9	堅緻	緻密	内）乳灰色 外）濃青灰色	
672	高坏（脚部）			4.5	9.8	堅緻	緻密	濃青灰色	
673	高坏（脚部）			8.0	10.2	堅緻	緻密	内）青灰色 外）茶灰色	
674	高坏（脚部）			5.5	11.6	硬質	密	暗黄灰色	

表17長砂第３遺跡出土遺物観察表（須恵器）

図版番号	器　種	口　径（cm）	器　高（cm）	最大胴部径(cm)	焼　成	胎　土	色　調	備　考
675	甕	11.2	8.0	9.2	堅緻	緻密	内）青灰色 外）黒灰色	SI02
676	甕	13.0	2.4		堅緻	緻密	黒灰色	SI12
677	甕		6.3	9.3	堅緻	密	青灰色	SI12
678	甕		6.0	9.6	堅緻	緻密	黒灰褐色	
679	甕		5.1	9.0	堅緻	緻密	黒灰色	
680	甕	11.0	4.1		堅緻	密	内）紫灰色 外）青灰色	SI09
681	甕	11.0	5.5		堅緻	密	内）黄灰褐色 外）黒灰色	
682	甕	13.2	3.6		硬	密	灰白色	
683	甕		5.1	11.0	硬	緻密	黒灰色	SI12
684	甕		7.4	11.5	堅緻	粗	内）淡黄灰色 外）青灰色	
685	壷		11.1	12.3	堅緻	緻密	灰色	
686	壷		8.6	13.0	堅緻	緻密	明青灰色	
687	短頸壷	7.0	6.8	13.4	良好	密	内）灰色 外）濃灰色	
688	直口壷？	9.4	4.6		良好	密	紫灰色	SI14
689	壷？	10.0	4.5		硬	緻密	緑灰褐色	
690	直口壷	6.4	3.8		堅緻	密	淡灰褐色	
691	小型壷	6.3	4.9	6.4	堅緻	密	内）黄灰色 外）黒灰色	SI06
図版番号	器　種	口　径（cm）	器　高（cm）	最大胴径（cm）	焼　成	胎　土	色　調	備　考
692	甕	44.0	18.5		堅緻	緻密	青灰色	SI22
693	甕	42.0	7.4		堅緻	密	内）淡茶灰色 外）茶灰褐色	
694	甕	31.8	5.5		堅緻	密	内）青灰色 外）濃青灰色	
695	甕	30.0	3.9		堅緻	緻密	内）青灰褐色 外）黒灰色	
696	甕	36.0	41.0 φ	73.0	やや不良	やや粗	黒灰色	SI03
697	甕	22.0	6.8		堅緻	緻密	内）暗緑褐色 外）黄灰色	
698	横瓶	13.5	4.8		堅緻	密	青灰色	
699	甕	20.7	5.6		堅緻	密 1㎜大の砂粒含む	茶灰褐色	
700	壷	13.4	9.0		堅緻	密	灰褐色	
701	壷	9.4	9.3	16.6	堅緻	緻密	暗青灰色	
702	壷	14.0	15.7	20.0	軟質	密	乳白色	
703	甕	17.8	40.0 φ	39.7	やや不良	やや粗	灰色 口縁内）黒灰色	
704	蓋		3.3	5.2	やや軟質	密	淡灰褐色	
705	甕	34.4	7.4		軟質	やや密 5㎜大の砂粒含む		
706	甕	34.0	6.0		軟質	粗	青灰色	SI05
707		24.0	4.7		堅緻	密	青灰色	
708	底部		2.8	8.0	堅緻	緻密	濃青灰色	
709	盤	20.1	5.0		硬	やや粗	灰色	

表18　97年度長砂第３遺跡　出土遺物観察表（須恵器）

図版番号	器　種	口　径（cm）	器　高（cm）	焼　成	胎　土	色　調	備　考
710	坏蓋	12.6	5.6	不良	密	乳白色	
711	坏蓋	12.6	4.9	良好	密	内）灰色 外）濃灰色	
712	坏蓋	13.4	6.2	不良	密	乳灰色	
713	坏蓋	12.6	4.6	良好	密	灰色	
714	坏蓋	13.0	4.1	堅緻	緻密	内）灰色 外）濃灰色	
715	坏蓋	10.0	4.4	良好	密	内）灰色 外）黒灰色	
716	坏蓋	13.0	3.7	良好	密	灰色	
717	坏蓋	14.6	3.7	良好	密	灰色	
718	坏蓋	11.0	3.65	不良	密	乳白色	
719	坏蓋	11.0	5.0	良好	密	灰色	
720	坏蓋	10.4	4.9	良好	密	灰色	
721	坏蓋	12.0	4.8	良好	密	灰色	
722	坏蓋	14.4	4.7	不良	密	灰色	
723	坏蓋	12.6	3.5	良好	密	灰色	

図版番号	器　種	口　径（cm）	器　高（cm）	最大胴径（cm）	焼　成	胎　土	色　調	備　考
724	坏身	11.8	5.6	14.4	良好	密	内）灰色 外）黒灰色	
725	坏身	10.2	5.5	12.8	良好	密	内）灰色 外）青灰色	
726	坏身	10.4	5.8	12.4	良好	密	灰色	
727	坏身	10.0	5.4	11.8	良好	密黒斑付着	灰色	
728	坏身	12.4	5.9	14.6	良好	密	内）灰色 外）黒色	
729	坏身	10.4	6.1	12.8	良好	密黒斑付着	内）灰色 外）緑灰色釉	

図版番号	器　種	口　径(cm)	器　高(cm)	最大胴径（cm）	焼　成	胎　土	色　調	備　考
730	蓋（高坏）	13.0	6.0	2.4	良好	密	灰色	

図版番号	器　種	口径(cm)	受部径(cm)	器高(cm)	底径(cm)	焼　成	胎　土	色　調	備　考
731	高坏（有蓋）	9.5	12.0	5.0		硬質	密 1㎜大の砂粒含む	濃青灰色	
732	高坏（有蓋）		12.8	9.0	8.0	堅緻	緻密	内）明灰色 外）青灰色	
733	高坏（有蓋）	11.5	14.1	6.4		良好	密	黒灰色	
734	高坏（有蓋）	8.5	11.3	8.1	8.2	良好	密	内）灰色 外）濃灰色	
735	高坏（有蓋）	11.9	13.9	10.3	9.2	良好	密	内）淡黄灰色 外）濃灰色	
736	高坏（有蓋）	11.2	13.6	5.0		良好	密	灰色	
637	高坏（有蓋）	11.0	13.8	8.0	8.6	硬	緻密	白灰色	
738	高坏（無蓋）	16.0		5.6		堅緻	緻密	青灰色	

図版番号	器　種	口　径(cm)	器　高(cm)	最大胴径（cm）	焼　成	胎　土	色　調	備　考
739	甕		7.6	11.0	やや不良	やや粗	淡灰色	

表19　長砂第３遺跡　出土遺物観察表（石製品類）

挿図番号	種　別	長さ(cm)	幅 (cm)	厚み(cm)	重さ(g)	備考
740	打製石斧	12.0	6.9	2.6	287.5	
741	磨製石斧	12.6	5.9	4.5	500	
742	磨製石斧	13.6	7.2	3.2	530	
743	磨製石斧	10.5	6.5	4.4	350	SI12
744	磨製石斧	13.6	6.7	5.5	600	
745	磨製石斧	8.0	4.8	2.9	100	
746	磨製石斧	9.9	6.1	3.7	270	
747	磨製石斧	13.0	4.3	4.3	400	
748	磨製石斧	9.2	5.6	3.6	200	
749	磨製石斧	7.6	6.4	3.5	160	SI12
750	叩石		11.0	5.4	700	
751	叩石	10.0	11.7	4.2	600	
752	叩石	11.0	7.0	6.6	460	
753	叩石	13.5	13.5	4.3	800	
754	すり石	11.2	10.0	4.7	590	
755	叩石	11.5	13.4	4.7	1050	
756	敲石	8.3	7.4	0.4	460	
757	敲石	10.1	6.7	2.8	330	
758	石錘	3.3	7.7	2.2	100	
759	石製品	6.6			40	
760	石皿	20.9	25.2	4.0	3350	
761	砥石	32.4	11.4	8.4	4290	
762	砥石	26.0	7.3	11.1	2650	
763	砥石	21.2	12.5	6.8	2020	
764	砥石	10.5	15.5	6.2	2600	
765	砥石	13.1	7.9	2.4	600	
766	砥石	11.0	4.7	2.85	210	
767	砥石	11.6	5.7	4.4	420	
768	砥石	12.6	5.3	5.4	440	SI02
769	砥石	29.1	10.45	7.6	2150	
770	砥石	15.7	7.1	7.0	820	
771	携帯砥石	7.8	2.2	1.1	24.7	
772	携帯砥石	7.4	2.7	2.6	50.4	
773	砥石	7.3	2.1	1.9	36.8	SI12

挿図番号	種別	長さ(cm)	幅 (cm)	厚み(cm)	重さ(g)	材　質	備考
774	石鏃	1.2	1.0	0.3	0.2	黒耀石	
775	石鏃	1.2	1.1	0.4	0.3	黒耀石	
776	石鏃	2.2	1.7	0.3	0.7	黒耀石	
777	石鏃	2.35	2.4	0.75	3.6	黒耀石	
778	石鏃	1.6	1.2	0.3	0.4	黒耀石	
779	石鏃	1.8	1.7	0.5	1.1	黒耀石	
780	石鏃	1.8	1.6	0.2	0.4	黒耀石	SI12
781	石鏃	1.6	1.3	0.3	0.3	サヌカイト	
782	石鏃	1.7	1.4	0.2	0.5	サヌカイト	
783	石鏃	1.8	1.8	0.4	1.05	サヌカイト	
784	石鏃	1.8	1.5	0.3	0.5	サヌカイト	
785	石鏃	2.0	1.6	0.3	0.6	サヌカイト	
786	石鏃	2.5	2.7	0.5	1.9	サヌカイト	SI15
787	石鏃	2.4	1.4	0.3	0.8	サヌカイト	

挿図番号	種別	長さ(cm)	幅 (cm)	厚み(cm)	重さ(g)	材　質	備考
788	石鏃	2.0	1.6	0.3	1.0	サヌカイト	
789	石鏃	1.3	1.1	0.2	0.3	サヌカイト	
790	石鏃	1.8	1.5	0.4	0.7	サヌカイト	SI12
791	石鏃	1.3	1.6	0.3	0.5	サヌカイト	
792	石鏃	3.2	2.0	0.5	2.2	サヌカイト	
793	石鏃	2.5	1.5	0.4	1.1	サヌカイト	
794	石鏃	2.6	1.8	0.5	2.0	サヌカイト	
795	石鏃	2.8	1.7	0.4	1.2	サヌカイト	SI11

挿図番号	種　別	長さ(cm)	幅 (cm)	厚み(cm)	重さ(g)	材　質	備考
796	勾玉	3.1	1.1		3.7	土	SI12
797	勾玉	2.8	1.2	0.8	5.3	ｸﾞﾘｰﾝﾀﾌ	
798	勾玉	2.1	0.9	0.6	1.9	滑石	
799	管玉	2.2	0.7		0.9	ｸﾞﾘｰﾝﾀﾌ	
800	管玉	2.1	0.75		1.6	ｸﾞﾘｰﾝﾀﾌ	
801	管玉	1.7	0.65		1.2	ガラス	
802	管玉(未成品)	2.1	0.5	0.5	0.8	緑色凝灰岩	
803	管玉	2.5	0.5	0.5	0.6	緑色凝灰岩	
804	管玉(未成品)	1.5	0.5	0.4	0.4	緑色凝灰岩	
805	管玉(未成品)	1.5	0.5	0.5	0.5	緑色凝灰岩	
806	管玉(未成品)	1.5	0.5	0.6	0.3	緑色凝灰岩	SI11
807	管玉	1.4	0.5	0.4	0.2	緑色凝灰岩	SI11
808	管玉(未成品)	2.1	0.6	0.5	0.6	緑色凝灰岩	SI11
809	管玉(未成品)	2.6	0.7	0.6	0.6	緑色凝灰岩	SI11
810	管玉(未成品)	2.8	0.8	0.8	1.6	緑色凝灰岩	SI11
811	管玉(未成品)	2.4	1.0	0.8	1.6	緑色凝灰岩	SI11
812	なつめ玉	0.85	0.95		1.1	ガラス	
813	なつめ玉	0.4	0.6		0.1	滑石	
814	小玉	0.4	0.4		0.1	ガラス	SI12
815	小玉	0.3	0.3		0.1	ガラス	SI12
816	小玉	0.3	0.3		0.1	ガラス	SI12
817	小玉	0.4	0.3		0.1	ガラス	
818	小玉	0.3	0.4		0.1	ガラス	
819	小玉	0.35	0.4		0.1	ガラス	
820	なつめ玉	0.45	0.5		0.15	滑石	
821	臼玉	0.3	0.5		0.1	滑石	
822	臼玉	0.3	0.5		0.1	滑石	
823	臼玉	0.15	0.6		0.05	滑石	
824	臼玉	0.5	0.15		0.05	安山岩	
825	臼玉	0.25	0.5		0.1		SI12
826	臼玉	0.4	0.6		0.15		SI12

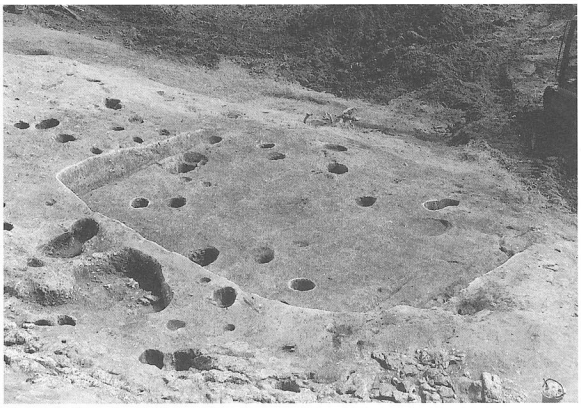
鉄・銅製品

挿図番号	種別	長さ(cm)	幅 (cm)	厚み(cm)	重さ(g)	材　質	備考
827	銅鏡					銅	
828	キセル	6.0	2.8		8.8	銅	
829	銅銭	2.3		0.1	2.0	銅	
830	銅銭	4.8	2.3			銅	
831	ハバキ	1.9	2.3	0.4	4.7	鉄	
832	刀子	5.7	1.5	1.3	12.3	鉄	

調査前

SI—01

SI—02

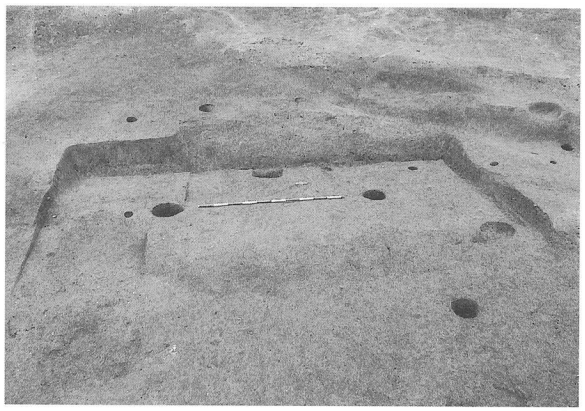


SI—02

遺物出土状況

図版2（長砂第3遺跡）

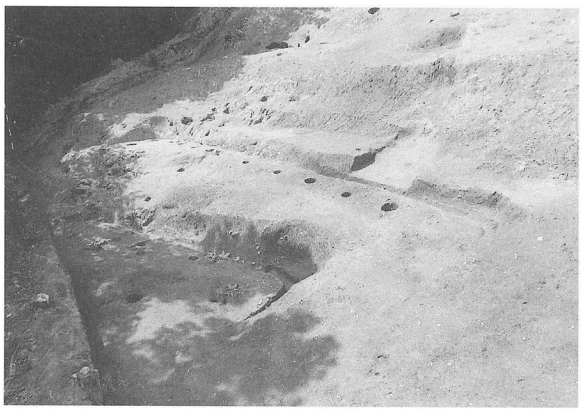
SI—03



SI—04

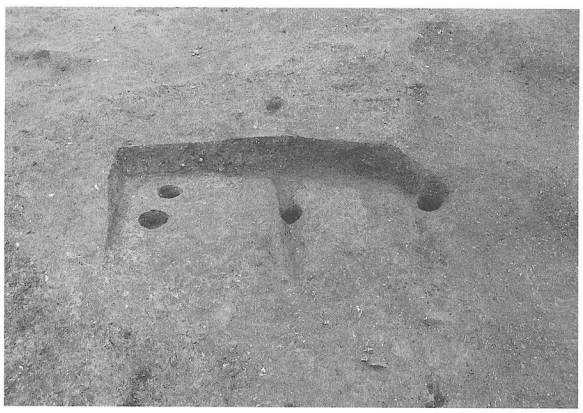
SI—04　遺物出土状況

SI—08



SI—09・SS—01

SI—06



SI—07

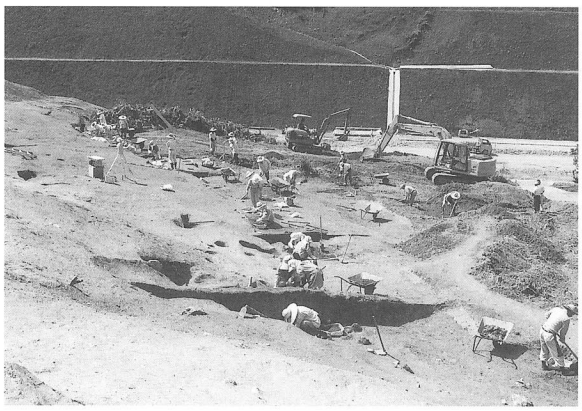
SI—10

SI—11

SI—10・11

SI—12・13

SI—12・13



作業風景

SI—14・15

SI—17

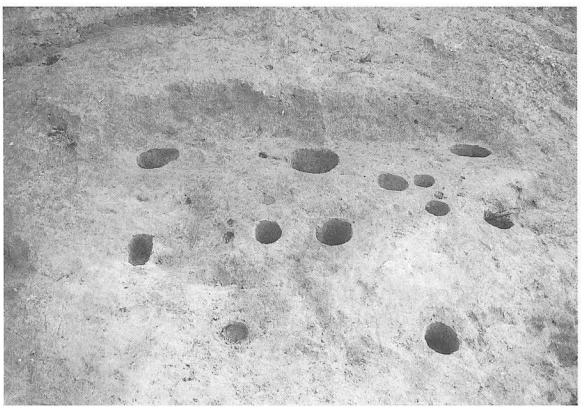
SI—18

SI—20

SI—21

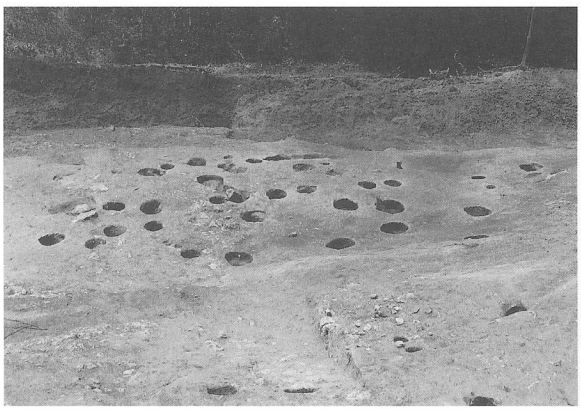
SI—22・23

SI—23



SB—04

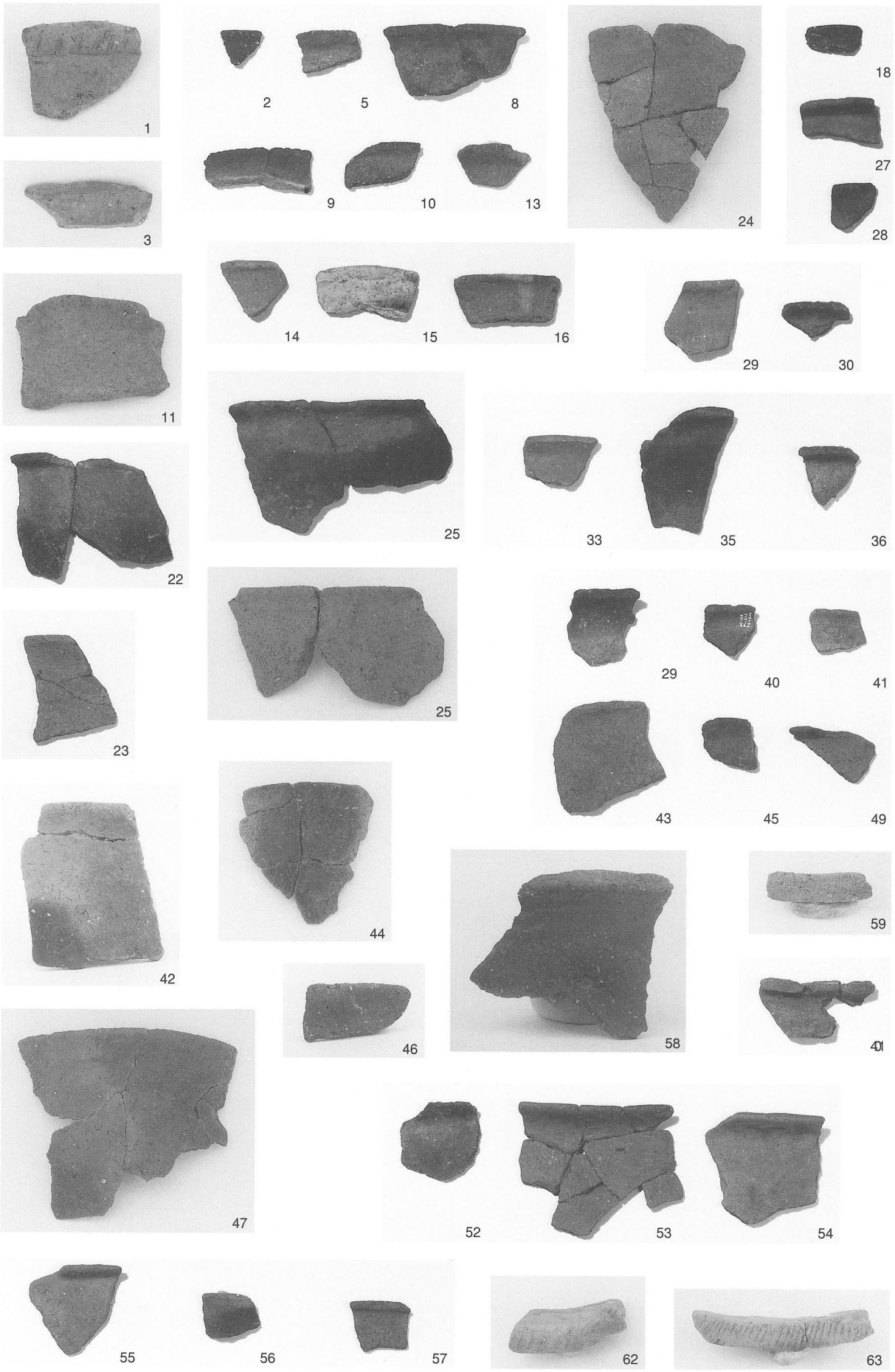
SB—05



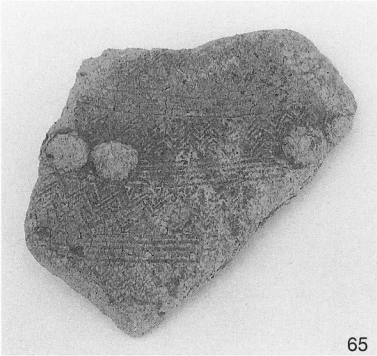
SB—06

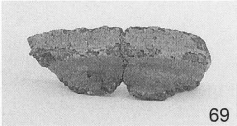
SB—07

図版5（長砂第3遺跡）

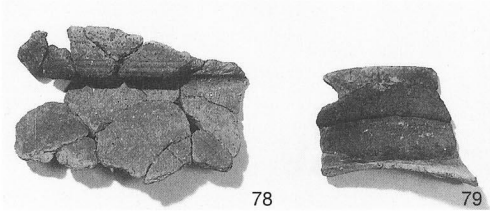

1
2
5
8
9
10
13
24
18
27
28
3
14
15
16
29
30
11
25
33
35
36
22
25
29
40
41
23
43
45
49
44
42
59
58
46
40
47
52
53
54
55
56
57
62
63

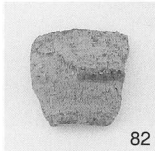
図版6（長砂第3遺跡）

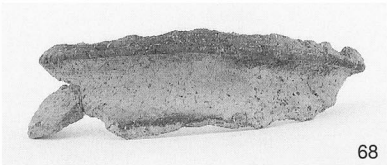

65


69

75

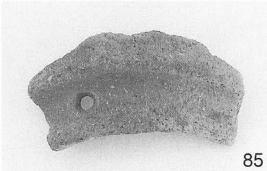

78 79

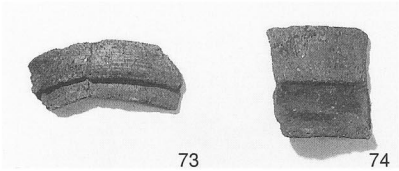

82

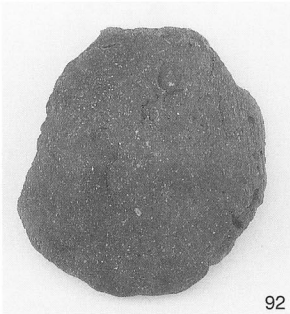

68

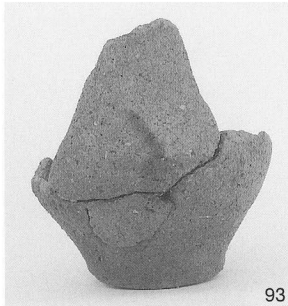
84

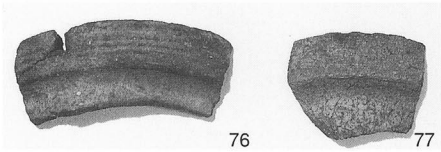
80

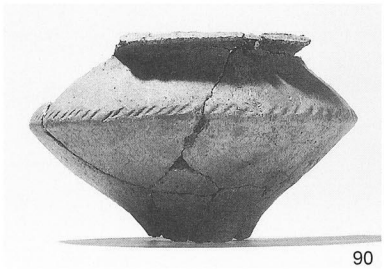

85

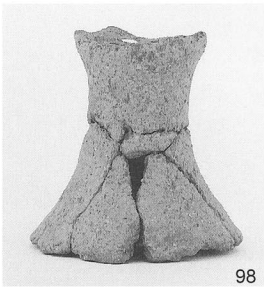

73 74


92


93


76 77


90

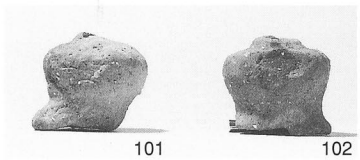

98

97

90

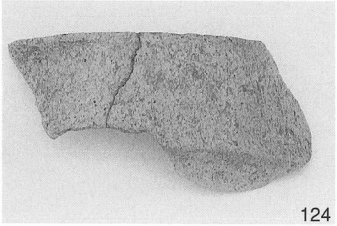
99

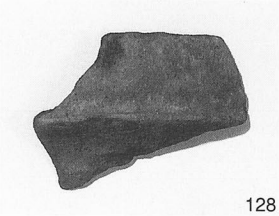
100

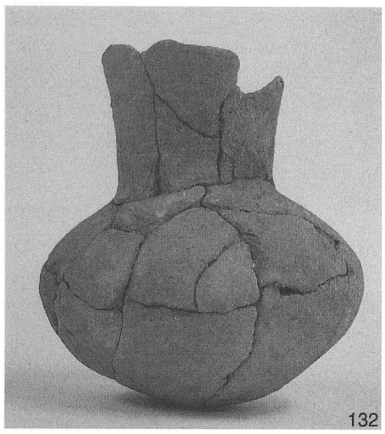

101 102

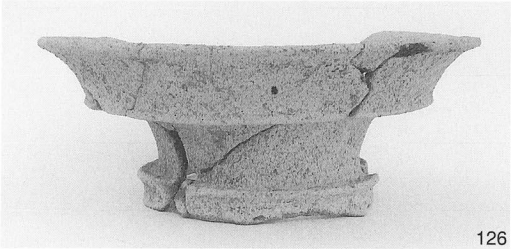
107

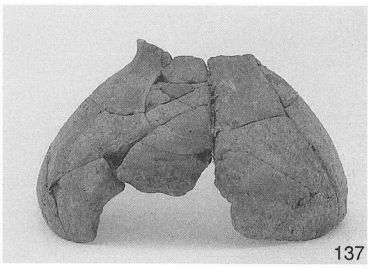
図版7（長砂第3遺跡）

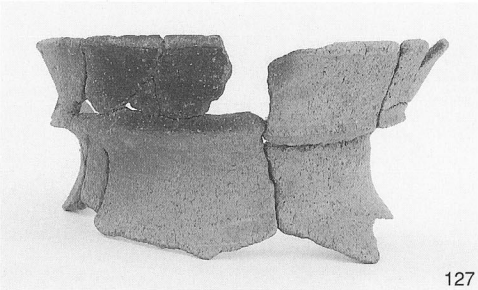

124

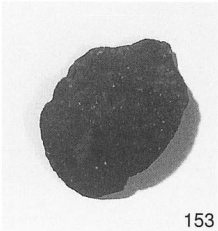

128

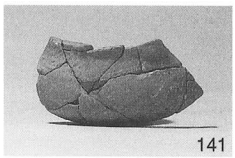

132

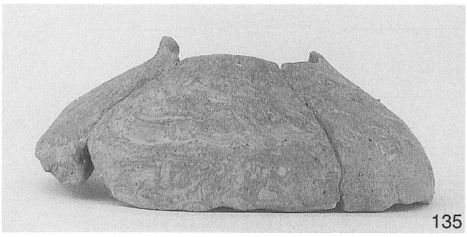

126

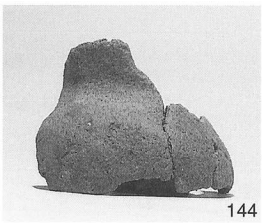

137

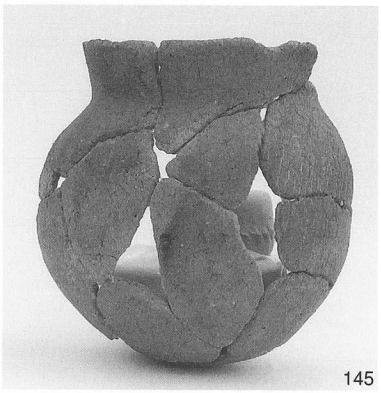

127

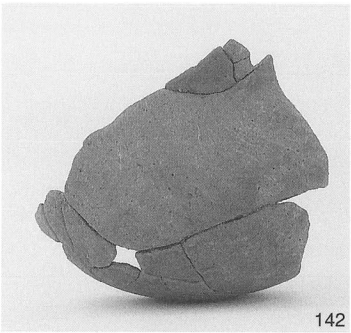

153

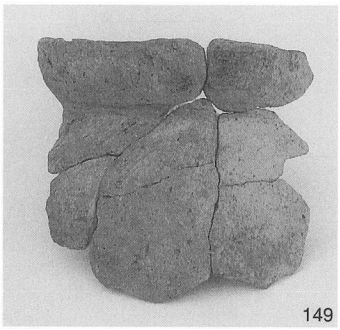

141

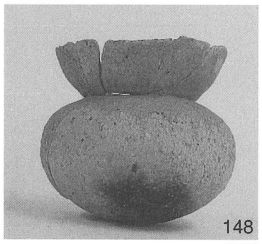

135

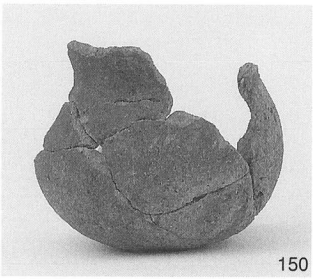

144

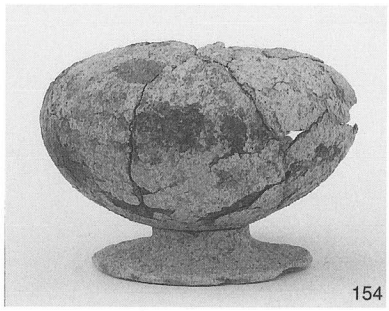

145


142

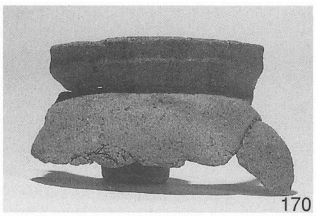

149

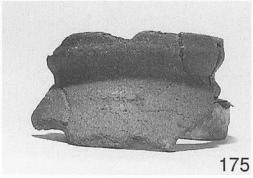

148

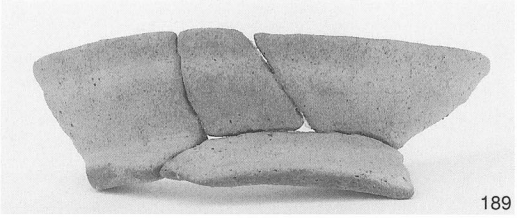

150

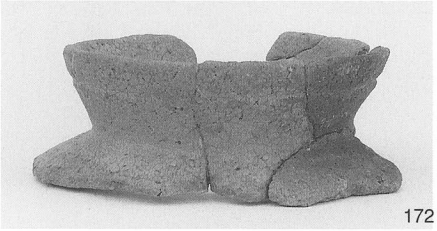

154

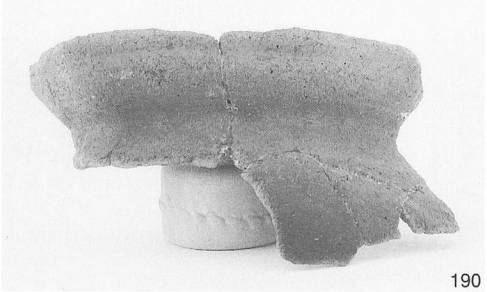
図版8（長砂第3遺跡）

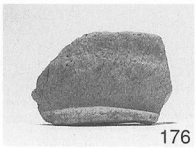

170


175

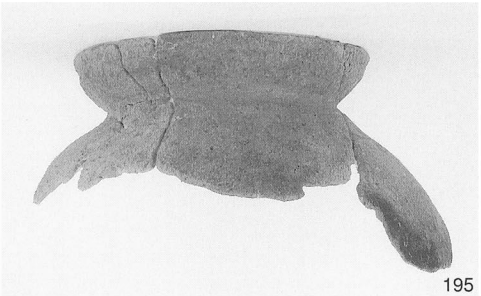

189

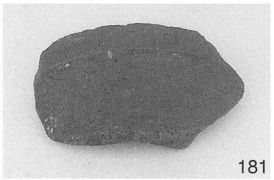

172

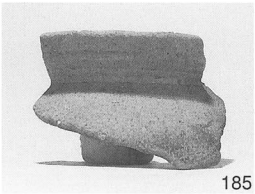

190

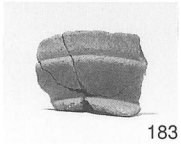

176

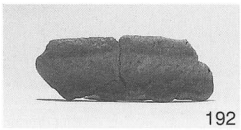
184

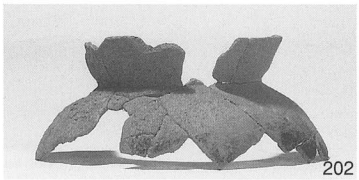

195

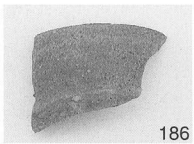

181

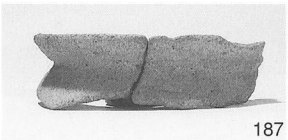

185

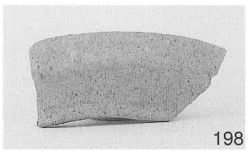

183

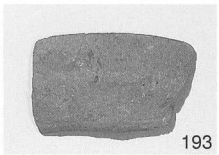

192

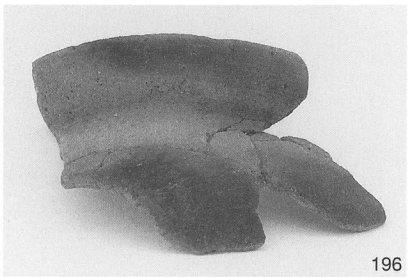

202

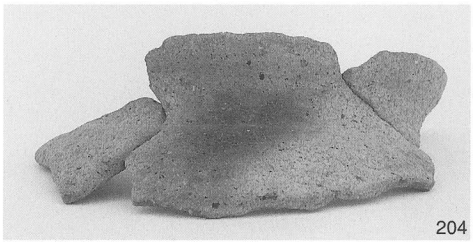

186

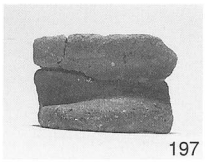

187

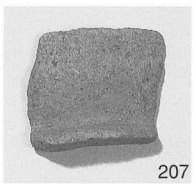

198

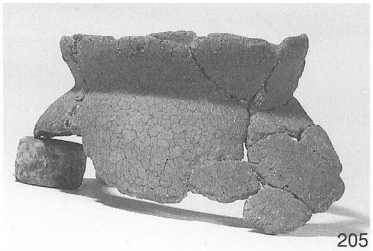

193

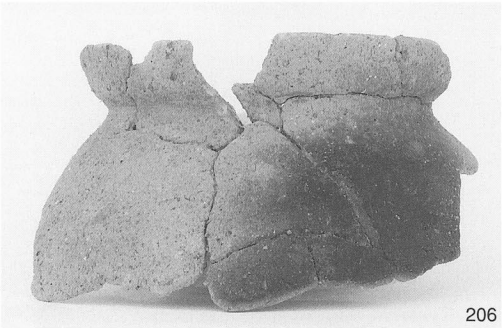

196

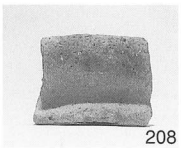

204

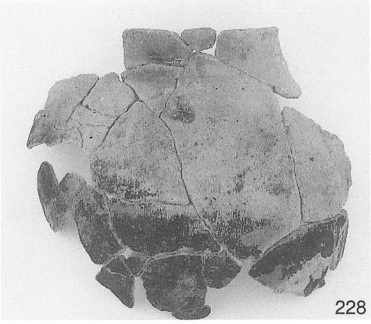

197

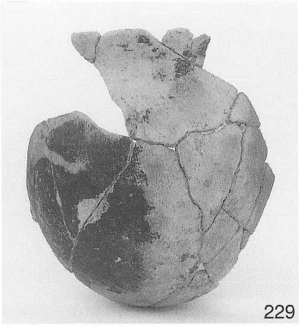

207

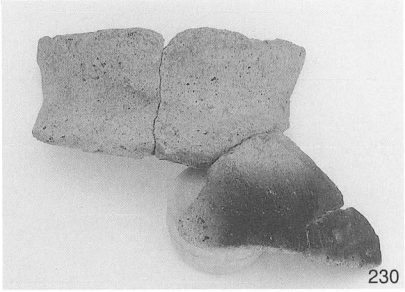

205

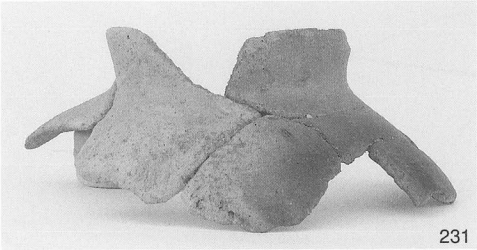

206

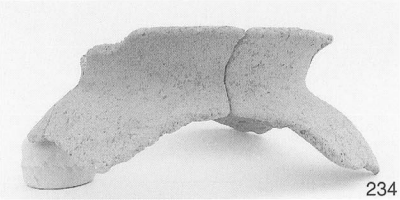

208

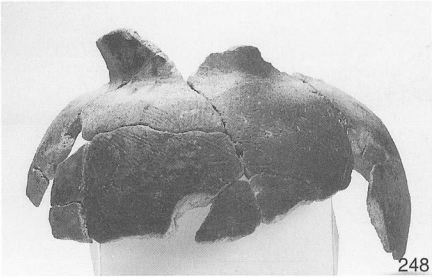

228


229

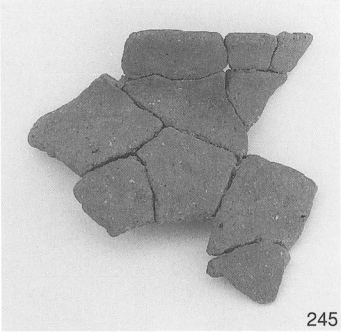

230


231

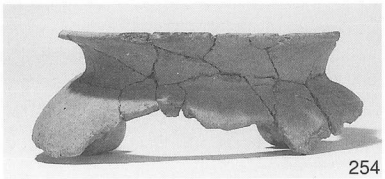

234

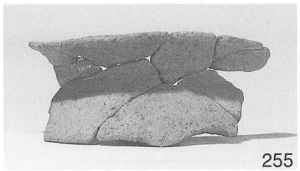

248

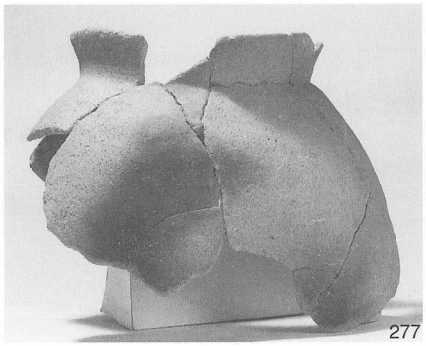
241

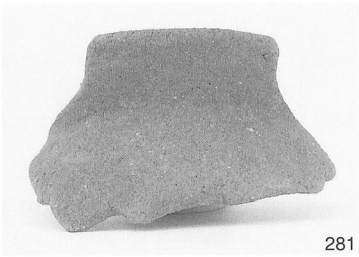

245

269

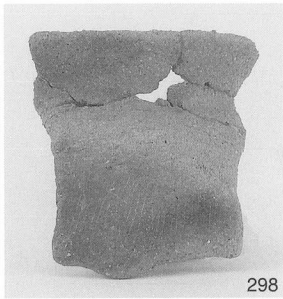

254

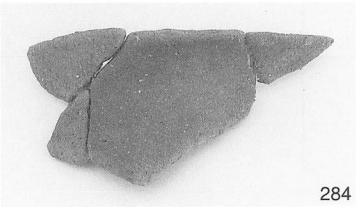

255

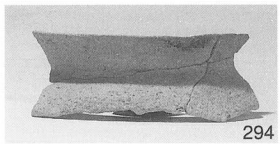

277

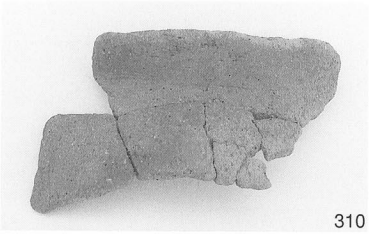

281

268

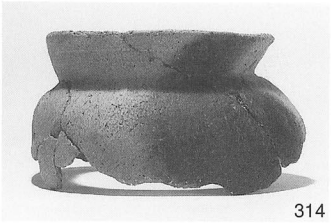

298

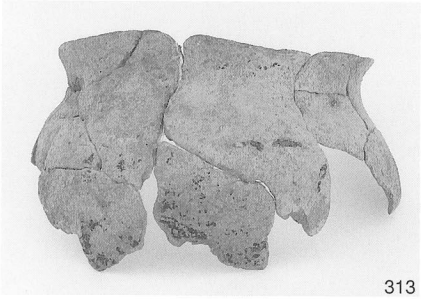

284

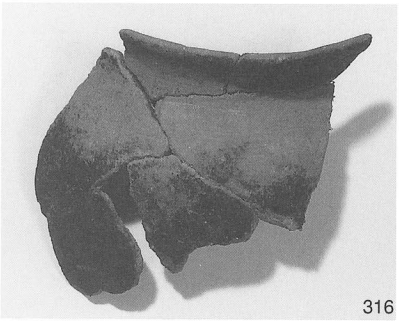

294

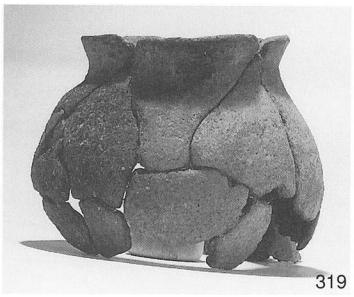

310

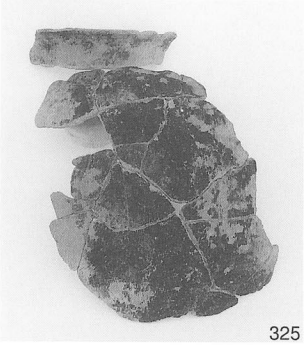
311


314

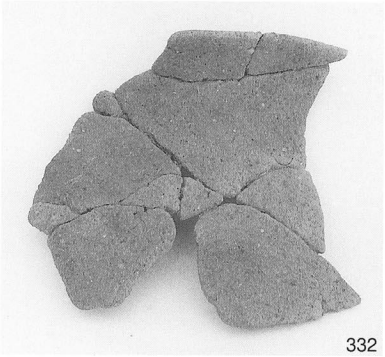

313


316

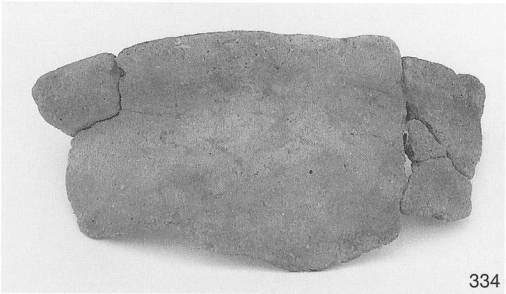

319

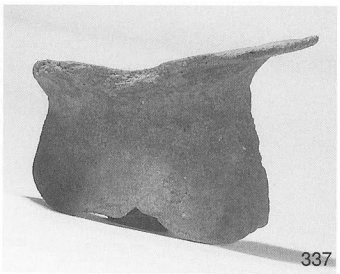

325

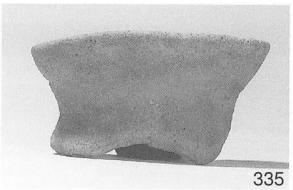
329

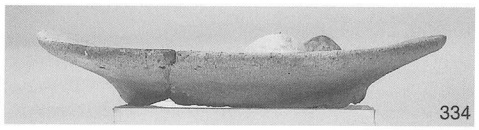

332

333

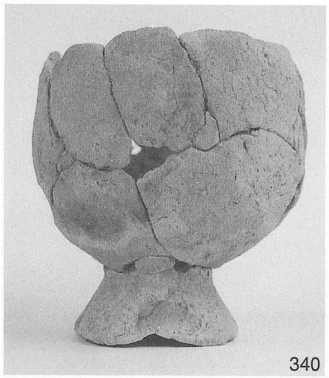

334


337

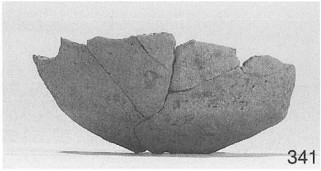

335

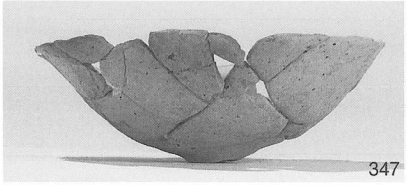

334

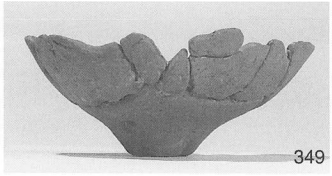
339

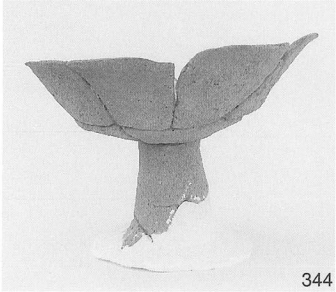

340

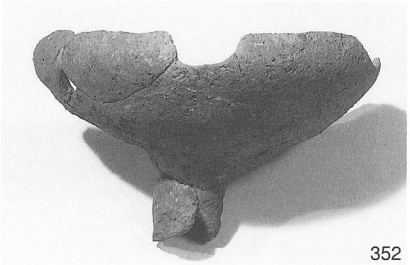
図版11（長砂第3遺跡）


341

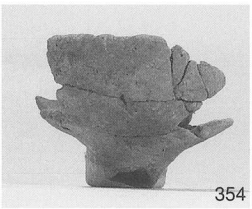

347

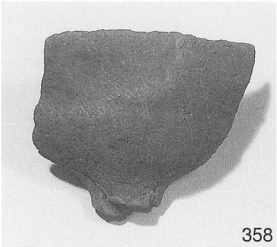

349

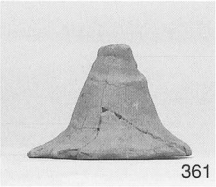

344

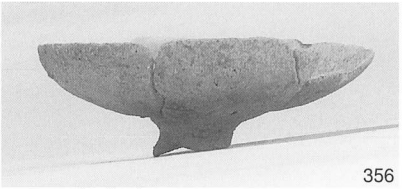

352

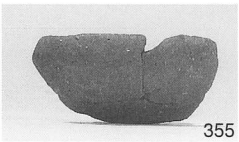
353

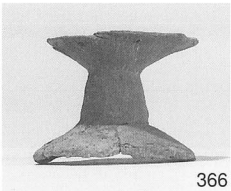

354

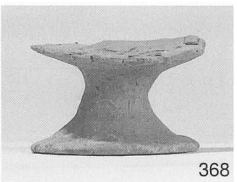

358

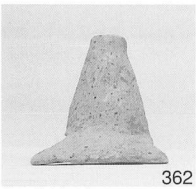

361

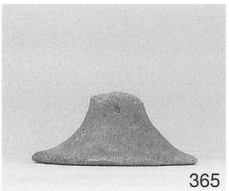

356

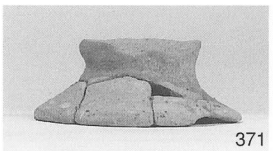

355

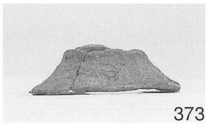

366

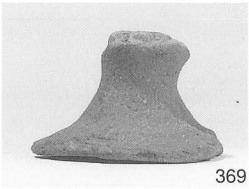

368

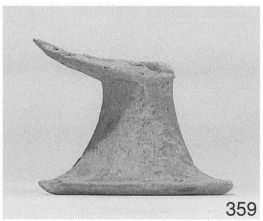

362

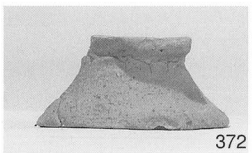

365

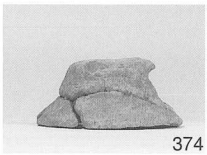

371

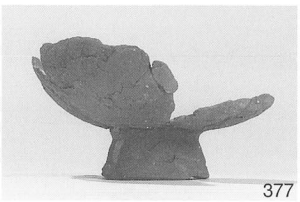

373

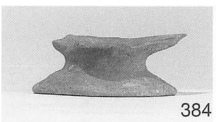

369

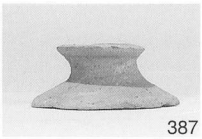

359

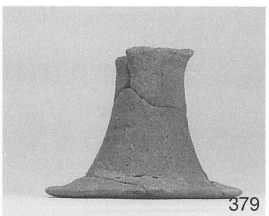

372

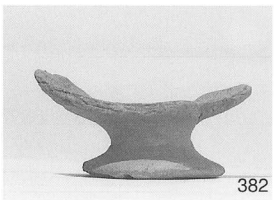

374

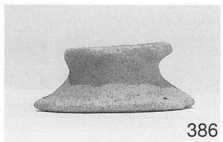

377

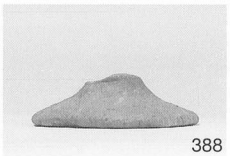

384


387

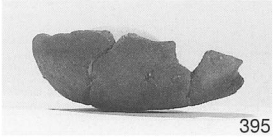

379

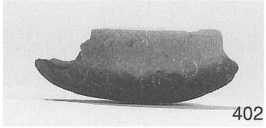

382

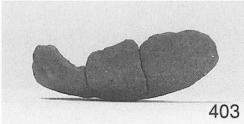

386


388

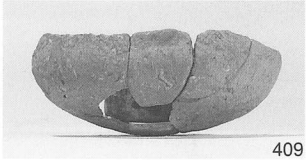
394

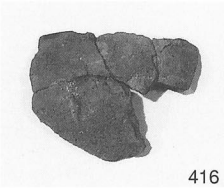

395

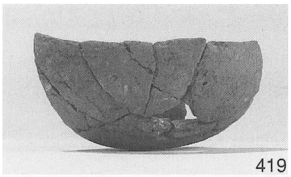

402


403

400

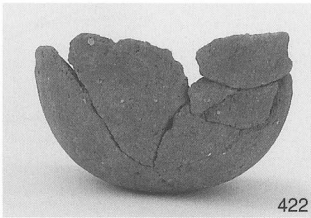

409

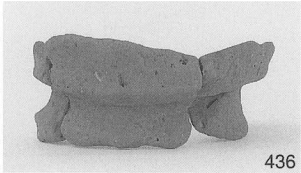

416


419

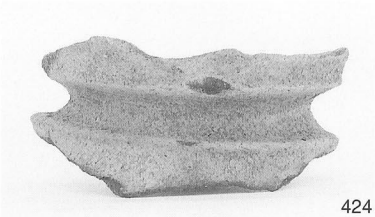
412

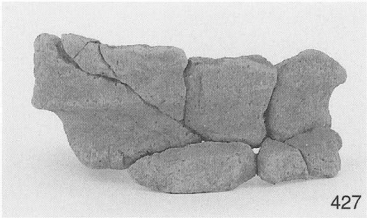
420

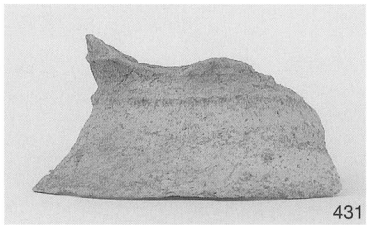

422

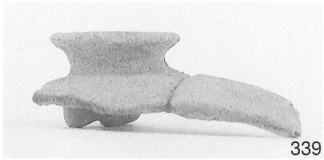

436

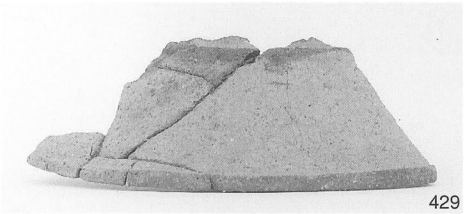
423

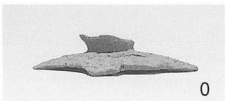

424

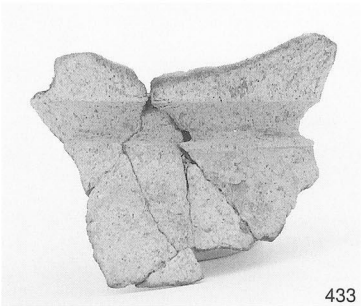

427


431

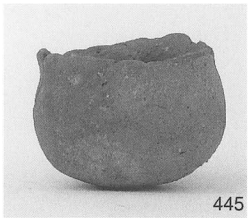

339

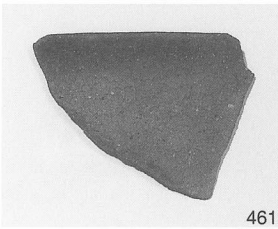

429

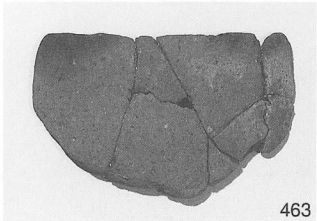

0

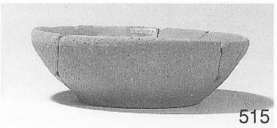

433

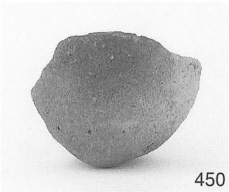
430


445


461


463


515

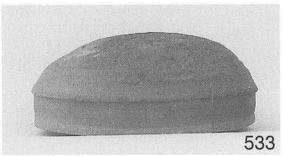

450

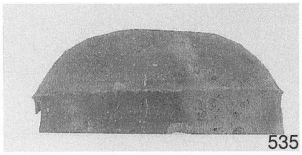
0

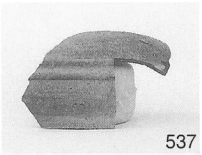
516

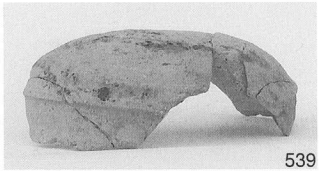
517

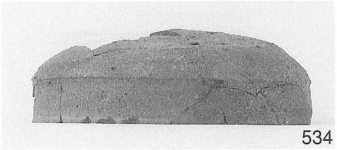
図版13（長砂第3遺跡）

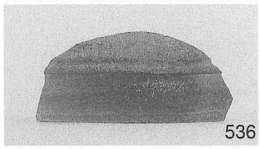

533


535

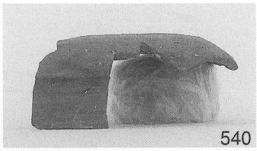

537

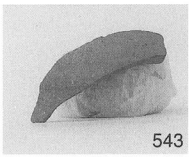

539

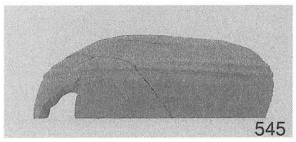

534

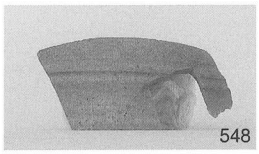

536

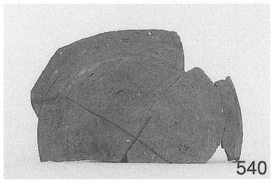
538

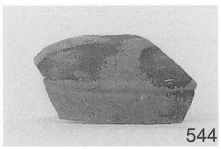

540

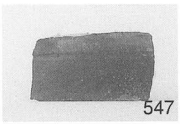

543

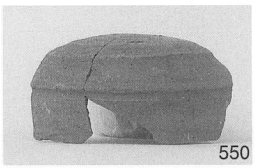

545

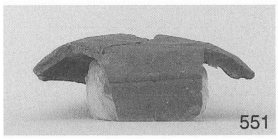

548

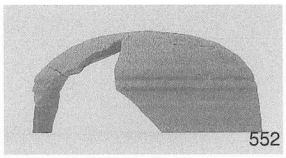

540

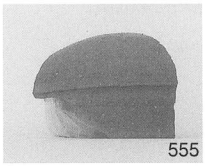

544

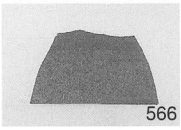

547

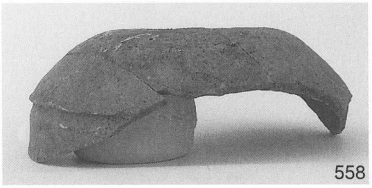

550

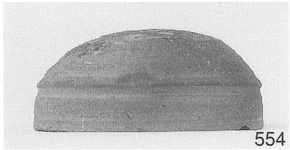

551

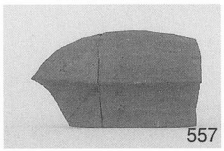

552

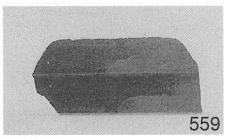

555

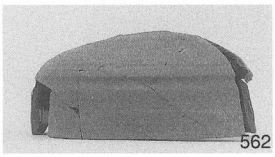

566

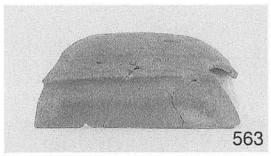

558

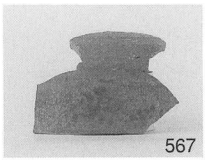

554

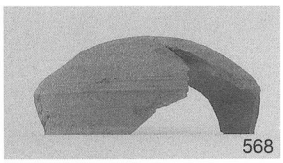

557

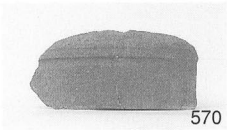

559

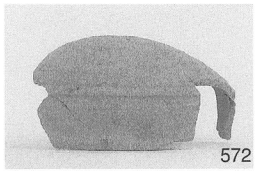

562

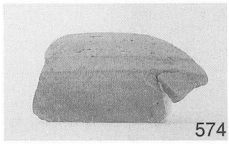

563

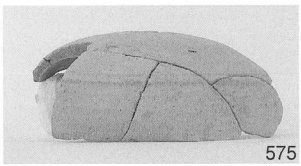

567

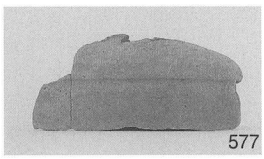

568

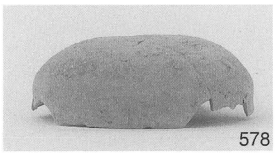

570

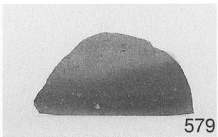

572

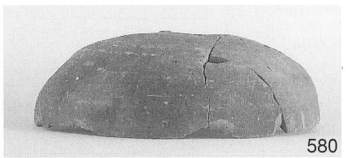

574

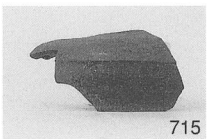

575

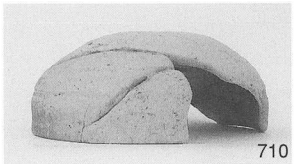

577

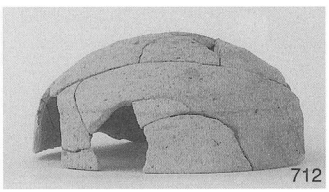

578

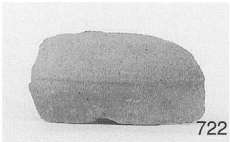

579

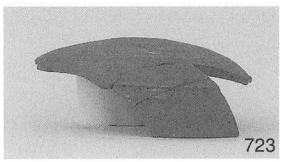

580


715

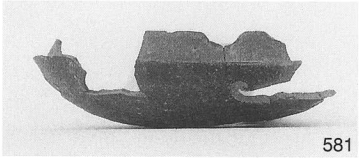

710

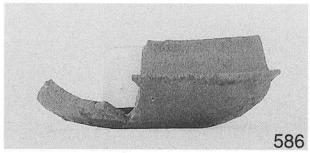

712

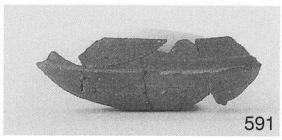

722

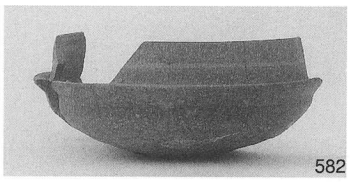

723

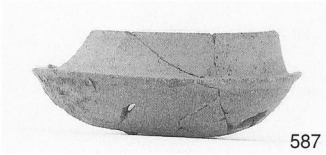
図版14（長砂第3遺跡）

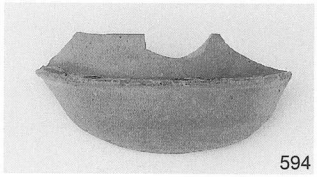

581

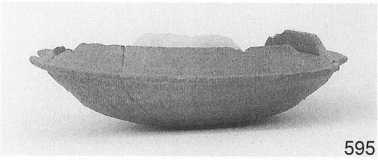

586

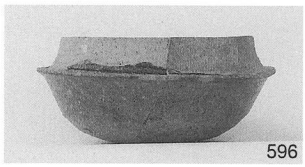

591

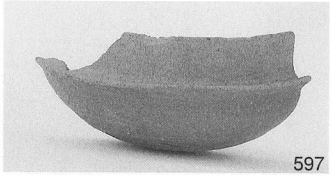

582

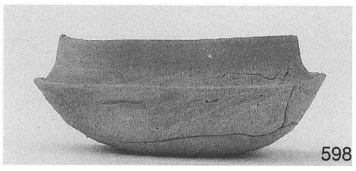

587

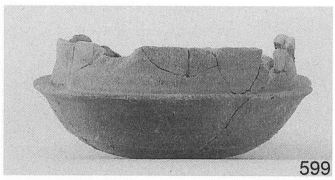

594

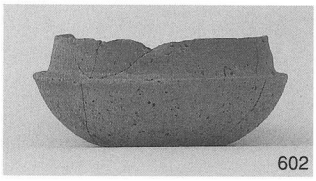

595

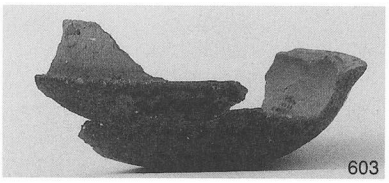

596

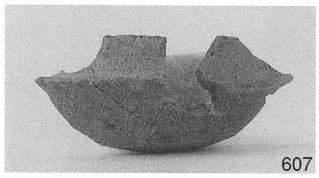

597

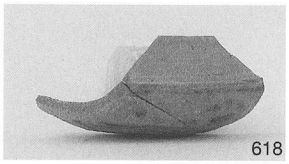

598

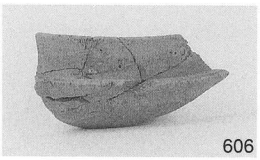

599

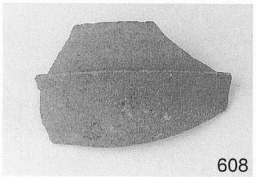

602

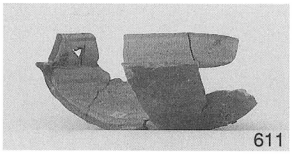

603

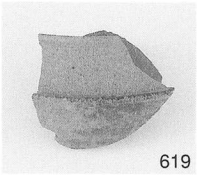

607

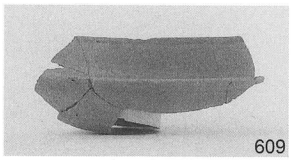

618

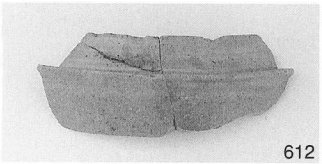

606

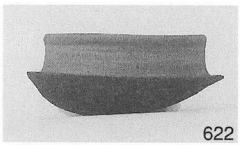

608

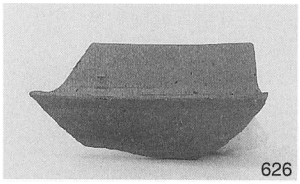

611

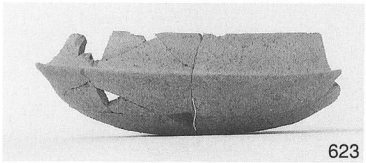

619

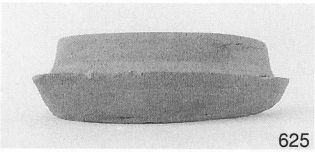

609

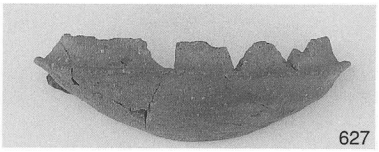

612

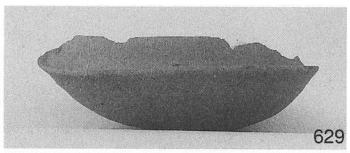

622

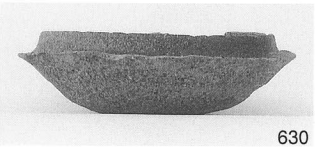

626


623

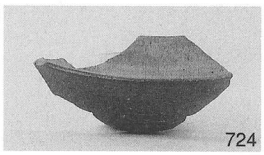

625

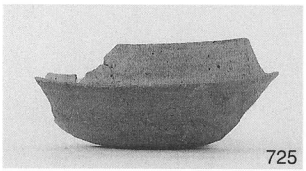

627

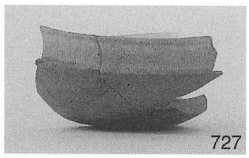

629


630

729

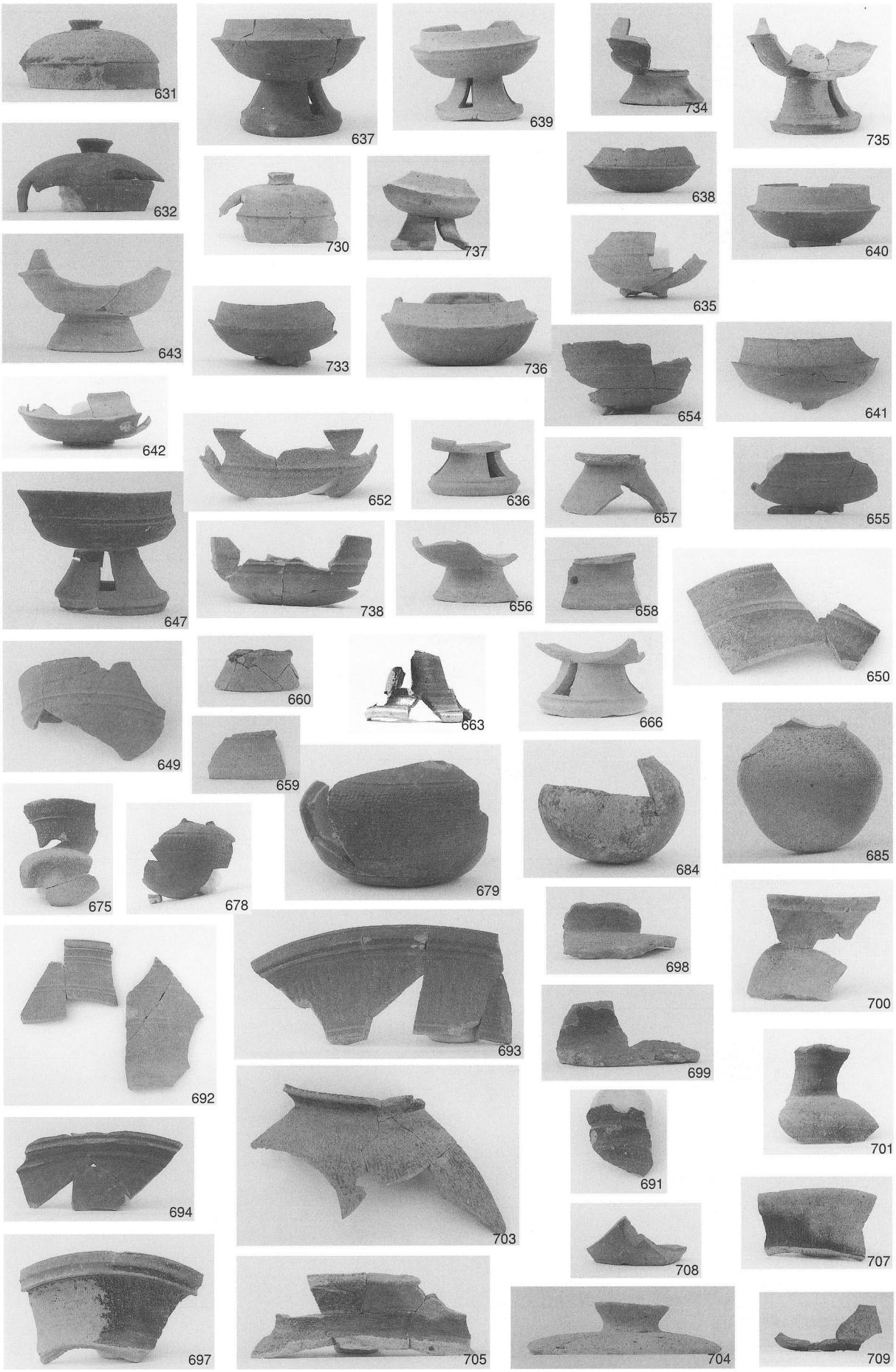

724


725

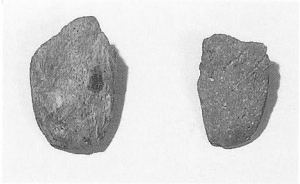

727

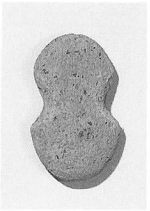
728

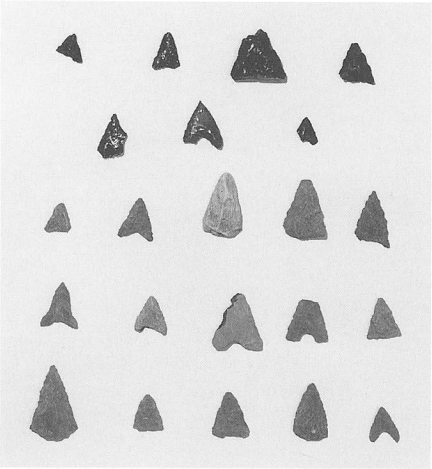
図版15（長砂第3遺跡）

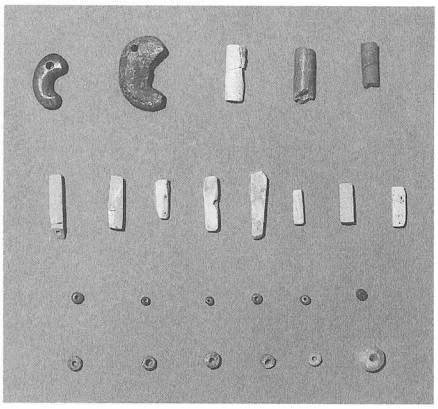

631
637
639
734
735
632
730
737
638
640
643
733
736
635
654
641
642
652
636
657
655
647
738
656
658
650
649
660
663
666
659
679
684
685
675
678
698
700
692
693
699
701
694
703
691
707
697
705
708
704
709

図版16（長砂第3遺跡）









報告書抄録

ふりがな	ながすなだい3いせき
書名	長砂第3遺跡
副書名	
巻次	
シリーズ名	(財)米子市教育文化事業団　文化財発掘調査報告書
シリーズ番号	29
編著者名	平木裕子
編集機関	(財)米子市教育文化事業団　埋蔵文化財調査室
所在地	〒683－0822鳥取県米子市中町20　TEL0859－22－7209
発行年月日	西暦1999年3月31日

所収遺跡名（ふりがな）	所在地（ふりがな）	コード 市町村番号	コード 遺跡番号	北緯	東経	調査期間	調査面積	調査原因
長砂第3遺跡（ながすなだいさんいせき）	米子市長砂町（よなごしながすなちょう）20番地他	31202				19980420～19981014	5,000㎡	公園整備

所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
長砂第3遺跡（ながすなだいさんいせき）	集落跡	弥生時代後期～古墳時代	竪穴住居址 テラス状遺構 掘立柱建物跡	弥生土器・土師器 須恵器・石斧・石鏃 砥石・管玉・勾玉 銅鏡・銅銭	

(財)米子市教育文化事業団文化財発掘調査報告書29

長砂第３遺跡

１９９９年3月

編集・発行　財団法人　米子市教育文化事業団

〒６８３－０８２２　鳥取県米子市中町２０

印　　刷　(有)米子プリント社